

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（16）、（15）」

2. 日時：令和5年4月19日（水） 16時00分～19時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、田島主任技術研究調査官※

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他6名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 審査資料の品質確保について（コメント回答）

<<本年4月17日に受取済み>>

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について（コメント回答方針）  
・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について

時間	自動文字起こし結果
00:00:04	はい、規制庁地震津波の鈴木です。2班になりましたので、玄海センターの標準とスペクトルを考慮した地震動評価の地下構造モデルの設定。
00:00:15	これのヒアリングを始めます。いう資料としては三つありまして17日付で玄海の地下構造モデルの設定。
00:00:25	これが2回目のヒアリングですかね、資料で、あとは仙台の方がこちらが2月10日の会合のコメント回答方針ということで、
00:00:35	これが1回目ということで資料もらってます。あと、前回の品証の会合のコメント回答。
00:00:44	この一部の修正ですね、これについてこれは今日付で、今日資料が先ほど紙でいただきましたんで、これということで、
00:00:55	今順番としてはですね、ちょっと時間の限り今申し上げた順で、説明確認という、受けて確認するという形で進めます。ではですね、まず、玄海伊井の地下構造モデルの設定についてということでPTC023ですかね。
00:01:10	この説明を九州電力からお願いします。
00:01:13	はい。九州電力の本村でございます。本日はよろしく申し上げます。先ほどありました通り玄海仙台品証の神でご説明させていただきます。
00:01:24	まず玄海の標準応答スペクトルを考慮した評価における地下構造モデルの設定について、TPG023を用いてご説明いたします。
00:01:36	1ページ、2ページ目に、目次を示しておりますが、先週のヒアリングからの変更点についてご説明させていただきます。
00:01:44	主なところとしまして2ポツ、
00:01:49	地下構造モデルの設定の概要、それと3.1の設定方針、それと3.2、2(1) (2) ですね。
00:01:58	こちらの最深部地震検診の地盤減衰の検討設定。
00:02:02	それと、3.4の地下構造モデルの妥当性確認の(1) (2)の応答スペクトルによる確認と、PS検層モデルによる確認。
00:02:15	そして最後に、3.5になりますけども、標準応答スペクトル用モデルの設定のところをご説明させていただきます。
00:02:24	4ページ、5ページに、コメントリストを示しております。コメント自体は変更ございませんが、ナンバー13の対応状況のところですね。
00:02:36	鉛直方向の整合性については、71ページから85ページ、地盤減衰の設定については、95ページから96ページというところで、修正をさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:48	続いてですね、6 ページなりますけども、今後の審査スケジュールについてお示ししております。
00:02:57	地盤減衰のところにつきましては4月11日に、今回の資料を提出しますのでそれを追記させていただきます。
00:03:04	また、設定した地下構造モデルの妥当性地盤減衰のところ、その欄がありますけども、
00:03:13	後程ご説明しますけども、前回ヒアリングではブロックインバージョン結果による妥当性確認を記載しておりましたが、追加調査によるPS検層結果による伝達関数による妥当性確認に変更しましたので、
00:03:27	修正させていただきます。
00:03:30	続いて7ページ目からがですね、地下構造モデルの設定の概要ということで、新たに追加したものになります。
00:03:41	8ページですけども、まず、地下構造モデルの位置付けということで、今回の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における、
00:03:51	地下構造モデルは、解放基盤表面から地震基盤相当名を含む層まで設定し、短周期体から長周期体にあたる地震動評価に適用、
00:04:01	なお書きで、超過の地下構造モデルは、
00:04:06	解放基盤表面から地震基盤以深までの、
00:04:10	設定をして、長周期の地震動評価に適用というのを記載しております。
00:04:16	次に、その地下構造モデルの設定ということで、市岡震災以降、
00:04:23	の鉛直アレイ、EL-90メートルまでになりますが、地震観測記録、
00:04:28	それとEL-200メートルのボーリング孔内の減衰測定結果の観測事実に基づき、精度信頼性を向上させた評価を実施し、地下構造モデルを設定と。
00:04:40	いうふうに記載させていただきます。
00:04:43	速度構造につきましては、
00:04:45	解放基盤表面からEL-200メートルの範囲について、試掘坑内弾性は試験結果、それとPS検層結果をもとに設定。
00:04:55	結果的に評価モデルの設定値等々をちょっと、
00:04:59	L-200メートル以深については、地震調査委員会2007をもとに設定、基本モデルの設定値と同値としてさせていただきます。
00:05:10	地盤減衰、Q値につきましては、解放基盤表面からEL-200メートルの範囲について、木曾鍛冶震災以降に取得した鉛直アレイの地震観測記録を用いた伝達関数、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:23	地震は干渉法による検討や、ボーリング孔内減衰測定結果の観測事実を基に、 $Q=12.5$ と設定。
00:05:33	EL-200 メーター以深につきましては慣用値をもとに設定しております、記憶モデルと同時としております。
00:05:41	9 ページにつきましては、設定した地下構造モデルの値、それと設定方法について記載してございます。
00:05:50	次の 10 ページになりますけれども、こちら、地下構造モデルの妥当性確認と、
00:05:58	いうことで、
00:05:59	鉛直アレイの地震観測記録の応答スペクトルによる確認。
00:06:04	図のサンプルとしましては、2016 年熊本地震本震の確認結果を示しております。
00:06:12	それと、後程ご説明しますが、ボーリング孔内減衰測定結果を用いた伝達関数による確認結果について、下の方に図で示してございます。
00:06:24	これらを踏まえまして、
00:06:27	設定した地下構造モデルと観測事実を比較した結果、
00:06:32	設定した地下構造モデルが観測事実と同等もしくは上回るということで妥当性を確認しております。
00:06:40	11 ページ、概要の最後になりますけれども、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルということで、
00:06:50	標準応答スペクトルを考慮した地震動にさらに余裕を持たせることで、安全裕度の向上を図るため地下構造モデルの EL-90 メーターから、
00:07:00	EL-200 メーターまでの範囲の地盤減衰について、 $Q=12.5$ から 16.7 に設定してございます。地下構造モデルの
00:07:13	概要については以上になります。
00:07:17	12 ページ以降が、地下構造モデルの設定になります。
00:07:22	主な変更点としましては、15 ページからになります。
00:07:30	後程ご説明しますけれども、前回ヒアリングでは、ブロックインバージョンに関する記載をしてございましたが、それを削除しまして、
00:07:39	ボーリング孔内減衰測定のところ、の PS 検層モデルによる妥当性確認を追記してございます。
00:07:48	続いて 16 ページの左下の方になりますけれども、設定した地下構造モデルにつきまして地震観測記録や、ボーリング孔内減衰測定結果等により、妥当性を確認と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:02	いうものを追記してございます。
00:08:06	続いてですね、ちょっと飛びますけども、22ページになります。
00:08:15	上から二つ目のポツのブロックインバージョンに関するコメント、これを改めて検討しまして、妥当性確認の方針を見直し、
00:08:27	さらに全体の論理構成を再構築しているということでございます。
00:08:34	(1)の解放基盤表面からの
00:08:38	から、EL-90メーターについての内容変わりませんが、(2)解放基盤表面からEL-200メーターの範囲の地下構造モデルにつきまして、
00:08:50	PS検層モデルとの比較による確認により、設定した地下構造モデルの
00:08:55	理論伝達関数が、ボーリング孔内、
00:09:00	減衰測定結果等を踏まえたPS検層モデルによる理論伝達関数と同等もしくは上回ることを確認することとしてございます。
00:09:10	なお、一番下に記載しておりますけども、
00:09:14	Aブロックインバージョン結果を用いた地震版による確認については、より一層の説明性向上を目的として、深部を含む全体を見ても、全部で確認した地下構造モデルの妥当性に矛盾がないことを、
00:09:27	参考として確認することとし、
00:09:30	参考の⑤に記載することとしてございます。
00:09:35	次に、23ページになります。
00:09:39	こちら、地下構造モデルの検討設定、それと、妥当性確認の流れについてですが、変更点としましては、左の方になりますけど真ん中辺りですね。
00:09:52	最深部地震計の地盤減衰の検討設定のところ、
00:09:56	前は、土佐ほかの経験的地盤増幅率に関する検討を入れておりましたが、土佐他につきましては説明性向上の参考扱いと、
00:10:06	いうことにしましたので、その記載を削除しまして、速度層断面による確認に基づいて、
00:10:13	最深部地震計品と同じ92.5と設定したことだけをですね、記載しているところでございます。
00:10:23	それと、右下の地下構造モデルの
00:10:27	妥当性のところですね。
00:10:30	ええ。
00:10:31	22ページでご説明した通り、ブロックインバージョンによる確認を削除しまして、解放基盤表面からEL-200メーターの範囲についての

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:42	PS 検層モデルによる妥当性確認の内容について記載をしております。
00:10:49	次に、24 ページになりますけども、こちらの表のところ、地盤減衰のところ、
00:10:56	なりますけどこれも真ん中の欄ですが、最深部地震計新の地盤減衰の設定では、速度層断面による検討のみになりましたので、速度層断面による検討結果に基づき設定と、修正してございます。
00:11:12	続いてですけども、少し飛びます。56 ページになります。
00:11:24	先ほどの方針変更に伴いまして、最深部地震計自身の地盤減衰の設定については、経験的地盤増幅率による検討削除し、速度層断面による検討のみになりましたので、
00:11:40	その記載を修正してございます。
00:11:43	速度層断面によると、
00:11:47	解放基盤表面から EL-200 メーターまでの範囲は、概ね同じ速度層、57 ページから 50、59 ページに記載してありますけども、これによりますと、
00:11:59	②③速度層に分類されてますので、最深部地震計 1000 と以深の速度に、
00:12:06	大きな差異が見られないということを確認した旨、記載してございます。
00:12:11	これを踏まえまして、60 ページ、
00:12:15	地盤減衰の設定ということで、速度層断面による検討を踏まえ、最深部地震計自身の Q 値は、最深部地震計以前と同じ。
00:12:25	12.5 と。
00:12:27	設定しております。
00:12:30	それとですね最深部地震計自身の地盤減衰のまとめというところで、
00:12:42	こちらのですね一つ目の四角につきましても、速度層断面に基づく検討から、最深部地震計以浅と以深で速度に大きな差異が見られないと。
00:12:52	いうところで、92.5 と設定したものを規制し記載してございます。
00:13:01	続いて 71 ページ。
00:13:05	になります。
00:13:06	71 ページからが、地下構造モデルの妥当性確認についてになります。
00:13:12	方針見直しに伴いまして、表の一番下ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:17	前回ブロックインバージョン結果による確認と、記載してございましたが、PS 検層モデルによる確認ということで設定した地下構造モデルによる理論伝達関数が、
00:13:29	PS 検層モデルによる理論伝達関数と同等もしくは上回ることを確認すると。
00:13:35	してございます。
00:13:38	次にですね、またちょっと飛びまして、83 ページに、
00:13:45	なります。
00:13:47	象牙方向に関する観測事実と、
00:13:52	の整合性に係る検討というところでは、前回のヒアリング資料では、記載がですね遠回しでちょっとわかりにくいというところもありましたので、
00:14:04	収集、修正してございます。
00:14:07	前ページまでの応答スペクトルの比較では、⑬の地震等で上下方向で 0.2 から 0.4 秒付近に藤芳賀。
00:14:17	局所的に観測記録を下回るものがありますので、
00:14:22	下の図のように、図に示しておりますけども、
00:14:26	観測記録と、設定した地下構造モデルの伝達関数を比較した結果、この周期体、周波数でいうと、2.5Hz から 5Hz の、
00:14:36	青ハッチのところでは、両者は整合していること。
00:14:40	それと、84 ページ以降に示しておりますが、最深部地震計の応答スペクトルにも、
00:14:47	解放基盤表面相当で見られたスペクトル形状の凹凸が見られることを確認しまして、この要因につきましては、EL-90 メーター以深にあると 考え、
00:15:00	解放基盤表面から EL-90 メーターの地下構造モデルの妥当性に影響はないというふうに判断してございます。
00:15:11	86 ページからが、(2) として、PS 検層モデルとの比較による確認ということで、
00:15:20	このページ前回は補足に記載していたものを、こちらの方に記載してございます。
00:15:28	87 ページに PS 検層による速度、AVSVp が設定した地下構造モデルの速度と概ね整合していること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:39	それと Q 値につきましては、12.5 を下回ると、いうことを記載してございます。
00:15:48	次に 88 ページでは、先ほど言いました理論伝達関数の比較をして、PS 検層モデルによる理論伝達関数に対して同等もしくは上回ることを確認しております。
00:16:03	なお、一部の周期体の特徴的なピークの影響により、PS 検層モデルより下回っておりますけれども、これは計算の境界条件、
00:16:14	によるものと考えておりまして、89 ページから、
00:16:18	93 ページに、
00:16:21	その根拠を示しているところでございます。
00:16:25	これらを踏まえまして 94 ページに、地下構造モデルの妥当性確認のまとめを記載しておりますが、二つ目の四角になります。
00:16:36	先ほどご説明しました PS 検層モデルとの比較による確認結果について、記載してございます。
00:16:46	95 ページからが標準応答スペクトル用モデルの設定ということで、95 ページの
00:16:56	につきましては先ほどの経験的地盤増幅率の記載を削除してございます。
00:17:05	で 96 ページ、標準応答スペクトルをモデルの設定というところ。
00:17:10	なりますけれども、二つ目のポチで、
00:17:14	その小名ですね、ここで地盤減衰の見直しにより、地震動レベルは最大加速度で 10 から 20 ガル程度、増大すると想定と。
00:17:25	いう旨、記載をしております。
00:17:29	続いて 97 ページ 98 ページが、全体のまとめのページになりますけれども、97 ページの下から二つ目のマターになります。
00:17:40	こちらについては経験的地盤増幅率の記載の削除。それと、98 ページにつきましては、
00:17:50	ブロックインバージョン結果による確認を削除しまして、PS 検層モデル、
00:17:55	との比較による確認について記載してございます。
00:18:01	ここまですべて本編になりまして、あとは補足と参考になりますけれども、前回は先ほどご説明しました PS 検層モデルのところや、ブロックインバージョン結果による確認について補足資料という形で記載してございましたが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:18:17	先ほどのPS 検層モデルについては本件の方に入れまして、ブロックバージョンの一連の資料については、丸ごとですね、参考の方に移動してございます。
00:18:32	以上で、限界の説明を終わります。
00:18:40	はい。説明ありがとうございました。ともに回目のヒアリングということなんでちょっと前回のヒアリングからの差分部分中心で、
00:18:49	確認をしていきますけれども、まず、概要が出されたんで以降は、全体が繰り下げということで、
00:19:00	その概要が、
00:19:04	8 ページ目からですかね。
00:19:08	て、
00:19:09	一応位置付けこれは穴井から説明しているもので、
00:19:13	陸子にポツ一つ目の次の代案ですが四角かな、四角で、これが、
00:19:18	今回のところで追加されたデータは何ですかというものを
00:19:23	書かれていると。
00:19:25	ちょっとこれ後々も出てくるんで、ちょっと済みなんですけど、80 地震計 16 地震観測記録、
00:19:34	と。
00:19:36	いうものと、何か結局データは取ってるんだけど、使ってるものって、すそ 15 限界の 19 かな。
00:19:46	中堅指針ですよね。ちょっとここの間の関係がよくわからないんですけど。
00:19:53	ここでは何かその 156 ありますと言ってても、何か説明の中身に入っていくと、もう 19 地震からになってくるんですけど、
00:20:02	ここどういう証明になるのかな頑張ってデータ取りましたっていうのは多分 16 ページとかその経緯を、14 ページかな、これは経緯は書いてあって、
00:20:13	これまで頑張って取った集めた例だと、結局使っているものは何なんですかっていうところで、
00:20:22	ちょっとそこが少し話が飛んでしまうんですよね。
00:20:28	これわあ、
00:20:29	うーん。
00:20:34	多分これ 80 地震のうち、何かしらのルールがあって、残るものがだから 20 なんですよね結句使うものが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:43	ちょっとそこら辺の関係で、
00:20:45	是々非々で今の時点ですぐではないんですけども、
00:20:50	どこかでその工具明確にならんですかねというのが、
00:20:55	ちょっと注文ですね。
00:20:56	その上で、ソクハウ構造とQ値ということで書いてあるんですけど、何か許可の時とかあって、三つのはあったと思うんですけど、高塚構造モデルって密度も書いてあると思うんですけど、
00:21:09	この辺って、
00:21:11	当然、他社の申請書とか、他のところを見てみると、
00:21:16	速度層及び密度はこういう根拠で設定するとか場合によっては少し違うのかもしれないんですけど、
00:21:23	ちょっと設定根拠の部分ですね密度に妥当性の説明もへったくれもないし速度構造も値がそうなんだから、そうだという以上のものでもないんですけど、
00:21:33	ちょっと後の、
00:21:34	設定する最後のものを見ていくと、
00:21:38	密度、
00:21:39	速度層、
00:21:40	木内って出てくるので、
00:21:43	当然許可のものから書いてないし、根拠データも変わってないから変わってないんだと思うんですけど、ちょっとそこもわかるように書いてもらえますかねと、多分そこが、
00:21:53	最後申請内容とかそういうところも含めて、
00:21:57	書かれるべきところに、何か密度の根拠が、どこにもありませんっていうか、表を言う申請内容になるとちょっと困るんで、
00:22:05	ちょっとそこら辺は、
00:22:09	書いてくださいと、多分これ参考1の方に書いてある内容と同じ(1)じゃないか三国休暇。
00:22:16	9かな。
00:22:17	よく地下構造モデルのところが多分書いてないとおんなじ。
00:22:20	それをかいつまんで書くことになるだけですよね。多分これ、
00:22:24	何だ岩石、試験結果は、多分そういうことなんだと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:32	ということでちょっとそこを8ページとか、或いはその9ページのところに、多分速度構造等を分ける必要はないのかもしれないんですけど、同じ枠に、
00:22:42	速度構造及び密度の設定とかって書いて、
00:22:46	これですかね設定方法のところが、
00:22:49	この辺に岩石試験とかなんか多分書くんですかね、ちょっとわかりません。
00:22:56	はい。
00:22:58	で、
00:23:02	次がですね10ページは後で説明する、その妥当性確認のところを、それぞれ90メートルまでと、200、
00:23:13	メートルまでかな、これを変えたと、ということで、あと11ページの、
00:23:19	これ前回の会合でもあったんですけどちょっとこう、
00:23:22	何か、さらに余裕を持たせて裕度向上を図るためと書いてあるんですけど、
00:23:28	確かいわゆる観測データ地震観測記録がとれてる取れてないの差だったり、これをこの後多分、中身を確認していくと、いろんな理由があるんだと思うんですけどね。
00:23:40	ちょっとそこら辺は、8クリアに多分書いておいてもらいたいんですよ。
00:23:45	ちょっとそこら辺具体的にどういう趣旨でこういう、なぜ、さらに余裕を持たせることにしたのかみたいな話は、ちょっと後ろの方確認していた中で、どういう考えなのかっていうのは、
00:23:58	おこうと思うんですけど。
00:24:03	ちょっとそこら辺、1個わからないと、何か、9ページのものなのか、11ページがその最後どっちが、
00:24:09	どういう論理で性の性となるんですね、標準を通すべき不良の地下構造モデルになるのかがちょっとわからなくなるので、
00:24:19	すいませんちょっと概要部分今回足されたんで、この辺で何か今の段階で気になるものがあれば、他の方、
00:24:28	なければ後ろの方の3ポツ以降に行きますけど、
00:24:31	大丈夫そうですかね進んで、
00:24:41	はい規制庁佐口ですけども。
00:24:44	ちょっとやっぱり概要を見て、全体を、資料全体を見ると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:49	うん、ちょっとどうなのかなと思うところがあってやっぱり確認をさせていただきたいんですけど。うん。
00:24:58	まず 8 ページですね。
00:25:00	8 ページで、
00:25:02	一番下の地盤減衰の Q 値のところは、こう書かれている通りで、
00:25:08	マイナス 200 メーターまでっていうのを、
00:25:12	継続的に取得している鉛直アレイの地震観測記録、これは伝達関数だったり地震が干渉法。
00:25:21	いろいろ検討されてるんですけど、こういったものですか、追加で、今回のその審査の中で、そういった中での、
00:25:33	追加でボーリング孔内で、
00:25:35	減衰測定だったりとか、そういうものをもとに、
00:25:40	設定と、
00:25:43	ということが書かれている一方で、9 ページにいくと、
00:25:47	実は、
00:25:49	これ -90 メーターから 200 メーターで、
00:25:54	設定方法としては、速度層断面、
00:25:58	そう設定をしていて、あくまでも今回の追加の、
00:26:03	PS 検層を、
00:26:06	とか、そういったハーカー PS 検層、
00:26:10	を用いた、
00:26:11	減衰なんかは、あくまでもこれは妥当性の確認のためのものであって、
00:26:18	いわゆる設定根拠ではないみたいな書き方がされてるんですけど、
00:26:23	実際に御社どう考えているのか、あくまでも、
00:26:30	設定の根拠となるものは、結局地震観測記録、
00:26:37	等、
00:26:38	速度断面だけ。
00:26:40	でよろしいのかどうかちょっと教えてください。
00:26:45	はい。九州電力の本村でございます。我々としましては、速度層断面によって設定してボーリング孔内の減衰とかで、
00:26:57	妥当性確認というふうに本編の資料とか、記載してございますけども、ちょっと 8 ページの記載。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:06	とですね比べてちょっと違うところがあるかもしれませんが、我々としてはこの8ページに書いてるところっていうところは、広義の設定といえますか、設定と、妥当性確認まで含めたところで、
00:27:19	キュウチョウ設定してるというところで考えておまして、大きく言うと、妥当性確認までをもって、9を12.5にしたというところがありますので8ページについてはちょっとこういうふうな、
00:27:35	記載をしているというところが、実際のところでございます。
00:27:41	はい規制庁佐口です。もうちょっと端的に言いますと、私の確認というのは、8ページから9ページか。どっちが御社の考えとして性なんですかという、
00:27:53	それをちょっと確認させていただきたかったんですけど。
00:27:58	九州電力の明石でございます。当社としての考え方の整理としては9ページ。
00:28:05	のやり方でこれ後段の本編の方の資料でも、そういう流れで整理しております。何で8ページこういう書き方したかと。
00:28:16	いうことについては、今後ちょっとちょっと経営、この場でべらべらしゃべる話じゃないかもしれませんが、今後、申請書の補正をやっていくにあたって、
00:28:26	どういうまとめた書き方になるかなど。一つはもうこのもう設定をこうしました、だけを書くという考え方もあるんですけども設定してその妥当性をこういうもので確認をしてるそれをまとめて、
00:28:40	先ほど本村の講義と言いましたけども大きな設定の考え方としてこんなものこんなものこんなものを見て、設定してるんですよと、並べて書くと。
00:28:52	いうやり方もあるんかなと思って、すいませんその辺は、正直言うとまだどういうふうに補正書の中で書くかというのを腹決めてきてるわけではありませんけども、
00:29:04	ネタを並べるという観点に立つと8ページのような書き方になるのかなど、いうふうに考えたというものでございます。
00:29:13	はい。規制庁佐口です一応考え方聞きましたけど、基本的に、
00:29:19	これ、
00:29:20	始まったぐらいですね審査始まったぐらいで、ちょっと経ってからいくつかコメン等、会合でも差し上げていますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:29	今の、例えば9ページみたいな書き方だと、確認として、されてるのは別にそれは構いませんけど、あくまでも設定の根拠ではないという判断であればですね、
00:29:41	それは当然ながら、新しいデータが何もなくて、当然ながら、使っているのは、もうこれは、速度層断面というのは、もう既許可における、
00:29:51	もうすでにあったものですので、
00:29:53	そうした場合に、じゃあ変える要素が全くありませんねという多分話にもなるかもしれないんですけど、そういうところも含めて、少なくとも私は、
00:30:04	今回追加でされた、こういったボーリングで測定されたQ値、これも設定の十分な根拠とは思ってるんですけど今のところ、
00:30:15	御社はそうではないと。
00:30:17	いうお答えだったかなと。
00:30:19	今認識したんですけど本当にそれでよろしいですか。
00:30:29	九州電力明石でございます今のご指摘、前段でお話のあった確かに、
00:30:35	PS 検層結果をもとに設計だけだとこれ新しいデータではなくて既許可の時にもあったものですよねってそれはもうその通りでございます。
00:30:45	下、結果のという言い方は適切ではありませんけども、もともとここに対しテーマ設定のものとして例のブロックインバージョンを基にした、
00:30:56	根拠づけもした上で、それが妥当なのっていうのを、このボーリングコアでさらに追加的に確認をしてたんですけどもそこからブロックインバージョンがいなくなったおかげですいません丸栄、
00:31:11	よく見るとという言い方は適切ではありませんけども、
00:31:14	既許可のときにあった話じゃないに確かになってしまってると思います。
00:31:22	香田本編の方の整理も先ほど私がお答えした整理にはなってございますけどもそこは、まさに室我々の方針立て通り、
00:31:32	構成の問題だと思いますので、
00:31:37	それでちょっとスパッと答えられてませんけども墓石の趣旨は理解しましたのでちょっと頭の整理をいたします。
00:31:44	はい。
00:31:46	私の今確認した趣旨っていうのはやはり明石さんお答えになっていた、全体通しての論理構成ですね。それから、当然ながら、この地下構造モデル設定に当たる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:59	根拠は何だと、いうところをですねやっぱり明確にさせていただきたいという主旨がありましたので、そういったある意味今回がどうなるかは別として、
00:32:11	一応今回この地下構造モデルの設定についての
00:32:16	総まとめ、最終結果という資料の多分位置付けだと思いますので、そういったこともですね少し考慮していただいて、資料全体を通しての論理構成だったり、
00:32:29	制定の根拠というのが明確になるようにはさせていただきたいと思えます。
00:32:37	はい九州電力なんかそういうございます承知いたしました。論理構成MAのメーカーか今一度ちょっと再整理、明確化いたします。
00:32:54	はい。
00:32:55	今長南が200メートルまでのところ話が出た、これ、前回のヒアリングでもいいような気がするんですけど、今だから速度構造のお話持ってきてるんですけど、
00:33:08	何か、既許可の時とかの説明だと、
00:33:13	はい。すみません、本編の方は何かありますか補足。
00:33:25	あれ、手を挙げておられる。
00:33:28	99. 本店の方は、
00:33:34	すみません聞こえ
00:33:36	はいはい。
00:33:53	超えております。
00:33:55	甲斐久賀。
00:33:58	いかがでしょうか。
00:34:02	ほとんど途切れて聞こえてないんですけど。
00:34:20	けれども、
00:34:21	ちょっと入り直し方よろしいでしょうか。
00:34:37	規制庁佐口です少しこちら側の機器を今設定をして、
00:34:45	ますので、少々お待ちください。
00:34:57	待ってくださいっていう。
00:35:01	日本語。
00:35:42	はい。はい。ちょっとネットの
00:35:45	9人は良くないので。原野。
00:35:50	百瀬ないので、一応、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:35:53	こちらから、
00:35:55	やっぱ入りなおして、
00:35:59	はい。ちょっと本店との接続がいや、ちょっとこの電波の都合上かもしれませんが、なのですいません一旦話としては、対面の方のお話進めさせてもらいます。
00:36:11	で、
00:36:14	本来のトラブルを学校によって、いわゆる地質的な面と速度の面と他の順で、かなり水平成層の説明の時も、
00:36:24	この話にもフラン絡んでの説明だと思うんですけど、許可のときの資料を見てみると、一応地質団はほとんど中身として一緒なんだと思うんですけど、何も新しいものはないんですけどね。
00:36:35	地質断面として多分この、
00:36:38	どこだ佐世保層群になるんですかね、東松浦玄武岩のところもっと浅いところなのかな。
00:36:45	やっぱり今日地質断面の説明があって、その中房ねいわゆる、
00:36:51	その褶曲構造もなくてーに多分もうー200メートルもうちょっと深いところまでは少なくとももう地質として、
00:36:59	佐世保層群がずっと続いているっていうのかがあった上でそのあとに、その速度構造の話があってっていうので、何か二つがそのセットになってたような気もするんですけど。
00:37:13	いや、別に何か強い根拠がですね、出されるものではなくて結局機構と一緒になんですけど、
00:37:19	そこら辺ってどう考えてるのかなというのは、
00:37:47	はちょっと、
00:37:54	はい、じゃ、ちょっと言ったん録音止めます。一応、ウェブ会議を一旦立ち上げ直すということで、
00:38:01	短5分ほど中断します。
00:39:09	えっと立派な所、正直な法的なお話をすると、
00:39:14	ぜひヒアリング終わってからの我々の中の議論で、そもそもここ、
00:39:18	浅いところ決定して妥当性確認して、この3年Q値についてですね、200メーターまでまた設定して、妥当性確認して、最後、
00:39:28	妥当性を確認して、この切りになったって、もうそもそも設定のところはこの追加ボーリングだったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:39:35	境界変更も含めて、それをもとに設定した設計でした。最後に妥当性を、まさに応答スペクトル、
00:39:43	地震観測記録で確認した、もうそういうことだ。
00:39:47	いうふうに我々だったんですが、すみません、それーで資料を再構築するところ、すごい作業なのか。
00:39:56	あるんで、ということで今の形に、
00:40:05	はい。
00:40:26	まさに、今回いろいろちょっと前回のご示唆もあって、概要版を、
00:40:32	整理しながら、我々はその細切れの設定妥当性設定をさせてやってるのか。
00:40:39	どうするって話になって、
00:40:41	もうシンプルにはもう設定して最後に、モデルとしての、
00:40:45	妥当性確認だよな。
00:40:48	ただ、これ、資料2のところちょっと大変なことになる。
00:40:53	いうのがすみません、実態。
00:40:55	でした。はい。
00:41:54	後段の本体の資料の方も、 트레이ダーズ様はちょっともう、
00:41:59	力だったらおかしいですけど、
00:42:02	シンプルにっていう頭が我々あるって、あとはちょっと作業と、何も、そこでまた、絞ったっていう水があると。
00:42:09	元も子もなくなります。ちょっとそこの勝負かな。
00:43:13	作業。
00:43:35	作ってる。
00:44:05	ちょっと、極力、まさにちょっとシンプルに、
00:44:08	なるように、
00:44:12	頑張ります。
00:44:14	頑張りますよ、私は頑張ってくれという方ですけど。
00:44:44	今、立ち上げ直しました。今、ウェブ会議の方に、
00:44:50	入っていただきましたけど、聞こえますかね九州電力本店と規制庁の方の、かなり妹さんかの田嶋さんですかね。
00:45:00	それはいかがでしょうか。
00:45:14	しれないんですか。
00:45:17	何かもうちょっと話していただいただけですか。
00:45:22	は、テストですと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:45:24	今テスト THAI 接続停止中ではいい。はい。
00:45:28	聞こえますかね。
00:45:29	はい、ありがとうございます。はい。岡嶋さんの方の発言も聞こえてますねはい。基本、
00:45:35	本店はいかがでしょうか。
00:45:40	九州電力本店の米良です。
00:45:45	先ほど sec 前よりは聞こえてる状況ではありますけどちょっと聞いた若干
00:45:51	あとキッツ、
00:45:56	はい、そうでちょっとさっきよりはぶつ切りではないかなと思うんですけど、じゃ、ちょっと一つ、一旦ではこれで再開しますかね先ほどの部分でって、本店の方から補足がありそうだったんですけど、
00:46:12	いかがですか。大丈夫ですかそれとも質問ですかね。
00:46:16	聞こえなかったってことだけですかね。
00:47:08	はい。すいません。中身再開するとして、
00:47:12	概要部分のところは先ほどのちょっとこの設定根拠の部分ですかね設定とかキッツ設定妥当性があったり、ちょっとその部分が、
00:47:23	わかりにくかったですねという話があって、
00:47:27	ねえ。
00:47:29	じゃあその話の、
00:47:31	先としてだから 14 ページからは少しマイナーチェンジが 15 ページかな 16 あたりが、
00:47:37	Φなチェンジということで、
00:47:40	15 ページは、清。
00:47:44	届いていないんですが、
00:47:47	赤じゃない、何か発言されても結果、
00:47:52	今もう 3 ポツの話に、
00:47:56	移って発言をしています。
00:48:00	はい。
00:48:12	メンバーで来てる。
00:48:18	今の田島さんの声はよく聞こえたんですけどもこちらも同じように会議室の声は聞こえないでした。
00:48:58	ちょっと再び中断してますけど、多分画面に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:02	黄色いバーが出ると駄目なのか、今今聞こえます。今、刀禰画面、今、ウェブ会議の画面上に変なエラーメッセージ出てないんで、
00:49:11	今私しゃべった駄目かな。今、また、
00:49:15	エラーが出ないエラーメッセージが出ましたね。
00:50:18	はいすいません再び中断します。
00:50:42	集団してるときに、
00:50:44	そうすると、ちょっとちらっと鈴木さんが言われてたんで、その佐世保から地質的な話も、
00:50:50	の展開からって言われてたのやっぱり申請書の流れ、
00:50:56	イメージされておっしゃってるという。
00:51:10	はい。
00:51:22	はい。
00:51:25	はい。
00:51:53	はい。
00:51:57	そこに対して今回、
00:52:01	新たなデータ、
00:52:04	これだけじゃないんで、
00:52:20	案。
00:52:21	あんまり良いと悪いですが全く考えてもちょっとシンプルに、
00:52:26	まとめてたつもりではあったんです。
00:53:05	はい。
00:53:30	規制庁ですけど聞こえてますか。
00:53:36	九州電力本店から野々村です。今の声は聞こえました。
00:53:40	田嶋です聞こえております。
00:53:47	はい。こちらもよく聞こえました。
00:53:52	ちょっと再開の合図するまでちょっと待ってくださいね。
00:54:13	おっしゃるおっしゃる通り、ここはもう、これとこれとこれと、
00:54:18	再処理したと。
00:54:53	はい。では、再び再開します。
00:54:56	では次3ポツですかね半歩地下構造モデルの設定と、
00:55:02	ということでちょっとまずはこの1516ページですかねこの辺りのところはさっき概要版の方でも話があったんですけど、結局何が新しいデータ年使って、
00:55:14	何を根拠に設定するのかというところですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:19	15 ページは、新たな知見と書いてありますけど、ベースになるのは地震観測記録の蓄積と、あとボーリング孔内の減衰測定。
00:55:31	で、それに紐づいてこの地震は干渉法だとか、Q 値の上限の話だとか、合わせてやってる岩石化の話だとか、
00:55:41	ここはそういう話なんだろうとは、
00:55:44	思いますけど。
00:55:46	16 ページわあ、ちょっとここも、
00:55:51	入口ですよ。菅当時のか、これ許可の話なんで、そのあと地震観測記録が増加されました。
00:55:59	それを踏まえて、
00:56:01	地下構造モデルを設定しました。速度は一緒です Q 値はとかってこの話 がですね、何かさっきの冒頭、概要のところの流れと、
00:56:13	こっちを見ると、あくまでその地震観測記録の増加。
00:56:18	これまあなんか何となく工事系列で話の物語を組んでいるからこうな ってるのかもしれないんですけど、
00:56:24	あまりこうし、当時申請許可以降、こういう努力をしてみましたみたいな 話よりは、ここはもう何をもとにっていう概要版と対応する形にならん のですかねという、
00:56:37	ことなんですけど。
00:56:45	ちょっとこの、少しこの 1516 ですかね、これの概要版のさっき言っ た、何を、何が獲られたんで何を使って、何を使って、
00:56:54	その新しいものと当然許可から変わらない根拠とあるはずなんで、ちょ っとそこ話の筋がですね、豊漁にしてもらいたい。
00:57:04	のですよなんかこう、冒頭の概要と、16 ページを見比べて、ってこうで すね、
00:57:11	眉間にしわが寄るような感じになっちゃってるので、そこら辺は何とか 工夫なんですかね。
00:57:17	はい。九州電力の明石でございます。ここももう正直別実態を申し上げ ると、12 ページ以降の本体の説明があって、
00:57:28	それを全体総ざらいして概要版を作る等で 8 ページからになってるんで すけどそこから改めて振り替えると、総ざらいしてまとめたやつと、ま さに 16 ページ時系列で説明してた流れ等がも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:43	整合しなくなってしまうと思いますので、ここはもう最終的にもう概要軸にしてシンプルに、全体の論理構成を綺麗に整理することだと。
00:57:54	思いますので、ちょっとそこ不整合は解消させながら、またあまり後手後手にならないようにちょっとシンプルに整理はいたします。
00:58:08	はい規制庁佐口です。きちんと整理をいただくということなんで、
00:58:15	言わずもがなというか、あくまでも、
00:58:19	16 ページって、これ、
00:58:22	最新知見ってこう随所に出てきて特にその標準応答スペクトルモデルっていうのは、観測記録と最新の知見って、
00:58:31	いう話であって、少なくともこれまでのご説明だと最新の知見ってじゃあなんだっていうと、地震は干渉法等クロックインバージョンなんですよ。
00:58:40	当然ながら、ブロックインバージョンというのはもう基本的にこれ根拠じゃなくて、参考程度の、最終的に、
00:58:51	確認をする。
00:58:54	ものであるので、そうすると今 16 ページっていうのは、
00:58:58	マイナス 90 メーターより下がすっぱり抜けちゃってるんですよ。
00:59:03	結局観測記録と、
00:59:06	観測記録と最新知見でも、干渉法だけなので、結局、地震観測局ある -90 メーターより上のことだけしかこのページでは言えなくてですね。
00:59:16	そうすると最後の標準応答スペクトルモデルっていうのは、マイナス 90 メーターより下の、
00:59:22	ことが実はここ今抜けてる状態なので、そうそういうことも含めてですね、もう 1 回整理をしていただければと思いますのでよろしく願います。
00:59:43	大丈夫すか。
00:59:44	わかりました。多分後から出された PS 検層の多少時系列で書いてあるから書いてないんだと思うんですよ。これ今の 16 ページの、
00:59:52	はい。はい。
00:59:53	本村です。今の議論を踏まえてちょっともう一度整理したいと思いますすいません。
01:00:05	はい。
01:00:06	じゃあ、よろしく願います。で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:09	17 ページはこれ 19 地震の話なんて、あとは、
01:00:16	18 ページは、
01:00:19	コラム特に川名 1089、この辺からは変わらなくて 22 ページが、
01:00:27	先ほど言ったように、金行整理論理構成を整理したんで、変わりましたと。
01:00:42	はい。
01:00:46	江藤九州電力中瀬ございますちょっと途中で口挟んで申し訳ございません。そもそもこの 212223、これは前回お話してたものを、こういうご指摘で我々頭の整理をして、
01:01:00	23 ページにしました。まさにちょっと時系列での整理になってるんですけども、先ほどの 16 ページからも同様、
01:01:12	要はもう時系列の説明これは何か、どこか一補足的にあってもいいのかもしれないけども結局まとめ資料として丹担当。
01:01:21	説明できるような形にしなきゃいけないのかなというふうに思ってますので、
01:01:27	例えばこの 23 ページのこの右左の縦の流れ、これも先ほど私が申し上げた、設定して妥当性確認してて細かいこう仕分けになってますので、この 1 括りで、
01:01:40	シンプルにしていく整理のし直しも必要ですし、
01:01:43	ちょっとここは、もう時系列の話はどっかちょっと補足してるところに置いていて、結果やってる流れはこうですということをちょっとシンプルにご説明できるように、
01:01:57	ちょっと整理をいたします。はい。
01:02:01	はい。ちょっとここら辺は少し構成シンプルに変えるということですよ。はい。
01:02:07	わかりました。その際にですね、ちょっと例えば 22 ページだと、ここなお書きですね、
01:02:16	ブロックインバージョンの扱いがもちろん出てきていて、
01:02:20	ちょっとどういう形で各館も工夫もあると思うんですけど、結構こういうふうに見ていくとブロックインバージョンの位置付けが今変わった結果もあってですね。
01:02:31	なんか参考資料までめくり始めると、
01:02:33	何か何か出てくるなど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:02:36	何かやってるなっていうのが初めてわかるようになっていて、もちろんその設定の根拠、になるもの等の違いとか差分がごちゃ混ぜになっちゃうとそれは困るんですけど、
01:02:48	何か説明性の向上でこれを使ってますってというのは、どっかにその理は
01:02:54	した方がいいのかなと。
01:02:56	でもあって、根拠として使ってるっていうふうに誤解される混同するような書き方は困るんですけど。
01:03:03	何か突然こう最後の最後にちなみとこかって、こう書いてですね、参考の方は確かにめくっていくと唐突に出てくるみたいな話になると、
01:03:12	これってこの資料って、何か必要なか必要じゃないんだかよくわからなくなってしまうので、
01:03:18	もう何かバーンと何か、さらなる説明性の向上だったら説明性の向上と
01:03:24	区切ってですね、その設定の設定いわゆる
01:03:28	設定妥当性確認の意味での設定ですけど、設定の根拠はこれですと、説明性の向上としてこんなこともやってますとこかって、
01:03:37	生み出しわけてしまえばいいんだと思うんですけど、
01:03:39	ちょっとそこら辺がないものです。いきなり参考資料も、
01:03:43	ブロックバージョンいっぱい出てくる。
01:03:45	何に使ってるんだらうなっていうところが最後まとめたとき、
01:03:48	いってしまうので、
01:03:50	そこら辺も工夫された方がいいかなと思います
01:03:54	必須のものとして使ってるわけじゃないので、
01:03:56	あんまりそこは細かく注文つけませんけど、何か後に、めくっていくと急に出てくるみたいなものがちらほらあるので、
01:04:11	例えば参考5かな。
01:04:14	であれば、一旦その本のPS検層とかまでやってみて-200メートルまで、
01:04:20	ですよ。速度構造をわかっていて200メートルまでPS検層をもう1回やり直して見てみましょうと言ったら、200メートルまで同じようなQ値があるっちゃうのは、事実確認できましたと言って、
01:04:32	そこで設定はOKなんだけれども、じゃあちょっと別の切り口で、確認確認をしてみて説明性向上できないかなと、やってみたらブロッキーバージョンだと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:43	-260 ぐらいまででしたっけ。
01:04:45	で、何とかどうもよさそうだと、いうことで、何か
01:04:52	不整合になるようなデータでもないし、出てないんで、補強の多分そう いう、
01:04:58	その順位づけというか、どの順番に使うとか、多分そういうことだと思 うんですけど。
01:05:03	何かこう、使い方がよくわからないまま後にちなみにこんなこともだけ 出てくるんで、ちょっとそこは気持ち悪いかなどというだけです。
01:05:12	で、そうしていくとですね。
01:05:16	3 の、
01:05:19	1 は、少しちょっとシンプルに構成を見直し、
01:05:24	いうことで3-2 からが本体になるんですけど、
01:05:28	24 ページはこれ、前と同じですねちょっと何を根拠にしていますかという 話なんで、
01:05:34	これは最後の、
01:05:36	前の表現を変えたらそれに合わせてくださいと。
01:05:40	その上で、
01:05:45	27 とか 28 とか結局 28 って、もうこれ以上のことはないわけですね特 に同定結果を示して、
01:05:56	同定結果がこうなので、これをもとに、
01:06:00	次の 29 ページの Q 値っていうのの検討というのは、使える同定結果が えられたんですよって何か言いたいのかなと思ったんですけど。
01:06:09	特にここはグラフ化して説明することがなければ、ここは、
01:06:14	鳥羽そうかなと思います。
01:06:17	あとはこの辺のさーん 21 シリーズでいくと。
01:06:23	あとはですね表現ぶりを少し加筆したぐらいかなと思ってまして、
01:06:32	41 ページも、応答、鉛直方向は何の結果をもとに行っているのかも
01:06:38	紐付けてもらったと。
01:06:43	で、あとは 43 ページで、
01:06:46	これが特異な地震だと言っているのがこれが 16 番の地震のことについ ての EW 方向ですってのは一旦ここで言った上で、
01:06:57	補足に、
01:06:58	飛ばしましたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:07:00	ということなんですけど、ちょっとここ前回のヒアリングでも言ったんですけど、補足の②ですかね 120、12 とか 113 あたりのところで、
01:07:09	結局
01:07:12	なぜ、
01:07:13	この 16 番の丁寧層厚と EW 方向でこういう結果の違いが選ばれたんですかというのは、主にこんなことが考えられます。
01:07:22	ではあるんですけど、やはり最後その欲しいのは、聞きたいのはですね、いや、こういう原因でしたんで、じゃあそれが金じゃあ地下構造モデルが何か見直さなきゃいけない要因なのかそうではないのか。
01:07:37	いやこういう原因はあるんだけど、この地下構造モデル使う分にはですね標準応答スペクトルの地震動評価で使う分には、いやこの問題というのは東海林へないんですなのか、ちょっとそこら辺がないと、
01:07:49	ここ、これは NS 方向はこういう原因でしたっけ、EW 方向がこういう原因でした。
01:07:55	以上だけだと、全部このまま使い続けていいのか、何かチューニングをかけなきゃいけないのかわからないので、
01:08:01	ちょっとそこら辺は細部をはっきり書いてもらいたいかなと思うんですけど。
01:08:06	ここだから、
01:08:09	当然個別の観測記録なんで、その地震によってある方向だったり、そのある地震によって、その特定の周期が強かったりわかったりが、
01:08:20	これもっと個別の地震なんであるんだと思うんですけど、
01:08:23	それを地震動標準応答スペクトルの地震動評価に使うときにそれで問題になるのか問題にならないものなのかわちゅうのは、そこははっきり書いてもらいたいかなと。
01:08:34	前に書く必要なくてこの補足の中で書いてもらえばいいんですけど、
01:08:38	ちょっとその結論は変えてもらわないと。
01:08:41	これどうどうということになるのっていうのはわからないんで、その点はいかがですか。
01:08:47	はい。九州電力の本村でございます。この 16 番の地震についてはやっぱり特異なものと、3.5Hz で、
01:08:56	その入力観測を見ると、やはりぽこっとうへこんでるところがある。
01:09:02	と、そういう理由で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:09:05	こういう現象になってるんですけど標準応答スペクトルにつきましてはすべての周期体でパワーを持ったものになりますので、さっきおっしゃられたような標準応答スペクトルを評価するにあたっては問題ないとかです。地下構造モデルの妥当性に影響ないと。
01:09:19	というようなところを記載したいと思います。
01:09:24	はい。確か前回のヒアリング時もそんなような話だったと思うので、はい。
01:09:29	それで、すみませんちょっとまた戻ると、
01:09:38	なんか今 43 ページまでですね。はい。
01:09:43	で、この先は、1 監督に新しい話はなくて、
01:09:49	56 ページからが、これ、最深部地震計以深のところ、ちょっとこの 56 ページのところは、先ほど冒頭の部分で、
01:10:00	その設定根拠、妥当性根拠広い意味での設定根拠なのかみたいな、ちょっとそこら辺を基にですね、
01:10:07	反省をさせて、整合させた記載にされるんだと思うんですけど。
01:10:13	その上でですねえ。
01:10:17	ここも特に、
01:10:19	細かい、
01:10:20	ところは、
01:10:22	前回あったような表記載ですかね。あと、全体のページがずれるんで、文献番号とかの注釈のずれみたいな話だけなので、
01:10:33	まとめのところが 69 ページですか。
01:10:39	ここもあれですかね、結局最後さっきのところと繋がる話なので、
01:10:45	ここも同じですかね。変えられましたけど、はい。
01:10:49	て、
01:10:50	いよいよですね 3.3 で地下構造モデルの設定は、
01:10:56	速度法は当然評価から、もともとのベースの値が変わらないから変わらないって。
01:11:03	Q 値については、
01:11:06	200 メートルまで、
01:11:07	範囲でこうこうこうこういうデータに基づいて設定したのでこうなりますと。
01:11:14	じゃあその妥当性確認ですということで、次に行くわけなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:19	ここからは判例を少し見直ただけで、じゃあちょっと問題になるのが 83 ページですかねやっぱり、
01:11:28	この上下の部分なんですけど、
01:11:30	前回のヒアリングでも説明があってそれをもとに、少し記載を、今 83 ページみたいに直しましたと。
01:11:41	ということで、
01:11:42	やっぱりこの記載を見るとですね、もともと、90 メートルに入力する時点で、その当該 0.2 から 0.4 秒の
01:11:53	は系ってというか同等スペクトルのこのピークですかねピークの形という ような形に作られているので、
01:11:59	従ってそれは、
01:12:03	90 メートル浅い部分地震観測がとれてる範囲内では、今の地下構造モデル でいいんですという説明なんですけども、
01:12:12	ちょっと例えば、85 ページの 16 番の熊本地震ですかね。
01:12:17	これはどちらかというとも 90、形はそうですかね。形はそんな変わってない んですけど割と、
01:12:25	その隣の右側ですかね
01:12:29	ペイ点。
01:12:30	靴だ、0 点。
01:12:33	七、八秒ぐらいの多分ピークとの山との大小関係に比べると、斉藤浅井 ところに行って跳ねているようにも、
01:12:40	見えなくもないんですけどこれはちょっとこの 1 個だけの話なんで、
01:12:43	とはいえですねこれ。
01:12:45	ちょっと確認したいのは、これもともと
01:12:51	地下構造モデルを開始したのも、この地震観測記録もですね、結局 EL -90 の観測記録があって、
01:13:01	それを片や地下構造モデルに入れて、
01:13:03	上まで、
01:13:04	観測記録は当然上の、-17 の観測記録ってということで、何か入ってるも のは、もともとと同じ。
01:13:13	なんですよねこれ。
01:13:16	削る等、何か片やですよ。そこで、
01:13:22	入れて、地下構造モデルを介して-17 までいったもの。
01:13:26	で、観測記録として-7 でとれたものっていうと、いやもともと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:31	いやそういうですねピークがあったんです。だから、それより浅いところのモデルの影響はないんですっていうと、
01:13:39	マイナス 17 メートルのところの結果って、同じというか、どっちが上回る上回らないにならないような気がするんですけど。
01:13:47	それってやっぱり、そんなに大きな違いではないかもしれないんですけど、83 ページのところで、伝達関数の比較って出てるんですけど
01:13:57	だからその大きな違いがあるわけじゃないんですけど、
01:14:00	全体的に見ると例えば 0.
01:14:04	0 ちゃん、123 は 2.5Hz から 3Hz ぐらいのところとか、
01:14:10	あとは 4 号、
01:14:12	6Hz ですかね。
01:14:13	平均的に見ると少し
01:14:16	観測記録の方が上回ってますよね。
01:14:20	そんなに大きく上回ってるとは言いませんよ。
01:14:24	やっぱりもともとこの
01:14:26	スペクトルの、この形ですね、形は -90 のところがあるのかもしれないんですけど、それが -90 から -17 に行くときに、
01:14:36	この実際の観測記録の方がそのままいわゆる伝わって負の増幅してくると、地下構造モデルを介した場合とで、
01:14:47	やっぱりこの辺の少し差分があってですねその差分で細部はスポットスペクトル -17 の応答スペクトルで比較すると、幾つかの地震でこういう最後、
01:14:59	スペクトルで差分が出てきているというか、
01:15:02	何かこう、おんなじものを入れてるはずなんで、
01:15:06	何か全くここに何もですね影響はないんですと。
01:15:11	地下構造モデルの影響で全くないんですという話なのか、ちょっとそこがですね、よくわからなかったんで、
01:15:18	ちょっともう一度この辺のところを教えてもらっていいすかからくりというか説明。
01:15:22	どういう原因というかですね。
01:15:27	九州電力の本村でございます。おっしゃることは理解してますけども伝達関数でも、この緑線にぴったり合ってるかっていうとそうではなくて若干ですけども、上回るところがあると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:40	応答スペクトルを見たときも、おっしゃる通りですね EL-17 と -90 で すか。比較して、形状はまあまあ合っていると。
01:15:51	いうところでありますけども、ただ 19 地震の比較をしていますけども、 それすべてでこのような現象が起きてるかというところでもないところ がありまして、
01:16:02	多少、
01:16:04	ここに並べてます。七つぐらいですかね、というところはありませんけど も、-90 メーターを見ると、やはりスペクトル形状とかの凹凸は、もう 似てますので、-17 と。
01:16:18	そういうところもあって、デコミもわずかというような認識を持ってま すので、-90 から解放基盤までの間のモデルの妥当性に何か影響がある かというところ、我々としては、
01:16:32	ないのかなというふうに判断しているというところがございます。
01:16:40	はい。わずかながらちょっと伝達関数には違いがあるんですけども、そ れほど大きな、
01:16:48	営業この 90 メートル浅いところで、何か増幅とかで大きな増幅或いは 減水側で、その大きな地下構造モデルと観測記録の間に大きな乖離があ るものでは、
01:16:59	ないので一応ここ -90 までということを書いてあるんですけど、
01:17:04	等で地下構造モデルってそれよりも深いところもあるわけなんで、
01:17:08	5-90 の範囲では、何か大きな問題がありませんでしたっていうと、そ れより逆に古い深いところですよ。甲斐用地使ってる、かなり深い部 分は、
01:17:19	あんまりこういう微妙な違いっていうのは
01:17:22	考慮しなくていいのかもしれないんですけど、
01:17:25	同じ。
01:17:26	Q 値を使ってですね検討しているのはマイナス 200 メートルまでなん で、
01:17:31	うまくそういう話を聞いてみるとさっき不破りとその何となく余裕を見 込みますとかっていう形で冒頭、理解てあったんですけど、少しこうい うようなところって、
01:17:42	今後、
01:17:43	原因となるものが何なのかっていうところは厳密にはここ特定できては ないんですよ。なんで少しこう不確かな部分が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:51	ここ残っていて、ただ少なくともこの 90 メートル浅いところでは、
01:17:55	いいんだけど、ただ、それよりじゃ他どころが、
01:17:59	どこに原因があるのかっていうところもまだ不確かな部分があったりする話のあたりですね、或いはあともともと前回会合であったような地震観測が直接取れて、
01:18:10	いるか。
01:18:11	取れてないからこそ、地下構造モデルの妥当性っていうか 80、
01:18:19	8 ページとか八十七、八十 8 っていうところは、結局伝達関数による比較をするしかないわけですよ、応答スペクトルとか、観測記録とダイレクトに取れてないから、
01:18:30	そういう比較ができないから、伝達関数によるこういう比較しかできなくて、
01:18:35	そういう差分の話とかですね 8 あったかと思うんですけど、ちょっとそういうところにも、最後陸があって、少しその余裕を持たせた方が、
01:18:47	何でも何か理由はないんだけど何となく気になって余裕を持たせたっていうことでもないような気がするんですけど、その辺りはどうなんですかね。
01:18:56	はい九州電力の明石でございます。今ご指摘をいただいている、この上下脳波話について、
01:19:07	おっしゃる通り、永久じゃ 90 メートルより下は、ということについては当然、なかなか核的定期に物語ってあるのは難しくてであるからこそ、
01:19:20	最終的に我々が減衰をちょっとちょっと上乘せしているというか、そこで調整最終的に調整してるところにも結びついてるんじゃないかと。
01:19:31	ということかと思えますけども、直接的にこれがダイレクトに結びついてるかっていうとそうではないんですけども、これも一つでしょうし、やっぱり 90 メーターより上、地震観測記録等オートスペクトルベースで直接対比できてるところと、
01:19:46	やっぱりそうじゃないところの違いがあると、いうところをひっくり返してやっぱり差をつけているというのが最終的な判断になります。ちなみに、
01:19:56	この上下動については、90 メーターより下に何がしかこの PEEK 山ができて原因があるであろうとは間違いはないと思うんですけどもじゃ 90 メーターから 200 メーターの範囲なのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:20:07	もっと深いところところなのか、そうするとこれ震源の問題。
01:20:12	である可能性もありますので、それをもって、その 90 メーターから 200 メーターまでがこうなんですよ。これ下水がこうなんですよと、やっぱりダイレクトに結びつける。
01:20:22	のは、ちょっとなかなか、
01:20:24	難しいかなとは思いますが。
01:20:27	ただ、やっぱりその直接的な観測記録と対比できない部分があるということで最終的に、モデルとしては減衰を決めたりした差をつけてるというものです。
01:20:41	規制庁の名倉です。
01:20:44	私たちが求めているのは、応答は局所的に観測記録を下回る
01:20:52	原因って何ですかって聞いているので、
01:20:55	ピークが発生する原因を特定しろって言うてんじゃないなくて、超える原因は何ですかと言っているんで。
01:21:03	その場合は、
01:21:05	マイナス 90 メーターよりも低いところで何頭の要因があって、ピークが発生しているということと、
01:21:15	あとそれより上で増幅しているから超えてるんですね。
01:21:20	だから、すみません、私たちの見方でいくと痛み分けしなくちゃいけないくて、
01:21:25	上の方でも増幅してるからだから超えちゃうんですね。
01:21:29	だからその分については上の方で保守的に設定してるわけですね。
01:21:35	あと下の方でもう何らかのご姿勢が必要だから、
01:21:39	それが十分かどうかというのはあるかもしれないけど減衰。
01:21:44	は少し保守的な設定してます。
01:21:48	何かそういう意味で、
01:21:51	原因は特定できないにしても、何か、上と下両方、
01:21:55	でカバーしてるんだらうっていう、何かそこら辺の説明が、
01:22:00	何かなくて、
01:22:01	下で、
01:22:03	実は下が原因なんです。
01:22:06	わかりません。でも、上の方で設定してる考え方。
01:22:11	に対してメリット影響しませんって、理由も何も言わないで、
01:22:16	布施ちゃってるように見えるんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:18	だからもう少し何かこう、
01:22:20	実際、
01:22:23	速度構造とか減衰を設定する上でこういうことも一応考慮した上で、
01:22:29	配慮してるんですっていう説明が、
01:22:32	何かあってもいいんじゃないかそうしないと。
01:22:35	これって、私たちが質問したこと全く答えてないですよって、ゼロ回答ですよっていうふうに、見る人もいるかもしれないですねこれ。
01:22:46	うんちょっとここら辺は、
01:22:47	言い方の問題かもしれないけれども、
01:22:50	注意が必要かなと思います。
01:22:54	はい九州電力の赤瀬でございます承知いたしました。確かに見ようによつてはちょっとすかした回答になってる感もあるかなと思います。
01:23:05	これ先ほど鈴木さんからあった通りこの伝達関数を見るとやっぱり観測記録と出込み引っ込みありますので、当然オートスペクトルとして見た場合、どっかの出っ張りに引っ張られれば、
01:23:18	その出っ張りがあるところの方が大きくなっちゃうというのは当然あり得るべきことだとは思いますが。
01:23:25	ただ、何かちょっとモデルルートの、その辺の位相との兼ね合いでそうなるものであってモデルとしての何がしかの書きによってそういうことになっているものではないと。
01:23:37	いうふうに判断はいたしますが、
01:23:43	いえ、この超えてる部分について何がしか、どうその担保をされているのという配慮考慮についてもちょっと述べることによってしっかりちょっと、
01:23:53	答えた形にはしたいと思います。はい、承知いたしました。
01:24:01	はい。
01:24:03	ですしちょっとそこと似たような話になるんですけど、結局、
01:24:09	-90 から 200 メートルのところ、
01:24:13	ここはだから伝達関数の比較というふうになってるのは観測記録が取れてないんで、じゃ何どういう比較のし妥当性の説明の仕方があるかっていうところ伝達関数で比較するしかありません。
01:24:25	だから伝達関数でやるんです。
01:24:28	それによって、元の知見として差分が出ますよね。その上でさっきみたいなこれ前回の、前回 12 月の会合とか前回の会合の議論とは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:24:38	逆になるんですねこれ話の筋に沿って説明していくんで、前回の会合のときには、先に議論になったのは、当然 12 月の会合で示されたこの PS 検層モデルとの比較の、
01:24:50	ところでの変なピークこれなんだろうなど。
01:24:53	その議論をした上で、
01:24:55	前回の会合で、初めて出てきた上下動の
01:25:01	記録、これについてこの上下動のこの収益の頃なんですかっていう議論だったんで、
01:25:07	ですけど、今回はこう話の筋でいくと。
01:25:10	この順番に従って資料を見ていくわけなんですけど、そうすると、この 88 ページとか 89 ページとかこん 91 ページとかっていうふうに、ここ順々に見ていくと、
01:25:21	これ PS 検層モデル、これで、あくまで伝達関数であって応答スペクトルの比較ではないですけど、この PA 等伝達関数の比較で、こうこうこう見ていくとさっき言った 90 メートル、
01:25:34	より浅いところでぜひ多様な、
01:25:36	ああいうような、
01:25:38	傾向というのは、この PS 検層モデルでいくとこの -200 から解放基盤までの議論ができるわけで、その中で見ると、ここもどんな
01:25:49	さっきあった上下動のですねようなああいう問題というのは、
01:25:54	これは特にあるんですかないんですかと言われるとこれはどっちなんですかないんですかね。
01:26:03	あんまり広告そこまで厳密な議論をできるほどの、
01:26:09	データというか、ではないのかもしれないんですけども、
01:26:13	この PS 検層モデルで三本だけ出したまで伝達関数レベルの比較なんで、
01:26:20	先ほど 90 メートル浅いところではこういうものがあったんだけど、200 メートルから解放基盤っていう範囲内で見てみると、
01:26:28	そういうものはあるんですかないんですかっていうと、それはどっちでお考えなんだ。
01:26:39	はい。九州電力の本村でございます。一応伝達関数の比較について 88 ページに載せていただい載せさせてもらってますけども、0.22 秒から 0.4 秒の話だと思えますけど上下動については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:26:54	若干ですけども PS 検層モデル、3 本だけって言われるとそういう、その通りなんですけど、若干超えてるところはあります。ただ、こちら、
01:27:07	この 89 ページ以降で速度コントラストの話というのがありまして、やはりこの-9、200 メーター以深の設定というところが、ちょっと、
01:27:17	気になってくるかなと思ひまして、我々持つてるデータとして 200 メーター以深のデータがないというところで、これによっては、ここのデコミというところも、
01:27:28	コントラストがなければ、なくなりますし、そういうところがあつてなかなか難しいですけども、モデルとしてっていいですか、
01:27:38	ここら辺の 0.2 から 0.4 秒のピークっていうところは、
01:27:43	ちょっと伝達関数では本当にあるのかっていうのは、はわからないといひますか、応答スペクトルと似たような状況かっていうと、そうじゃないんじゃないかっていうふうに考えてるところでございます。
01:27:59	九州電力なんかそういうことでちょっとわかりにくかったかもしれませんが、まず、80、8 ページ下の右側でご覧いただくと、
01:28:10	コンマ 2 秒から 4 秒ぐらいの上下動のところなんかやっぱりこれボーリングで見るとピークがあるねと。
01:28:17	やっぱりこれボーリングの見られてんじゃないのと、いうふうに見えるんですが、80 じゃない。
01:28:27	91 ページ。
01:28:28	ご覧いただくと、この 200 メートルところん 200 メートルのところの速度のコントラスト。
01:28:35	これをなくすと、そのピークがなくなってしまうと。
01:28:39	ということでやっぱりこれ、200 メーターから上の範囲の、なにがしカーによって生じてるわけではなくてやっぱりこれ、教科書問題として、
01:28:50	起きてますので、結論としては、88 ページとしては先ほど上下でちょっと引っかけたようなピークがあるんだけどこれもあくまで境界値問題。
01:29:01	だったので、200 メーターまでの範囲にやっぱり何かあるというものではないと、いうふうに判断をしております。
01:29:13	はい。なんでちょっと知見というかデータの量とか、直接応答で見れるかどうかというの違いはあると思うんですけど、今のお話だと、
01:29:24	PS 検層モデル、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:26	感じた検討結果では先ほどの浅いところの応答スペクトルの方で出てきたようなもの。
01:29:32	それに相当するような、何か大きな違いというんですかね、観測記録と、この地下構造モデルの方での記録っていうのは、
01:29:41	あそこは安宅なさそうだという、
01:29:44	御説明かなと思うんですけどね。
01:29:53	はい。
01:29:57	ちょっと後はそうすると、細かい表現 94 ページとかも少し変えてはありますけどこれは最後まとめの表現ぶりなんで、
01:30:07	数で 9596 とか行くところが最後地下構造モデル。
01:30:14	そして最終的にどうしますかという話になってきて、
01:30:19	ちょっとこのあたりがですね、いや 12.5 から 16.7。
01:30:27	ぜひその簡単な説明ではなくてですね、結局最後何をどういう点を踏まえて、そこの部分については一定のその誘導、この範囲を持たせましょうというふうにしたのかっていうのは、
01:30:39	ここも前回の会合でもですねそこをクリアにしてくれと言ってある話なので、
01:30:44	ちょっとそこをですね、この
01:30:47	応答もそうですし、この 95 から 96 のところ、このあたりできちんと説明をしてもらいたいのですけれども、
01:30:55	を改めていかがですか。
01:30:58	理由と、こういうことからとかですね。
01:31:06	はい。九州電力の本村でございます。95 ページのところを、
01:31:12	だと思んですけど、会合のときにもちょっと内野赤瀬の方から話をさせてもらって、標準応答スペクトルの地震動にさらに余裕を持たせるということで安全裕度を向上させるために、
01:31:26	見直すと、見直しの根拠としましては、こちらに書いてますけども、観測記録が 0 で直接確認できてるか、できてないかっていうところが、一番大きなところでして、
01:31:37	それが -90 メーターを境に上と下であるというところで、ちょっと下の方は、12.5 から 16.7 に、
01:31:48	という話なんですけども、ちょっと記載が足りないかなとも思いますので、ちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:54	一応あの会合で申したことをですね書いたつもりではあるんですけども、という状況なんですけども、
01:32:05	確かに聞き方が悪かったかもしれないんですけど
01:32:08	ここ、ここで-90から200のところですねこれ地震観測記録ではなく、ボーリング孔内に地震観測ありませんのこのたかって、
01:32:19	さっき言ったような
01:32:21	いわゆるわずかな、上下動のですね、ああいう検討を、もうできなかなかしづらいわけですよ。同じような等価地での検討というか同じ制度での検討っていうのは、
01:32:33	そういうものも含めての地震観測記録でなくていい意味なのか、これはあくまでその設定段階というのですかね。
01:32:41	冬だけの話なのか、ちょっとそこら辺は、どこまで含んでいるのかなというのを、
01:32:47	九州電力の明石でございます。もうお答えとしてはもうすべてをひっくるめてというふうに考えておりますので、
01:32:58	すべてをひっくるめてということで今はもうぱくっとした言い方にしておりますけども、まさに90メートル下は伝達関数でしか比較しようがなくて、
01:33:09	であるからこそ前のページまでに論じてはきているけども、こうこうこういう引っかけ引っかけというとおかしいですねこういう部分もあって、あったのでそういったことを踏まえて、
01:33:22	やっぱり差をつけましたということをもうちょっと具体的に列挙というか、並べたいと思います。結局は、冒頭おっしゃった通り、何か心意気で嫌とこうしますっていうふうにも今受け取られかねない。
01:33:35	形になってるかと思しますのでそこは、我々が検討する中でやっぱりこういう部分があったよね、だからこうするんだと、いうふうに、論理展開ができるようにちょっと記述を充実いたします。
01:33:47	以上でござい
01:33:51	はい。よろしく申し上げます。
01:33:54	あとはですね補足とか参考の、
01:34:00	ところ、これは場所を移したりブロックインバージョンの位置付けの書きぶりですかね、冒頭にその一層の説明性の向上をという形で、
01:34:09	書かれているんだと思いますけど、さっき、
01:34:13	あれ私あれかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:15	3小5って言ってしまったのかなもしかして参考4のことを言おうとしたのかもしれないとは違うか。
01:34:21	ちょっと参考4か参考か、ちょっとこのブロックバージョンの方のお話 もさっき言ったように、本編のどこと非どれどれの説明性を向上したい のかってというのは、
01:34:31	ちょっと本編側とひもづけるような形で、工夫、どうでしょうかとい う、
01:34:36	話でありそこは繰り返しになっちゃいますけど、
01:34:40	あとちょっとですね、評価の時の資料をもう少し、けがしながら、
01:34:47	改めてちょっと見てみたんですけど、
01:34:49	これ、これ別に今すぐ資料に反映してくれって意味じゃないですけど、
01:34:54	参考の9かな許可の地下構造モデルのところ、これ、地震調査委員会 の2007を引いてるじゃないですか。
01:35:04	これって、2000なんて中間報告でしたっけ、確か。
01:35:09	多分このしばらく後に2008年になって4月ぐらいだったら多分最終報 告というか、
01:35:16	2回、確かこの地震で出てるんですよ。
01:35:22	多分この報告書上だと、いわゆる、
01:35:27	解放基盤からもうちょっと深いところの近辺のものって、
01:35:33	都市深部構造になるのかな、確か浅部がもう解放基盤上のいわゆる表層 部の話で、地震調査委員会2007ですけど、
01:35:42	地震調査委員会2070だと多分深部構造みたいな多分部分の話だと思 うんですけど。
01:35:48	なんか、ホンチャンの2008の方で、多分部分的に、多分、地域なのか 観測地点なのか、多分場所ごとで見直しをかけてる。
01:35:58	濃い記載があるんですよ。
01:36:00	とはいえ、ちょうどたまたま玄海の発電所があるエリアって、2007と 2008、中間報告と最終報告で、
01:36:10	多分深部の構造をんのなんか差分を色でグラデーションつけてたと思 うんですけど、多分プラマイゼロというか、多分見直しが必要なかった範 囲のような、
01:36:21	ちょっとそこって、
01:36:24	何か再中間報告を持ってきて、最終報告では変わってないから中間報告 持ってきているのか、なんかそこら辺って結構古い話なんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:34	ちょっと今すぐはわからないかもしれないんですけど、わかったら教えてください。
01:36:40	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃる通りですねこれ福岡県西方沖地震の分析の話で、中間報告と最終報告って出てると思うんですけど、
01:36:51	ちょっとすいません確認しますが、
01:36:54	結局変わらなかったんだと思ってます。変わるところとしたら、K-NETとかKICネットの観測点があるところの地震記録を使って、震源の情報とかも多分リバイスカかかってたりとか、いろいろ
01:37:07	するのかもしれないんでそこら辺のチューニングで多分変わったんだろうなと思ってます。玄海の周辺、これ182ページになりますけど、この4地点の平均ということで、設定してますけど、このところについてはK-NET聞くネットの観測点もないので、
01:37:23	あまり影響してないんじゃないかな。それとあと離れたところでもありますので、もう変わらないんじゃないかってないと思いますけどちょっと確認させていただきたいと思います。
01:37:37	はい。お願いしますだから、これかな。対本で言うと多分深い地盤構造って多分呼び方の範囲だとは思うんですけどね。一応なんか中間報告だと、
01:37:48	結構、
01:37:49	ボーリング調査とか、物理探査を元に何か0次モデルを作って、
01:37:53	それをもとにしてただけど今回、そのリスクエリアによって見直しましたみたいな記載があったんで、
01:38:00	あれこれどっち
01:38:01	そこって、影響してくる話だったのか、そうじゃなかったのかなというのを、ちょっと古い話だったんで、
01:38:09	別に今この場でとか或いはここで資料に大きく反映してっていうものではないんですけど、
01:38:15	ちょっとその最終報告の方見てみると、どうも何か玄海のあの辺のエリアは、多分中間報告と最終報告のモデル。
01:38:24	その市深井一番構造については、結局多分同じだったというかほとんど変わらなかったというか、多分そういう、
01:38:31	結論なんじゃないかなというですね、ちょっとそんなふうになんか見てとれたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:38:37	ちょっとまた分かった時で結構なんで、教えてください。
01:38:41	はい。
01:38:42	すいませんちょっと脱線しましたけれども、
01:38:45	ちょっとそうすると少しやっぱりですね入口の概要というか、その設定根拠だっただけのところとか妥当性の
01:38:55	ところ、
01:38:56	或いは、その後上下のあの辺の話近辺の話とかですね。
01:39:00	少し見の資料の方は見直してもらう必要があるかなと思うんですけど、その他、すいません一通り担当の方で、後まで
01:39:13	聞きたいところは聞きましたけれども、ほかある方いれば、ページは戻っていただいて全然結構ですので、お願いします。
01:39:25	はい。規制庁佐口です。
01:39:27	やはり最終まとめのところですね。
01:39:32	98 ページで、もう 1 回確認なんですけど、先ほど少し確認がありましたけど、
01:39:42	この
01:39:44	2 ポツ目、丸々のポツですね、1 ポツ目の PS 検層モデルとの比較による確認の結果、
01:39:52	設定した地下構造モデルの理論伝達関数は PS 検層も理論データカード同等もしくは上回ることが妥当性を確認して、これって、
01:40:02	どれのことをおっしゃってます。先ほどの、
01:40:06	80、
01:40:08	8 ページでしたっけ。
01:40:11	これのことをおっしゃっているんです。
01:40:19	はい。九州電力の本村です。まとめのところに書いてある二つ目のポチですけど、これの根拠としては、おっしゃる通り 88 ページの伝達関数の図をもって、同等もしくは上回ると、
01:40:32	いうこと。
01:40:33	判断してます。
01:40:36	はい。規制庁瀬口です。で、ただしですよ。ただし、これは先ほどもご説明あった通り、境界値問題を含んでいるので、
01:40:49	一部、
01:40:50	上回っているところはあるんですけど、
01:40:55	ここは見ないでくださいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:40:58	そういう話なのか。
01:41:01	そもそもですね私以前の確認をしましたけど、当然境界値問題はあって、実際には、いや、本当にあるのかもしれないわけなんですよねこれは PS 検層のところまでとらえられてないだけで、
01:41:17	じゃあ、どうして、
01:41:20	確認をしたら一番、今あるデータでですね、確認すればいいのかっていうと、
01:41:25	結局、
01:41:27	90 ページ 91 ページの、結局そのコントラストなくして、要は 200 メーターよりマイナス 200 メーターより上でどうかという、
01:41:36	ことを確認をして、
01:41:38	見ればよくて、そうすると、いや、実はですね、91 ページとか 93 ページって、これ、いわゆるそのモデルとの比較がなくてですね
01:41:50	旧人 123 っていうので、あくまでもピークが解消されましたっていうだけの話で、
01:41:56	ちょっとそこは確認ができないので、一番私は、確認等をして、
01:42:02	妥当なのは 91 ページ、ここに、
01:42:07	実際の標準応答スペクトルモデルの
01:42:11	200 メーターより上ですね、200 メーターのコントラスト入れずに、
01:42:16	というものを比較していただいて、これがほぼ同等か上回るという確認ができれば、この最後の 98 ページの
01:42:26	2 ポツ目に書かれていることはいいかなと思うんですけど、今ちょっとやっぱり確認ができないかなと私は思ってるんですけど、それってすぐできそうですという方もできると思うんですけど。
01:42:39	え。
01:42:40	九州電力の本村です。91 ページに標準応答スペクトル用モデルの 200 メーターより上のところの伝達特性というところだと思うんですけど、計算としてはすぐできるようなもん。
01:42:52	ですので、ちょっと記載の方を検討したいと思います。
01:43:14	ちなみに、ごめんなさいもっとこれ、
01:43:17	規制庁佐口ですけども、とを前段階で確認を、
01:43:21	しておけばよかったかもしれないんですけど結局その観測記録と応答版の比較があるんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:43:29	これちょっと教えていただきたいのはその応答は 어떻게 やって算出されているかっていうのを、
01:43:37	教えていただきたいんですけど具体的に言うと、観測記録のどの部分を使って、もう全部を使ってやっているのか。
01:43:45	そうじゃないのか1部分のそのフェースとかPだけを使ってやってるのか。
01:43:49	ちょっとそこを教えてください。はい。九州電力の本村でございます。入力はその範囲使ってるかっていうところだと思いますけど、こちらについては取れた記録、全部だと。
01:44:02	と、全部で入力してるというところでございます。
01:44:08	はい。規制庁佐口ですわかりました状況わかりましたそうすると。
01:44:12	例えばですね、
01:44:15	同定とか、
01:44:17	ていうのは、
01:44:18	例えば40秒間とかそういう何かある程度条件があったと思うんですけど、
01:44:26	大体、地下構造モデルとしたらこれぐらいですと言って、1次元の計算をするときに、
01:44:33	そこは、例えばS波部分だけとかP波部分だけとかある程度絞ってやらないと、要はですね。
01:44:41	変な余計なものが結局入っていて、
01:44:45	何かそういうので、
01:44:47	ちょっと実際は、本当は計算して例えばSRの増幅だけを見たいんですけど、合うんですけど、いやぴったりと言うかどうかわからないんですけど、合うんですけど、
01:45:00	そうじゃなくて、とにかく全部、全部をこう計算として、1次元で上げているので、
01:45:06	だから結局観測記録と合わないんですみたいな、そんな影響みたいなことってあったりしないんですかね。
01:45:16	はい九州電力の本村でございます。今、現時点では全継続時間でやるところで今ご指摘あったSRに絞ったらとかP社に絞ったらっていう検討結果がちょっと今手元にない状況の、
01:45:30	なんですけど、おっしゃる通り全継続時間でやっちゃいますと、後続の波とかですね、いろんなものが入ると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:45:38	いう認識は持ってますので、とは言いながらちょっと今、結果がございませんので何とも言えないんですけど、そういう厳密な検討というのが、
01:45:48	必要だったのかもしれないというところは、我々も認識してございます。
01:45:55	はい。規制庁佐口ですので何ていうんすかね地下構造モデルの善し悪しというよりも何かそういった、
01:46:03	ひょっとしたらか開析度。
01:46:06	条件というのか、解析的なものが、
01:46:10	あって、実は合っていない部分もあるかもという、可能性としてですね。そういう、今一応理解はしました。なので
01:46:21	これだけ合っていないで、結局地下構造モデルが悪いということも言えないという理解なんですけどそういう理解でよろしいですか。
01:46:31	はい。九州電力の本村でございます。そういうご理解で、言うと思っておりますはい。
01:46:52	すいません。谷津。また、ちょっと細かいところなんですけど 96 ページのところで、一応米印で、最終的な
01:47:00	仮設定したと言っているのか地下構造モデル、すべて 12.5 ですということ -200 まで 16.7 にしたもので、米印で一応見通しとして
01:47:12	理由が 20 ガルですかね。
01:47:16	増大すると想定ということを書いておれば、当然今までの段階ではそれしか示しようがないものなんですけど、
01:47:23	これは中継も自身は作って地震動評価をして、
01:47:27	当然何が成果というところで 16.7 の方の結果が当然性なわけですよね地震動評価としては。
01:47:33	五つ参考でこの 12.5 のままだもやってみて、あくまで参考ですけど、
01:47:39	一応そうやって誘導を見込んで設定したものっていうところで、
01:47:44	効果というか、
01:47:46	というのはこれはだから実技の地震動評価の断面で、参考で確認させてもらえると。
01:47:53	そういう意味での※でとらえて大丈夫ですかね。
01:47:56	はい。九州電力の本村でございます。次回の模擬地震は、次回というか模擬地震審査の中でですね我々も参考として示すことを考えてますちょっと明記はしてませんが、そういうことを考えてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:13	はい、わかりました。次への約束を書く資料でも何でもないので。はい。宗石井であるということはわかりました。はい。
01:48:23	他、いかがでしょうか。
01:48:27	こちらは大丈夫ですか。大丈夫ですか。
01:48:35	すみません、途中で所々やりとりとか通信途絶えてしまいますけど、リモートで参加してる田島さん、特にちょっと今回新しく何かそのエビデンスというか解析結果出てきたわけでも、
01:48:48	はないんでほぼ説明ぶりとかロジック話のやりとりになっちゃいましたけど、
01:48:53	何かありますでしょうか。
01:49:00	規制庁田嶋です。特にございません。
01:49:06	はい、ありがとうございます。そうです。
01:49:11	はい。規制庁作成ちょっと細かいところ、何点か、3点ぐらいかなと言っても結構
01:49:18	重要な部分ですので、
01:49:22	あくまでもこれは資料の構成町だけの話かもしれないんですけど 3.1、照明の 18 ページ、19 ページ 20 ページなんですけど、
01:49:32	これ、結果は 19 ページ、20 ページで出されているんですけど、肝心のですね、同定した。
01:49:39	結果自体がなくてですね。
01:49:42	土地加工。
01:49:43	推定した地下構造とあとそういう推定した Q 値は載ってますけど、そもそもその同定結果である。
01:49:51	ものがないんですけど、これって、多分今まではあったと思うんですけどこれ、
01:49:57	ちょっと確認できないんで、確認をさせてください。
01:50:02	はい。九州電力の本村です。おっしゃる通りですね、Q 値と加速度の結果はありますけど同定結果っていうのはございませんので、確か以前は出してたと思うのでそこら辺ちょっと追加するような形で考えたいと思います。
01:50:17	はい。規制庁佐口です。よろしくお願いしますあとすごく細かいことで恐縮なんですけど今、開いていると、20 ページで、
01:50:25	これ文言だけの話です。
01:50:28	上の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:29	ところの一番最後に書かれている規格の地下構造モデルの元地盤減衰を大きく下回ることを確認。
01:50:37	ってあるんですけど、これって、Q 値は下回るんですけど地盤減衰って上回るんじゃないでしょうか。
01:50:46	はい。九州電力の本村でございますおっしゃる通りですね Q 値は大きく下回るんで一方減衰は上回るだと思うので、ちょっと記載は考えたいと思いますはい。
01:51:00	はい、規制庁昨日です。
01:51:03	あとちょっと細かいところで書くんですけど、これもやっぱりちょっと重要なので、65 ページなんですけど、
01:51:15	結構これも今回の根拠になりますので確認なんですけど、
01:51:19	今ここに出されている。
01:51:22	Q 値なんですけど、65 ページですね。
01:51:27	65 ページですね。
01:51:30	これは、まずこの木内自体がどういうものか。
01:51:35	ていう、例えばこの卓越周波数って書かれてますけど、この卓越周波数における Q 値なのか、それとも、
01:51:44	あるともあるその刺繍期待。
01:51:48	窓、どっからかどっかはわからんですけどその平均的な Q 値、
01:51:53	7 日であと当然その、
01:51:56	深さ方向って、
01:52:00	一定のような一定じゃないような、ちょっと掘り曲がったり何か、
01:52:06	して、求人さんなんていうのは、2 ヶ所に分かれてるんですけど、深さ方向については例えばどういう分布をしているとか、何かそういう
01:52:17	何て言うんですかね、深さ方向だったりあと周波数。
01:52:22	どういう分布をしてるかみたいなものっていうのはあるんでしょうか。
01:52:30	はい。九州電力の本村でございます。まずこの Q 値が、どの周波数なのか、この卓越周波数なのか、周波数体なのかというところなんですけど、この 90 についてはこの卓越周波数。
01:52:43	に対する Q 値を求めているということでございます。あと深さ方向については、90 万休日については 1 層になってますけど 9G3 は正断層がついてると。
01:52:54	いうところですけども、これ、この Q 値の求め方としては、速度層に応じて求めているっていうところがありますので、速度の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:04	段差とかある場合は 9G3 というようなところで、似たような区間で、Q 値を求めるっていうやり方をしているところでございます。
01:53:14	はい、規制庁さん右折を変えましたんで、ちなみになんですけど、多分、
01:53:19	手法じゃないんですけど、何か方法として例えばこの文献とかに示されているようなものだと。
01:53:26	最大振幅法とか、
01:53:28	振幅スペクトル法みたいなのがあってこれどちらを使われているか。
01:53:33	ちょっと、
01:53:34	わかる、わかれば教えてください。
01:53:43	ちょっとすみません 2 種類しかないんですけど、
01:53:47	最在振幅法だったと、ちょっと理解してるんですけど、ちょっと確認させていただきたいと思います本店側で何かありませんかね。わかんないですかね。聞こえてますか。
01:54:03	九州電力の野村です。ちょっと確認して、後程タイミングがあった時に回答させていただきます。
01:54:11	はい。規制庁佐口ですねよろしくお願いします。
01:54:26	はい。
01:54:29	ページは、
01:54:32	九州電力の野村です。それは先ほどの件ですけど最大振幅法で間違いありません。
01:54:41	はい。規制庁佐口ですわかりましたありがとうございます。
01:54:46	はい。
01:54:52	はい規制庁佐口です。ごめんなさい。やっぱり私もちょっと根拠になるので、少し確認を、細かいんですけどさしていただきたいんですけど。
01:55:02	31 ページだと、
01:55:05	これ、いわゆるバイリニア型、
01:55:08	の同定なんですけど、この場合は、同定方法の中にパラメータじゃないんですけどこの入射角って入ってるんですけども、
01:55:16	他の
01:55:19	周波数依存型だったり、
01:55:22	あと、
01:55:25	地震干渉法ですねこれ入射角と違ってどうされてます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:31	はい。九州電力の本村でございます。バイリニア型については入射角を考慮しては、鉛直下方の入力ということで、入射角は考慮してないと。
01:55:44	ということでございます。
01:55:48	はい。規制庁佐口です。そうすると、ひょっとするとこれ、場合によっては三つ並べて、
01:55:55	何ページでしたっけ 40、40、
01:56:01	41 ページ、42 ページ。
01:56:04	辺りに進んでいますけれども、
01:56:07	結局その入射角とかを考えると、
01:56:11	どれが 41 ページか。
01:56:14	います。数字だけで、
01:56:18	書かれていますけど、そういう入射角なんかを考えると、ひょっとしたら若干こう、なんていうんすかね。
01:56:26	全くこの数字だけをニュートラルに本当に比較していいものかどうかという。
01:56:33	若干
01:56:35	いや、こちらの方が保守的に出ていますとかそういうのもあるかもしれないんですけどそのあたりで等お考えでしょうか。
01:56:43	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃることは理解してル—しましたけども、バイリニア型の分、
01:56:53	法廷ではですね 3 地震をピックアップして、それぞれ入射角を振ったりとか、減衰振ったりとかして、一つのモデルを持ち、求めていると。
01:57:03	いうところになりまして、そういうタイプの同定をやっていると。一方伝達関数の周波数依存については、20 地震の平均の
01:57:14	伝達関数を用いて、それに対して鉛直下方で合わせにいつてるところで、個別個別の地震で、3 地震のバイリニアって言いましたけども、ああいうものでやると。
01:57:26	今日はですね、入射角とかっていうパラメータが何か有効率、
01:57:31	検討できるかなとは思いますがなかなか 20、20 人じゃないですね、19 地震を平均してるってところで、なかなかこういうやり方だと、なかなか入射角っていうのは、
01:57:43	考慮するのが難しいかなっていうちょっとふうには思っています。入射角を考慮したら、どっちが保守的だとか保守的がないとか、ちょっとそこ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ら辺のところ、はっきりと答えがあるかというところちょっとないんですけども。
01:57:58	状況としてはちょっとそういう解析の手法がちょっと違ったりとかで、というところでございます。
01:58:11	はい。規制庁佐口です。一応考え方はわかりましたけど多分入射角を考えると、
01:58:17	今の鉛直入射に比べれば、理論の伝達関数っていうのは小さくなるので、
01:58:24	なるはずでは、はずなので、そうするとフィッティングを考えると、ひょっとすると、今のこのQ値っていうのは、本当はもうちょっと高く出てくるかもしれないんですけどそこが、
01:58:35	入射角も多分正確じゃないって、何とも言えないんですけど、いずれにしても考え方は理解をしました。
01:58:54	はい。規制庁鈴木です。
01:58:57	笠間。
01:58:58	申し訳ないす 43 ページ。
01:59:00	これ、
01:59:02	小項目としては地盤減衰の設定妥当性確認の項目なんですけど、この秘密 N ポツのなお書きの最後がですね。
01:59:10	ここだけ地下構造モデルの妥当性、
01:59:14	ていう書き方になっていて、
01:59:16	ここはまだ Q 値の設定。
01:59:18	という、多分厳密な章立てでいくとですよ。
01:59:21	どういう御説明なんじゃないかなと思ったんで、こういうようなところもですね、
01:59:26	どの断面に良いのかっていうのは、単なる語尾の話で、中身としては理解、もちろん理解するんですけども、
01:59:33	ここは直した方がいいかなと思います。
01:59:35	九州電力の本村でございますおっしゃる通りここは、最深部地震計以浅の地盤減衰の話なので、地下構造モデルではなくて、減衰の話だと、なのでちょっと記載が、
01:59:48	まずかったと思いますんで、適正化したいと思います。
01:59:52	はい。広い意味では地下構造なんですけど、ちょっと上行表現というか章立てで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:59:57	御社分けられてるんで、ちょっとそれに合うようにしたらどうかと。
02:00:01	です。
02:00:02	さてどうですかね。
02:00:06	少し途中で中断が入ったんか中断が通常の中心の都合で中断入っちゃったんで、
02:00:12	一応もし一旦これだからよろしければですね、もし追加で何かあればこの後でも結構なんですけど、ちょっと仙台の方もですね、一応 17 日で資料をいただいていますので、
02:00:25	そんなに分厚いものではないんですけども、ちょっとこちらの方も説明を聞きます。
02:00:32	資料お願いします。
02:01:16	はい。仙台の方につきまして TTS024 を用いまして地下構造モデルの設定に関するコメント回答方針ということで、ご説明させていただきます。1、1 ページ目に目次を
02:01:29	記載しておりますけども、この流れですってねちょっと説明させていただきたいと思います。
02:01:35	2 ページ目からは、
02:01:37	が、コメントリスト及び今後の審査スケジュールになります。
02:01:41	3 ページ目、4 ページ目がコメントリストになりますけども、4 ページ目の一番下に、2 月 10 日の第 1113 回の審査会合のコメントを記載しております。
02:01:54	川内の地下構造モデルの設定について、抜本的な改善を含めて現実的な方法で見直しを検討し、地下構造モデルの設定方針を速やかに説明することと。
02:02:05	ということで、今回、方針の説明、
02:02:10	今回説明というところで、設定及び妥当性の確認については次回以降説明するということを記載しております。
02:02:19	5 ページが今後のスケジュールになります。
02:02:22	地盤減衰のところ、4 月 11 日に設定方針に関する資料を提出させていただきましたして本日ご説明、5 月、ゴールデンウィーク明けに方針に関する審査会合、
02:02:35	それと設定及び妥当性確認の資料については、5 月末に資料提出、6 月上旬に審査会合、その後もう 1 回審査会合を想定しているところでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:02:48	その後、模擬地震は基準地震動についての資料提出を7月中旬、審査会合7月末という流れを考えております。
02:02:58	Ssが確定した後、地盤の安定性解析に入りまして、特重及び特重以外をまとめて10月頭に資料提出、10月末に審査会合、
02:03:10	その後、11月に入って補正というスケジュールを考えているところでございます。
02:03:17	続いて、6ページ以降が、地下構造モデルの見直し方針というところで、7ページにいきまして、7ページの冒頭、第1113回審査会合のご指摘というところで、
02:03:33	観測事実との整合性が確認できないことから、最深部地震計線の地下構造モデルの妥当性が確認できない。
02:03:41	仙台の地下構造モデルについて抜本的な改善を含めて現実的な方法で見直しを検討し、地下構造モデルの設定方針を速やかに説明すること。
02:03:52	で、例えばと記載してありますが、既許可申請の、地下構造モデルをそのまま用いた場合に、観測記録との整合性を確認でき、確保できるかどうかを確認した上で、
02:04:05	地震計が設置されている浅部の物性値減衰特性、必要に応じて速度構造を合わせ込むといったことも考えられると、というようなご指摘をいただいております。おります。
02:04:15	これを踏まえまして、まず、観測記録との不整合の要因分析について点線部分で、ステップ1からステップ3まで、
02:04:25	検討をしているところでございます。
02:04:27	まず、ステップ1につきましては、既許可申請の地下構造モデルと、観測記録は整合するのかというところで、具体的には8ページになります。
02:04:38	8ページに、鹿児島県北西部地震、③の地震ですけれども、1997年3月の本震の応答スペクトルを示してございます。
02:04:49	上段がですね現申請のモデルで下の方が評価のモデルになります。こちら、対比して見ていただくと、まずは現申請モデルについては一部の周期体、水平で0.1秒から0.2秒で観測記録と整合しないと。
02:05:05	で、中間モデルにおきましても、同じ周期体、青8つけてありますが、0.1秒から0.2秒観測記録との整合性が確保できないと。
02:05:16	というような状況になってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:05:19	続いてステップになりますけども、現申請モデル、幾何モデルと観測記録はなぜ整合しないのかという観点で、9 ページに具体的に示しております。
02:05:32	先ほどと同じ鹿児島県北西部地震の本震ですね、を対象に、現申請モデルと基礎評価モデルを上と下に並べていると。こちらを見ますと、現申請モデル、既評価モデルともにですね、
02:05:46	ピークは 0.3 秒から 0.4 秒付近にあると。
02:05:50	いうところで赤線を見ていただくとわかりますけど、0.3 から 0.4 ところに存在していると。これに対して黒線の観測記録は、ピークが 0.1 から 0.2 秒付近にあると。
02:06:02	いうところで、モデルのピークと観測記録のピークがずれていると。
02:06:07	いうようなところになります。で、このモデルのピーク、赤線で、ピーク、河川のピークを、左側、要は短周期側にシフトさせることによって観測記録と、
02:06:19	の整合が改善するんじゃないかというようなことを考えてると。
02:06:25	いうところでございます。で、ステップ3につきましては、観測記録と整合させるために、短周期側に寄せるっていうモデルには、どういう、どういうふうに見直すのかと。
02:06:36	いうところになります、これにつきましては、10 ページになります。
02:06:42	先ほど申しました通り、ステップ2を踏まえましてピークを短周期側にシフトさせるためには、地震計設置範囲の速度を、地盤の速度を速くすることが必要だと。
02:06:53	いうところで、まず、2号の炉心位置周辺におけるPS検層結果、これ建設時の地質調査結果になりますけども、これを見ますと、左の枠で囲んでますけど五つのボーリングありますけど、
02:07:08	その平均速度としてせん断波速度は、2150 というのが、獲られております。
02:07:16	で、次のページ、今度はですねPS検層結果に基づく速度層断面になりますけども、こちらの断面図を、11 ページから 13 ページ、載せてございますけども、この炉心位置周辺のせん断波速度は、
02:07:33	どのくらいかと。
02:07:35	いうところにつきましては、表も、赤枠で囲んでますけども、ちょうど⑤速度層にありますので、2050 というようなせん断波速度が示されていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:07:46	で、これを踏まえまして、
02:07:50	14 ページになります。
02:07:55	観測記録に整合させる観点からと書いてますけど赤線のピークを短周期に寄せるというところで、ここでは、炉心位置周辺における PS 検層結果、建設時の地質調査結果を踏まえ、EL-28.5 からマイナス 200 メートルにつきまして、
02:08:14	AVS2150 と設定しております。
02:08:18	で、敷地で実質実施した微動アレイ探査申請書や、甲斐以前の再稼働の時の会合でも示してありますけども、
02:08:28	それ、微動アレイ探査により推定された $V_s$ については、地表から深くなるにつれて大きくなる傾向が見られると、いうことから、EL-200 メーター以深については、
02:08:43	EL-200 メーターから-480 メーターを、先ほどの $V_s2150$ という値を設定すると。
02:08:51	括弧内で書いてありますけども、EL-200 メーターから-480 メーターを現申請モデルと同じ速度、左の方の表に書いてありますけど、これが 1600 とした場合に比べて、
02:09:06	短周期側で保守的になることを確認もしてまして、こちらについては次回以降ご説明しますけども、そういうところもありまして、EL-200 メーターから EL-480 メーターを $V_s2150$ と。
02:09:20	設定すると。
02:09:22	いうことにしています。
02:09:24	一方、 $V_p$ につきましては、先ほどの炉心位置周辺の PS 検層結果、それとあと、速度層断面では、それぞれ $V_p$ が 4250 と。
02:09:35	4330 という値があるんですけども、同じ $V_s2150$ の範囲は同じ $V_p$ の値とするために、
02:09:46	上下動、上下層の速度を参照しながら、EL-28.5 から EL-480 までの範囲の $V_p$ は、
02:09:57	4400 と設定することとしています。
02:10:01	で、 $Q$ 値につきましては、地下構造モデルを用いない方、地震は干渉法を用いた同定結果、それとあと追加ボーリングでの、
02:10:11	確認結果を踏まえまして、現申請モデルと同等の 12.5 と設定すると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:10:18	ということでございます。このモデルですね、右側に見直しモデルと書いてますけど、こちらのモデルで、応答スペクトルを見たらどうかというところが、次のページの 15 ページになります。
02:10:31	同じように鹿児島県北西部地震の観測記録を用いてやってますけども、上が現申請モデル、それと、
02:10:39	先ほど表で示した見直しモデルというのを下に示しているところです。
02:10:45	こちらを見ますと、赤線の短周期が見直しモデルでは、
02:10:50	ピークが短周期側にシフトしまして、観測記録との整合性が改善されると。
02:10:56	いう状況になってます。
02:11:00	ここについては応答スペクトルでしたけども、伝達関数で見るとどうかというところが、次の 16 ページになります。
02:11:08	で、上の方が現申請モデル、下の方から見直しモデルになりますけども、それぞれ N-S 選ぶ上下並べてます。ここでは、EL-58.5 と A-118.5 の伝達関数を示してます。
02:11:23	で、先ほどの 0.1 秒から 0.2 秒、すなわち、周波数でいうと 5Hz から GIF 率のところ、
02:11:33	上の現申請モデルについては、青センター河川の差が大きかったのに対して、見直しモデルでは、赤線と青線が大分近づいて、
02:11:44	改善されてるというところがあるかと思えます。
02:11:51	17 ページ以降が、今後の検討事項というところを示してございます。
02:11:58	18 ページ。
02:11:59	お願いします。
02:12:01	こちらについては地下構造モデルの検討設定及び妥当性確認の流れというところで、ちょっと先ほどの限界の議論もありましたのでちょっと整理は必要かもしれませんけども、
02:12:13	一応我々としては、今回見直した地下構造モデル、速度構造を見直しますので、それで改めて Q 値を同定すると。
02:12:25	というようなところで再度地下構造モデルとしての妥当性を確認していくということを考えてます。
02:12:31	あと基本モデルの速度構造との差異等ですね、中間モデルは微動アレイに基づいてやってますのでその速度構造とどうかとか、
02:12:42	あと、ボーリング孔内減衰測定結果を踏まえた PS 検層モデルの
02:12:47	等に関する考察を実施することを考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:52	メニューとしては、
02:12:56	妥当性確認メニューとしては、ボーリング孔内の減衰測定結果だとか、あと岩石項の減衰測定結果、上と下を見るというところもありますし、右下も地下構造モデルのところ、
02:13:12	は応答スペクトルによる確認それとあと PS 検層モデルの
02:13:17	伝達関数での比較から妥当性を確認するというところなんですけども、ちょっとこの
02:13:25	ボーリング孔内の減衰測定それと岩石コアのところの話、それと一番最後の PS 敬三モデルのところに米印を振ってございます。
02:13:36	米印、下の方書いてますけども妥当性確認の区間については、次ページの通りと。
02:13:42	記載しておりますけども、
02:13:46	ちょっとそこら辺、地震観測記録がとれてる地震計のところの設置速度の状況と、あとボーリング孔内の Q 値を測ったボーリング法の
02:13:58	速度の状況、それとあと、
02:14:04	コアを抜いたところの速度の状況とか、そういうのもありますので全区間で比較するというよりは、もうちょっと、後程ちょっとご説明しますけども、区間を決めて、比較することが必要じゃないかと考えているところなんです。
02:14:19	具体的に申しますと、19 ページになりますけども、妥当性確認の区間についてと、
02:14:28	いうところで、まず追加ボーリング A の PS 検層結果、下の方に図を再掲してありますが、旧エスワンから計算。
02:14:38	については、
02:14:41	下の Vs と Vp を見ていただくとわかりますけども、EL-60 メーター付近で、速度構造のコンプライアンスとが見られると。
02:14:51	で、この PS 検層における速度構造のコントラストについては、20 ページ 21 ページを見ていただくとわかるんですけども、速度層断面に、
02:15:01	旧エスワンから計算の図になりますけども、それを記載しておりますけども、
02:15:07	この 9 エスワンから計算のこの速度コントラストのところについては、速度層断面における、⑤速度層と、
02:15:17	③④速度層との境界によるものと考えられます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:15:23	一方ですね、解放基盤表面以深の地震計設置位置については、20 ページで示しておりますけども、丸印、こちらも東映になりますけど、丸印で4点、示しておりますけども、
02:15:37	これを見ますと、地震計位置については、概ね⑤速度層に分類されると。
02:15:43	ということが、
02:15:45	わかります。以上を踏まえまして、あの地震計、地震観測記録で、Q 値を設定して、そのあと妥当性確認と、
02:15:56	ということになりますけども、その妥当性を確認する区間については、地震計が設置されている⑤速度層、
02:16:04	を対象に、先ほど言いました、最新の地震計新の地盤減衰、それと、地下構造モデルの妥当性確認を実施することとさせていただきます。
02:16:17	本編は以上でございまして、参考①として、既許可モデルによる確認ということで、先ほどサンプルとして③の鹿児島県北西部地震について、
02:16:31	お示ししましたけども、こちら 20 地震を対象に、現申請モデルと既評価モデルの応答スペクトルの比較を上と下でやってる。
02:16:43	ものになります。これが
02:16:48	かなり 20 地震分ありまして、41 ページまで続くと。
02:16:53	で、42 ページに、参考②と、見直しモデルによる確認ということで、これも先ほどは③の地震をサンプルとして示しておりましたけども 20 地震分。
02:17:08	現申請モデルと見直しモデル並べたものになります。
02:17:13	川内についてのご説明は以上でございます。
02:17:19	はい。
02:17:20	説明ありがとうございます。
02:17:25	どこから行きましょうかね。
02:17:30	阿保大木仮な方針段階なんで、
02:17:35	ちょっと先に提示がページなんでスケジュール見ましょうか。
02:17:43	これ、
02:17:45	前回のやつ何時かな。
02:17:46	ただ、前回の会合でその結果を踏まえて、今後と川内をどうするかっていうのは、少し考えますと言って、アップアップのメディアの時に持ち帰ってたかと思うんですけど、
02:17:58	現時点が今あれですね 4 月の。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:18:02	基準のところの白抜三角で、
02:18:06	資料提出予定ってのが、一応 4 月 17 で出てきていて、
02:18:10	今説明を聞いているわけですけども、
02:18:13	この方針の後、2、
02:18:16	何か 2 回ものすごい短いスパンで、資料会合資料会合ってこれ 2 回出てきてるんですけど、
02:18:24	これ
02:18:26	5 月の終わりに資料を出して 6 月の頭に会合があって 6 月の終わりに資料ございまして 7 月の泊会合ってこっちが構造モデルの、
02:18:34	更新後に 2 回この短いタイムスパンで、
02:18:38	2 回に分けて会合をやるっていうふうになってんですけど、これはどういう説明を想定してんですかそれ。
02:18:51	九州電力の明石でございます。
02:18:55	こちらの内容としては、2 回に分けて説明をしますというものではなくって、今回方針の資料をお渡しさせていただいてますけども、
02:19:06	この方針に従った全体を、資料を作成して 5 月の末に提出をさせていただく。それが一発でわかりましたって。
02:19:17	メインな言い方ですけどなるもんじゃないだろうと、やっぱり 5 議案会合での議論、少なくとも 2 回ぐらいいるんじゃないかと。これぐらいの短いスパンでやれるのかでは当然、
02:19:28	あると思いますけども、できるだけ足早くやっていきたいけどもやっぱり 2 回ぐらいは議論、会合での議論は必要ではないかということで、この 2 回を置いているというものでございます。
02:19:41	当然ちょっとこれ短すぎるだろうっていうのはあるとは思いますが、
02:19:45	以上でございます。
02:19:48	うん。何かまでのその対応ということも踏まえると、
02:19:54	この短いスパンでってな方針から、
02:19:56	次の、
02:19:58	全体もですけど、前回は 2 月 10 日にある程度方針がと言っても、もちろん品証の話はあったんですけど、
02:20:06	2 月 10 日に方針方向性はいいよね。これで全体をとって、
02:20:13	品証があったといえば割と時間かかっているわけですよ。
02:20:17	ちょっと今この資料で、更新の議論ができるかはさておき、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:20:22	その方針を議論して方向性はわかりましたねと。
02:20:26	じゃあといった時にこのものすごい短期間ですぐ、
02:20:31	何か資料がばっと出てきて、議論をして、もしそこで議論して、1回では、
02:20:37	じゃあ、直しても、1週間ぐらいですぐ次の資料が出てきてって、
02:20:41	本短期間でコロコロ出てくるものかというか、須永生煮えなものが出てきそうな気がしてならんのですけど。
02:20:50	現在こういうやり方やってないですよねこんなに会も短期間でっていう、ちょっとここはんでないなと思ったんですけどわかりましたじゃあ、これ何か分けて説明したいわけじゃなくて、
02:21:00	2回ぐらいになろうと思います。
02:21:04	やはり言ってしまえば、御社としては1回ですねしっかりとしたものが出て、それで説明ができるんなら、この地震動に行くパスは、6月の中旬の
02:21:16	星印から、
02:21:17	地震動の方に行く。
02:21:20	全体として1ヶ月分、
02:21:22	前になる可能性もあるというそういう前提のスケジュール組みってことですかね。
02:21:30	だって2回、2回になろうと思っているだけで、もしかしたらコメントが出て2回になるかもしれないということだとすると、当然出す側としては、しっかりとものを1回目に出してくつもりなわけですよ。
02:21:42	だとすると、こっちが構造が、5月の終わりに資料出して、6月の中旬に、
02:21:48	地下構造モデルの妥当性の説明が、
02:21:51	できると思って出してくるわけですね一旦だけでもう1回になるかもしれないから、保険でもう1ヶ月の
02:21:57	もう1回分書いてますっていうだとすると、
02:22:00	いや、当然ながら、5月の末に出してくる資料は、当然、
02:22:06	十分な検討したものが出てくる。
02:22:08	出すわけですよ。とりあえず的にかけてみて、要するに会合をかけますじゃないわけですから、そうすると、地震動も1ヶ月早くなるとかっていう、
02:22:18	そういう見込みでこれは作られて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:22:23	まだ2回かかるかもしれない。だけど1回でできればこれより当然1ヶ月早く工程構えをしできるっていうそういうつもりでこれ組んでます。
02:22:33	九州電力の明石でございます。当然、我々は我々は5月の戦力出しできるものこれはもうきっちりご説明できるものをお出しするつもりでございますので、
02:22:47	希望的観測といいますかそれでいい。いや1回の会合でわかったという話になる可能性も当然あるだろうと思います。その場合は、後の工程がずっと前にずれる。
02:22:57	ことにはなるとは思いますが、何で2回とってるかという我々としてはきちっとした資料が作るものやっぱり、
02:23:04	今日方針立てとしてざっとご説明いたしましたけど結局地下構造モデルを抜本的に速度も踏まえて見直す。で、今後の検討事項というところでさらっとは言ってますけども結局評価のモデルとやっぱり違うわけで、
02:23:19	そこが何で違うのどうでどうして違うのそれでいいのって、当然、ご議論があるところだとは思ってます。それも含めてきっちりご説明はいたします。しかし、それを1回でいけるとは思ってますというのは余りにもちょっと、
02:23:33	すごく良すぎかなというやっぱり2回ぐらいの議論が必要ではないかということで2回置いたというものでございます。
02:23:43	規制庁の名倉です。
02:23:46	こういうて出されると、
02:23:49	ひどいことになりますよ、会合で。
02:23:53	正直言ってしまうと、
02:23:56	2回になったら、多分再計算が必要になる。
02:23:59	こんな甘いスケジュールでも対応できない。1回で終わらせるつもりで、
02:24:05	出すんで1回の予定出さないと。
02:24:08	こういう何か祈って出すんだったら、それはもう、
02:24:11	おそらく、解析的な検討とかが追加で必要になるから、
02:24:18	これ倍かかりますよ。
02:24:20	改正期間も含めると、だから1回でクリアするつもりで出してこないんだったら、それはもう絵にかいたもちですよね。
02:24:29	そこら辺がまだ甘いですねっていうふうなことでなるんだろうと思います。介護情報。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:24:36	そういう言い方になると思います。
02:24:41	はい。九州電力の明石でございます承知いたしました。
02:24:44	何かそういう甘いイメージつもりで2回置いてるわけじゃありませんけども我々もちろん1回でご説明し切る、
02:24:55	貼る腹つもりというか、もう準備を整えて、提出いたしますのでちょっとこのスケジュールの中妙にこう引いた感じの書き方であったり我々の考えは、ちょっと
02:25:07	訂正いたします。
02:25:10	ちょっと今、今回、許容できなかったのはなぜかっていうと、
02:25:17	これ、説明の時に説明してました。
02:25:21	今日、
02:25:22	この2回あることに対して、説明をこちらから質問されてこれ室、説明してません。
02:25:46	はい。
02:25:48	はい。九州の米村明石でございますおっしゃる通りこれちょっと先ほどのご説明の中で、何でそういうふうにしたのかというのはご説明しておりませんでした。申し訳ございません。
02:25:59	はい。
02:26:01	はい。
02:26:03	なんでちょっとここの短いスパンで、会合で議論して、この、この短時間で作り直せるレベルの議論をするんだったら、
02:26:12	コメントするレベルの会話だったら多分それやる意味がないから5になるので、
02:26:16	あと、清岡地震動への影響のところも細かいんですけど、これ限界とか前のやつだと、多分地震動評価のところと紐づけて、
02:26:27	個別に地下構造を、
02:26:29	決めるというところが最優先のときに、その作業に集中しなきゃいけないときに何か許可地震動への影響って、
02:26:37	このこのタイミングで動かさずにですね。
02:26:40	何か準備ってそんなて余ってましたっけっていうのもあったんで、
02:26:45	何か直し忘れですかねわかんないです。
02:26:50	いやここは御社の中で、どういう体制でどういう作業をするかなんで、別に影響がないなら別にこのタイミングで説明していただいても結構ですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:28:56	があったかなと今ちょっと反省しておりますここはもう我々としてきちり1回でご説明をし尽くすんですということがわかるように、
02:29:06	資料資料というかスケジュールを整え直してそのスケジュールの考え方をきちりご説明するようにいたします。
02:29:15	なお一番上の既許可の地震動評価への影響についての検討のところここは、おっしゃる通りその点があるのかというところもありますけどもここ実は、
02:29:25	玄海伊井の方も含めて、一緒に作業ができるところもあって、こういうすぎるりになってるところはありますが、そこもちょっとちゃんとそれができるのか、
02:29:37	ということをもう一度確認した上で、当社としてこれできちりできますということが御説明できる形にして、改めて提示をいたします。
02:29:47	以上でございます。
02:29:50	はい。あとですね、
02:29:53	これ前回かな、前回のラップアップ時点のものとかも含めて見てるんですけど、
02:29:59	これ最後結局案2番で解析のところがどんだんどんだん工期が短くなってですね吸収されていっていて、
02:30:07	この解析、
02:30:11	一応CEOの場でも、一応委託先、請負先からも含めて体制を確保して、
02:30:18	と言いつつ、当然栗崎で作業をして請負先でチェックしたものを、もう出てきましたはいすぐ会合で規制庁見てくださいっていうわけじゃないですよ。答弁社内での、
02:30:29	品質チェックもあるでしょうけど、
02:30:31	そういうのを考えてこれ今2ヶ月解析をする解析資料作成にヶ月で、そこから説明して会合まで、これは標準ちょっと短いけど、
02:30:43	1ヶ月と。
02:30:45	さらにそこから何かもうすぐ補正申請が来静は全部ひっくるめてですよ。ね。
02:30:51	補正申請がっていうと、何か全体をまとめるような時期もないし、補正はいつ一応11月、10月だったものがちょっと11月にずれてとっていて、
02:31:02	結構後に細部の設定、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:31:04	ぎゅっと圧縮してるんですけど、
02:31:07	この辺のところって特に、
02:31:09	その補正申請同時に前もって準備しておくんですということかもしれないんですけど、この安定解析とか品質チェックとかですね、結構の方、工数があるんですってずっと説明してたものが、
02:31:22	いやいや、3分の1でも全然できるんですって。
02:31:26	本当にそんなもんなのかなと思うんですけど、ここはちゃんと考えられた工程なんですかね。
02:31:39	はい。九州電力の今林です。この地盤の安定性、安定性評価の解析のスケジュールですけども、ここは委託先の体制を強化するということ、を、ちょっと以前から、
02:31:52	お話をさせていただいておりましたけども、そこの体制を強化する、もう、それと言いますと増員するっていうことで、
02:32:04	班構成を、当初考えたものから倍増させるっていうところことで実施するようにいたしました。
02:32:11	で、委託先は、社内委託先の社内、協力者さん含めまして、
02:32:21	甲斐関井ができる方というのを、昆、この分、解析評価の方にも集めまして、総力を挙げてやるということで体制を組みました結果、
02:32:34	実質的に、2ヶ月の間でやること、その解析のチェックでありまして当社のチェックも含めてですけども、やる内容は変わらないんですけども人を増加することによってこの期間でできるという見通しを立てたものになります。
02:32:49	以上です。
02:32:51	九州電力の明石でございますさらにちょっと補足いたしますと、解析をやっていただくチームが倍増した、それが倍増もできた。
02:33:02	ことともう一つ、前期以前までは玄海と川内が並行して走る。
02:33:09	工程になってるか、関係で、その甲斐関井をさ、作業するチームが結局限界線でふたてに分かれてたんですけども、今回玄海川内まず玄海、
02:33:19	の計算をやって、それからそのチームが仙台をやるということで工程がずれましたので結果、これ限界も含めてさらに工程が縮まると。
02:33:30	いう形が実現をできております。
02:33:34	以上でございます。
02:33:40	規制庁の名倉です。
02:33:43	これもあまりよろしくないんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:33:46	今議論なったからそう説明してるんですよ。これが実現しますと、実現何とかさせます。その実現見通しはこうですって今説明をしたんですよ。
02:33:57	いえ、9種類のが明石でございます。そうしますというのを私ここで宣言して、さあそれをつじつまを合わせようなんていう気は毛頭ございません。我々としては、
02:34:08	これができる体制を整えてきて、そのめどというか体制が整えられましたので、できるなということを確認して、この工程を提示させていただいて、私が言いたかったのは、
02:34:23	これ、さっきスケジュール説明する時にそういう説明しましたか。
02:34:28	聞かれたら、
02:34:30	実現性今説明しましたよね。
02:34:32	だから、これって、
02:34:35	何か、
02:34:37	おかしいんですよ。
02:34:38	意識が違うんです。
02:34:40	なんでこういうことになってるかっていうと、
02:34:44	今まで示した最新の公開してるスケジュールって2月に公開したスケジュールですよ。
02:34:49	もしくは面談で出したスケジュールかもしれない。
02:34:53	それに対してこれってかなり下はドラスティックに変わってますよね。
02:34:57	その原因として千田については、地下構造モデルの抜本的な見直し、
02:35:03	だけれどもそれも一応踏まえた上で、
02:35:05	2月に1回スケジュールをベンダーに出してますよね。それに対してこれ大分遅れているのは、
02:35:11	それは、
02:35:14	動きの材料、
02:35:15	限界。
02:35:17	そちらの影響も含めて、大分動いてる。
02:35:22	ですよ。
02:35:23	その差分からすると、かなり安定性解析って、非常に期間が短くなってるわけですよ。
02:35:32	とすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:35:34	どういうプロセスで説明しないといけないのかっていうと、今までのスケジュールはこうでした。それに対して見開きで、こういうふうな、今回、改定を行いました。
02:35:45	差分はこうです。でもそれでも実現するのはどうしてか。
02:35:50	それは心づもりだけではなくて体制の整備とか環境整備も含めて対策を打ってるから、
02:35:57	だからこれ実現するスケジュール、
02:36:00	何ですって説明しないといけないんですが、それを今やってないから、難題に書いた餅だな。
02:36:06	確かこの資料は行ってないわけですね。
02:36:09	だからどういう説明の仕方をしてみずからどう説明するのか。
02:36:14	それをちゃんと示してもらいたい。
02:36:17	そうしないと、
02:36:19	何だ言われたから、そういうふうに答えてるんだけど、
02:36:23	それって、
02:36:24	本当に、
02:36:26	やる気あるんですか。
02:36:28	てなっちゃう。
02:36:30	だからちょっと説明の仕方をよく考えていただきたいなあというのが、
02:36:35	で、4月下旬にやるときに、
02:36:39	玄海はこれ資料の中に埋め込まれてるんだけどどうしようかなと思っていて、少なくとも川内は方針をまだ書けないんだけどスケジュールだけは、
02:36:49	これ出さなくちゃいけないんで1000台だけスケジュール出すのか、原価の中に埋め込むのかもしくは、スケジュールは両方とも、抜き出しちゃうのか。
02:36:58	いずれにしても、
02:37:02	今までの最新で公開している。
02:37:04	情報がこうだったこれに対してこういうふうになりましたこれの実現性はこうですという説明を、
02:37:10	ちゃんとして欲しい。
02:37:13	はい。九州電力の赤瀬ございます先ほどすみませんちょっと短絡的に勘違いして、微妙な言い返しをして申し訳ございませんでしたおっしゃられるところをよく理解しましたもう結果の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:37:23	まさに絵にかいたもちですという説明にしかなくてないと思いますのでそこは、差分であったりだから、何でそうなったのかで何でこれが実現できるのかというのをきっちりご説明をいたします。
02:37:35	このスケジュールについては、次回会合でのご説明必須だと考えておりますので、ここについては玄海とスケジュールまとめるのか仙台は仙台という、
02:37:47	いう、ペラペラになるかもしれませんが資料になるのかちょっとそこ体裁はちょっと考えて、整えさせていただきます。以上でございます。
02:37:57	やっぱり成長するケース玄海川内、
02:38:01	まとめて、スケジュールっていう資料で、別に出して前のラップアップとかもそうですよね。
02:38:08	今、あくまで公開ベース、多分ラップアップのときのスケジュールって仙台のスケジュールは今中で確認中ですみたいな内容なので、
02:38:18	結局、公開されてる、公開されてるとか我々がこう平場でちゃんと聞いているものって 1113 回の会合のときのスケジュールと、その時は多分川内玄海がオーバーラップしてるスケジュールですよ。
02:38:30	それと、今考えているスケジュール、
02:38:33	ていうのが多分見開きになる。
02:38:37	で、
02:38:38	その考え方みたいなやつがその前なのか後なのかですけど多分つくと、ちょうどその表紙から数えて、
02:38:45	ちょうど見開きに、
02:38:47	1113 回、今後というので多分見開きになる形になると思いますんで、
02:38:53	ちょっとスケジュールはスケジュール上、C を組んでいただいた方がいかなと。
02:38:57	なんで、前回の地下構造は地下構造の資料。
02:39:01	あそこにスケジュールもちろん同じものを書いて結構ですけどね。
02:39:05	スケジュールは見開き使用前使用後使用前紙を送って形で、
02:39:09	玄海の使用前玄海の仕様を
02:39:13	川内の塩谷センターの首藤。
02:39:16	その前なのか後なのかどういふうに実現させるという意味でこの
02:39:21	仕様にしようかっていうのを書いただけだと思いますけど、ちょっとスケジュールの資料分けましようかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:39:27	はい。
02:39:28	すみませんちょっとそういう話ですいませんスケジュールの方ばかり聞いているわけにもいかないんで、その見直しの方針ということで一応方針なんですけど、
02:39:39	一応ステップを分けて、
02:39:42	もともとステップワンは、
02:39:45	もともと会合で言ってるし教科モデルにおいてもという話は、RELAPの時点で、
02:39:51	もうすでに話は聞いているわけで、
02:39:55	ステップ2から今回、やったわけ。
02:39:59	前回会合から2ヶ月以上も経ってるので、
02:40:02	かなり時間かかったなという印象があるんですけど、
02:40:06	へえ。
02:40:09	現許可許可 PEEK
02:40:12	はピークがずれてるんでもうこのピークを少し、
02:40:15	菅のモデルのピークと観測記録のピークがずれてるんで、頃シフトさせましょうと。
02:40:23	で、
02:40:24	今これシフトさせるには速度層をいじる。
02:40:28	で速度層を入れるところはこうこうこうっていう書いてあるんですけど、
02:40:33	ちょっと駒野島沖のところで言うとそういう作業をしたんだなっていうのはもちろんわかるわけですよ。
02:40:40	どこにピークがあってというんですけど、
02:40:43	とは言いつつもう既許可のときに、PS 検層にあれだったり、
02:40:49	いろいろ測定をして、最後決めてるわけですよ。
02:40:53	それを親今回、いやもう主んし、
02:40:59	観測記録のピークに合わせるようにシフトするんです、もうしょうがないんですと言って、これ出してるんですけど、そこの間の説明が、
02:41:08	全くなくてですね。
02:41:10	もともといろんな今回何か新しい実はデータをとったわけじゃないじゃないですかこの間に、
02:41:16	今まである PS 検層許可のときの PS 検層と追加でとった三本もちろんありますけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:41:22	あとは許可のときに立って、ここって大きなデータの拡充ってないわけですよね。
02:41:28	だけど許可のときの判断と、今のこの判断が違うでそれなんですかっていうと、何か次回以降ご説明っていうふうになっていて、
02:41:36	これって、さっきそういったようなスケジュールでいうと、
02:41:42	これ今方針の段階ではまだ全くなくなって、
02:41:46	いやあ、
02:41:47	それって次回説明するんですそれは確かに、次回初めて、この辺の考え方とか、説明されるんだと、次回っていうか、ここで言って短いですよ。
02:41:58	今の時点では、
02:42:01	その段階にならないと説明できますように、準備できてませんってなると、それは確かにその次で貸して終わるかっていう。
02:42:09	それは都合3回掛かるつもりですかねっていう、2回目が実質限界でいうとこの2月10日の会合。
02:42:16	日書く形になってしまうので、
02:42:18	もっとこれは全く、ちょっとまだ準備できてないのかなっていう。
02:42:24	だから言ってみるとVS2150でずっと下上から下までほぼ通しますと、28.5メートル下回ってる。
02:42:33	もっとこれわーん、この段階でまだ、いや今後復興部分を説明するんです。
02:42:40	ていうのはちょっと自治権準備ができてないんで何とも言いようがないかなという。
02:42:46	後はすいませんこの見直し方針の方からですかね14ページ。
02:42:51	その上で、一応その、
02:42:53	Q値は今いじってないわけなんですけど、
02:42:58	それとピークとしてはシフトしますと言っても後に全結果出てるんですけど、
02:43:03	これー、我々、別に、
02:43:08	Q値を入れるか側道構造をいじるか。
02:43:11	どっちかしかいじってはいけませんなどとは一言も言っていないので、
02:43:16	統一御社はこの
02:43:18	速度構造をいじる。
02:43:22	なので参考の2ですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:43:24	参考の 2、参考の 1 じゃなくて参考の 21 よりも参考の 2 の方がよくなって、かつ参考の 2 でいい。
02:43:33	ということなのか、今ここはまだ、その途中段階で、最後どうするかまだ決まってないのかそれはどっちなんですかね。
02:43:44	九州電力の明石でございます前我々とし、我々、当社といたしましては、モデルとしてはもうこの参考 2 で示してる見直しモデルこれでいいと。
02:43:55	いうふうに判断をしております。
02:43:59	そこに至るところを、仮定についておっしゃることに非常に舌足らずな御説明になってると思います。減衰についても 72.5 になってますけどそれいじらなくていいんだってということで、
02:44:13	そうしてるわけではなくて、やっぱりそこに至る整理があっただけではありませんけども、もうこれそれをひっくるめて何ページだこれ 10、
02:44:24	14 ページ下にもう杉尾の書きぶりで表現してますので、ここはやはりちょっと市はしっかりご説明しなきゃいけないと。
02:44:33	思ってますすいません
02:44:36	どちらかという最後の結果が、我々は結果を持っていきたいと思ってますという結果の方が先走ってしまってるところは、
02:44:44	あります。ありまして途中の過程しっかり説明しなきゃいけないところはありますけども鈴木さんの取り出すお答えとしては、最後参考に、の見直しモデルはまだ途中経過ですがなくて、
02:44:58	我々はこれだと考えておりますというものでございます。
02:45:05	それからちょっとついでに申し上げるとまさに舌足らずなところで、例えば浅いところについて、こういう固いんですよというのは既許可のデータを持ってきてる、けどもういうところについては、
02:45:18	既許可のときにも当然この辺を見ながらモデルの設定はしてるんですけども、最終的に微動アレイの結果をもとに、この微動アレイの結果というのがこの
02:45:29	PS 検層のから見てとれるかたさなんかとちょっと大きく異なっていたんですけども、
02:45:35	この微動アレイの結果これが換算スウェイ敷地としての平均的な特性を表している。何よりも、既許可のモデルは長周期の地震動評価に使ってまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:45:47	その長周期に対しては保守的な結果を与えるということで、この微動アレイの結果を採用してたんですけれども、今回、やっぱり観測記録が物語っていること。
02:45:57	ピークが短周期になるってことはやっぱりもうちょっと硬いんだよねっていうことを、観測記録が物語っているということと、改めて既許可のデータではありますけども PS 検層等見てもやっぱりそうだよねと。
02:46:10	ということで、こういうモデルを設定するんだというふうに我々は考えた、いうものでございます。なお、微動アレイを使った既許可のモデルとの関係というか違いはこうこうこうなんだという、
02:46:24	説明きっちりしなきゃいけないと思ってますのでそこがちょっと今後の御説明予定になってて申し訳ございませんけども、
02:46:33	そこはちょっと前順次説明を加えていきながら、きっちりご説明できるようにいたします。
02:46:39	以上でございます。
02:46:44	はい。
02:46:45	ちょっとそこがまず全く抜けてしまっているんで、何かこの方向方針とって何かこの方針で、
02:46:52	いや一定次じゃあその方針に沿ったものを聞きましょうかというふうにならんのじゃないかというのが、
02:47:01	うん。
02:47:04	わかりました。
02:47:06	というのとですね、あとは結局参考 2 と参考、参考 1 参考 2 でいや 0 とにかく使用前使用后、県申請モデルと見直しのもの。
02:47:16	県申請モデルと期間のものっていうふうにあって、当然既許可 IQ 以降 100 の清川モデルでやったとしても、この青いエリア、この 0.1 から 0.2 秒のエリアのものが、
02:47:28	もちろん解消される結果その全体が持ち上がるより短周期側が持ち上がるんですけど、それによってカバーできるものとできないものがありますと。
02:47:38	例えばですねどれもいいんですけど、
02:47:42	11、3、33 ページから参考 1 の方の評価モデル内閣の 11、これは持ち上がることによって、短周期がよりでかくなるんですけど、
02:47:54	全体が持ち上がることによって、切りがのカバーでいきますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:48:01	他方で、12 みたいなものは、全体が持ち上がると、かなり 0.0 何秒のところは、ほぼほぼ同じだったものが、
02:48:13	評価モデルの方だと上回りますただし問題となっている。
02:48:17	ところは、カバーしきれません。
02:48:20	他方でですねこれは参考 2 の方で同じようなものを見ると、カバーされることに、
02:48:28	なるということなのでしょうかと。
02:48:30	言ってみると、
02:48:32	流一番に関して言うと、これは
02:48:36	むしろ、
02:48:39	引き続きこの周期で少しは良くなったと。
02:48:43	けど別にカバーしてるわけではない。
02:48:45	十人についても、これ、
02:48:48	なぜかなんていうか、この
02:48:51	今 2 択 0、見直しモデルと速度構造を見直してくるパターン。
02:48:57	で、いろいろ評価でどう完全に 9-100 って、今より短周期がいいでほんと持ち上がるだけなんですけども、それによってカバーできるかどうかって、ちょっとこの 2 社 D、
02:49:07	何かこれだけそれぞれの見せられて、いやもう参考 2 の方が良いんです、参考 1 だと、カバーできないんだけど参考 2 でカバーできるんですよというふうには、にわかに見えてこない。
02:49:19	ですけど、
02:49:23	一応これ参考 2 はだと。
02:49:26	問題は解消されて 3 工事だと問題解消されてないっていうの繰り返しですけど、一応そういう説明なんですよね。
02:49:33	多分何かこう 1 個 1 個、これはとって、参考 1 のある地震、参考 2 の方の同じ地震って形で見てた時に、全くそういう何か説明に聞こえてこないんですけど。
02:49:46	並べてみた方がいいのか。
02:49:49	それともここではなくて全体として何か、トータルですね、いや何地震、超えたものが何地震に減りましたとか、何かいえるのかなんですけど。
02:50:01	ちょっともらってまだその全体パツとした方針と結果だけなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:50:07	何か
02:50:09	例示で挙げて確かに何か解消された僕見えてたんですけど後ろの参考1 参考2を見ていくと、
02:50:16	参考2の方が良いというのが、いまいちよくわからない。
02:50:21	もちろんより根本問題となっているこの0.1秒0.2秒よりもさらに短周 期側の方が、
02:50:28	結局、評価モデルを使うと何だかわからないけど持ち上がってるって いう、見栄えの悪さありますけど、
02:50:34	別に我々そこをさ何か問題視してるというよりは、観測記録と成功して なかったところが、
02:50:41	どう解消されるのかという部分で見ると、より短周期がどうなろうがあ まり関係ないですよ。
02:50:48	その上で見ると、
02:50:50	何か3こいつ参考2で、参考2の方がいいんですっていうのは、ちょっ とこの単に後見ておいてくださいだけだと。
02:50:57	もっと説明として入ってこない。
02:51:02	九州電力の明石でございます。参考1と参考2を見比べた場合まさに鈴 木さんのおっしゃるようなところところだと思ってますって言い方おか しいですけども、
02:51:15	結局、
02:51:17	参考1局モデルでは結局全体がもうぐっと短周期が持ち上がることによ って、カバーできてるものもあればできてないものもあるんで、参考② の方は我々がねこれだと言ってるモデルについては、
02:51:29	持ち上がるというよりはその周期、ピークの周期が短周期側にシフトす ることによってカバーできてると、ものもあればまだカバー完全にカバ ーできてないものもあると。
02:51:40	でカバーできてるかできない、できてないかの状況については実は、参 考0102 そんなに変わらないと変わらないのかなと思ってます。ただ 我々が判断してるのは、
02:51:51	参考までにまさにカバーの仕方、結局、玄海現状のモデルなんだ、なん でカバーできてないかって言ったら結局、地盤の硬さであったりそうい うかたさがあるからこそそういうピークが出ると。
02:52:04	いうことについて追いかけてないんじゃないのと、そういう見つけ で言うと、丹企画モデルはちょっとその方云々置いといてグーッと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:52:14	減衰で持ち上げてるだけですのでやっぱりそうじゃなくてカバーの仕方としては、考え方としては、見直しモデルと言ってる参考②今カバーの仕方としてはこっちであると。
02:52:26	いうふうに我々は考えていると判断したというものでございます。
02:52:33	はい。いずれにしても前回の会合でも言いましたけど、やっぱり解放基盤までの伝播特性を考慮して、その結局過小評価にならないように、モデル組んでいてくれればいいわけで、
02:52:46	そこをちゃんと開始解消しておいてもらわないと。
02:52:51	別に過剰幾らでも過剰評価にしろなんていうつもりはもちろんないですけど、その部分っていうのは、
02:52:57	地震動評価が最後過小評価になるようなモデルにならないようにというその視点で、ちょっとちゃんとその問題となっている周期の部分ですね。
02:53:05	きちんと説明を組んでいただきたいですと。
02:53:09	うん。なんか多分それがないと、さっき言ったようなその月岡のときの速度層との違いみたいなところもそうなんですけど、それなしで、それを今後説明しますだけだと。
02:53:19	何ていうか、経過報告みたいな作業状況報告。
02:53:23	2ヶ月たり経ちましたが、一応作業が進んでやってるんですしにしかならないので、
02:53:29	あとですね 16 かな。
02:53:35	ここは一応ハッチングがかかっている周波数。
02:53:42	みたいですね。ここが許可のときよりも、差分が小さくなりますよということで、
02:53:49	ここで一応標準音スペクトル用のモデルはまず長周期側も含めて残るので、
02:53:54	一応これは、いわゆるこのハッチングかけたところの周波数が短いところですね 1234Hz、123Hz とか、
02:54:04	この辺のところは、一応、もともとの、
02:54:09	現申請モデルだと。
02:54:11	伝達関数のところ、もう周波数 122Hz で 3Hz、2Hz から 3 列ぐらいで神山が、
02:54:20	観測記録、青と青と赤の隔たりができますけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:54:24	見直しもわずかながらちょっと公差は出るというか当然でするので、地震観測記録が青の方が、この 1Hz2Hz、
02:54:35	3Hz ぐらいまでかな。
02:54:37	男は上回るんですけど、ここは無視できるほどの影響でしょう。
02:54:42	全体としてIとして、より高周波数タイム、10Hz とかまでのはい領域も含めて、場合が良くなる。
02:54:51	で、
02:54:52	構成号線も減るから次フェーズの整合性は改善されると言っていて、そこさえよければいいわけでもないの、他の部分に悪影響がないのかって点ではこれはどうなんですかね悪影響がない。
02:55:03	という方はんなのかどうなのか。
02:55:09	はい九州電力の本村でございます。確かに淡路の方のところにつきましては 5Hz から 10 フレーズ青線に近づいてるかなと思います。
02:55:19	一方低振動数が低周波数側ですね 2Hz3Hz、もともと赤線が大きかったんですけども、今回ずらしたとしてもですねこの程度の青線のこれぐらいだと整合してると言ってもいいかなというふうに我々判断してると。
02:55:36	ということでございます。
02:55:40	はい。今までやってた部分のIは損なわれてはいない、改善されると、改善したかったところは改善したと、そういうことは言いたいわけですね。はい。
02:55:52	ねあちらが例えばこちらが立たずではない、なければうちに、そういう御説明であれば出したいということでは、わかりました。
02:55:59	はい。
02:56:00	あとちょっと、全体のだと設定妥当性の説明はちょっとまた、
02:56:06	いや限界直も含めてだとは思うので、
02:56:10	ちょっとですねなので、
02:56:13	この資料で何か方針の説明ですと出ると、本当に状況報告にしかならないかなと思っているので、
02:56:22	なのでちょっとさっきのスケジュールのところで見ましたが、これでちょっと方針、
02:56:26	玄海で言うところの例えば 2 月 10 日未定のイメージ方針をかけてですね、方向性はそうですね、じゃあこれで次、地下構造の全体の全体とかもう仕上がりの
02:56:38	議論しましょうよという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:56:40	資料にはちょっとになってないかなと。
02:56:44	ちょっと今の段階で申し上げるのはそのぐらいかなと。ちょっとこれ議論というのは、
02:56:49	肝心な部分が、中身がすっぽり抜けちゃってるかなっていう
02:56:54	ステップワンみたいなのところはもうすでに来状況としては、我々把握してたわけで、
02:57:00	ステップ2、
02:57:01	ああなるほどこういうことをした、
02:57:04	多分これ以外にもいろいろとああでもないこうでもないところを、いろんな検討をしてみて、おっしゃった検討というかご全然駄目だったみたいな検討もちろんあるのかもしれないです。それはそれなりに時間かかったんでしょうけど、
02:57:16	ちょっとこうステップ2でステップ3。いやこの部分はちょっと次説明するんですでは、ちょっとね議論ならないかな。なかなかちょっと
02:57:26	議論なりコメントしづらい。
02:57:28	ていうかこの中身では、
02:57:30	はい。
02:57:32	すいません全体の話は少ししたんですけども、他ば、そんなに枚数も多いわけじゃないので、
02:57:39	個別、どこでも結構ですけど、ほかある方いればお願いします。
02:57:52	ちょっと私細かいところなんですけど、14 ページで、
02:57:59	見直す範囲は、20 - 28.5 から、
02:58:03	マイナス 480 メーターなんだと。
02:58:06	VSVP ですね。
02:58:08	この説明がね何か、断面図と並べられると。
02:58:13	何でこれでいいのかなっていう例えばですよ。
02:58:19	-18.5 から -28.5 っていうのを試掘坑を根拠にしていますって言うんですけど、祝津方向ってもうちょっと、
02:58:27	浅いところに、
02:58:29	あるんですよ。
02:58:30	で、なのでこういったことをこう判断するときにはただ単に地質調査だけでこうしますっていうんじゃなくて、何か工学的なジャッジだとかここに側道。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:58:40	そう付けたほうが増幅するんだなのか、何かこう判断があってから、こういったコーン-28.5に線を引くんだってという話なのかなっていうふうにも思うんですけど。
02:58:54	今この資料見る限りその辺がちょっと理解できなくて、
02:58:59	前まではですね、現申請モデルというのはそんなにコントラストなくて、違和感なかったんですけど、
02:59:07	今回こうぐっとうこう28.5まで速度が上がるで断面図でこうなってますって言われると、
02:59:15	うんこれ、ここの線でいいのかなってというのがちょっと気になったというところですよ。
02:59:25	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃることはちょっと理解したんですけども、試掘坑内弾性橋形が、おっしゃる通り、L-18.5より上のところの試掘坑っていうところはあるんですけど、
02:59:38	そのデータをもとにですね、解放基盤の
02:59:42	設定をしてると。
02:59:43	いうところもあって、そこのところ10メートルですけども、そういうところは設定してたと。
02:59:49	で、確かにおっしゃる通り、そこで10メートルでっていうところは、28.5で、くくりつけてというところがちょっとあるかと思います。
02:59:59	ちょっとすいません。今ちょっと回答は、なかなかちょっと難しいところではあるんですけども、そういうところはあるかなと思って、ちょっとすいません。
03:00:09	九州電力の明石でございます。ここのところちょっと気を食うのはIEEEですのできちりちよっと整理して、またご説明しますけど今谷さんおっしゃったやっぱりジャッジが入ってて、
03:00:23	この中、18.5メートルの1500という数字はこの解放基盤の設定としてまさに試掘坑の調査をもとに設定をしているものでそれから下の、
03:00:33	層をどう設定するという事について、その試掘坑で確認してるところが、15、10メートル程度はという言い方はあれですけども、確かそういうジャッジがあったというふうに記憶してますそこちょっと、
03:00:46	整理してまたご説明できるようにいたします。で、これ古くさかのぼると既許可さらにその前の耐震バックチェックの時代に、こういう考え方を整理してたところがありまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:00:58	とりあえずはその 28.5 です境を作ってその下もちょっと硬くしてという、いう形にしておりましたので、そこはちょっとまた整理、確認を整理いたします。
03:01:18	はい。規制庁佐口ですけど。
03:01:21	何ていうかこれスケジュール管理も絡んでくるので、
03:01:25	確認させていただきたいんですけど。
03:01:28	多分今は、限界を進めてて 1000 台を後追いで、
03:01:34	やっていくんですけど、
03:01:37	基本的に、この見直しの方針、
03:01:41	なりですね。
03:01:42	例えば 14 ページに書かれてますけど、
03:01:46	これって、
03:01:50	限界等、同じって考えていいですかね。設定の方針ですね。
03:01:55	そうすれば我々も当然ながら、玄海と同じような確認をすれば済むんですけど、
03:02:01	これが、
03:02:02	何かちょっとこう設定で違うようなところが出てくる等、
03:02:07	またそれは別途限界と別に、
03:02:10	あそこは多分議論をしながら、
03:02:14	確認をしていくと思うので、
03:02:17	そうすると、
03:02:18	委員会と同じように、
03:02:22	設定を、
03:02:23	していれば、
03:02:25	根拠もおんなじですね、ずっと、
03:02:29	期間も短く終わるものが、
03:02:32	ちょっと変えていると。
03:02:35	期間が多分伸びるんじゃないかなと思うので、そうすると、やっぱり最初に少し確認ありましたけど、5、5 ページの、
03:02:44	この
03:02:46	スケジュールで本当にいくのかどうか。
03:02:49	いうところもあるので、ちょっとそこは、
03:02:52	確認をさしてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:03:03	はい、九州電力の本村でございます限界と同じような設定小設定の流れになるかっていうところが、ありますけども、速度構造を今回見直して、同じような流れで
03:03:16	限界と、
03:03:18	同じような流れで妥当性確認まで行くことになると思いますけども、限界の方で、先ほど議論させていただきましたけど限界の方は-90メートルまで観測記録あって、
03:03:28	-200メートルまでPS検層モデルがあると、その範囲の減衰について変えるというようなところ、新たに入れられた値、観測記録、観測事実に基づいて、
03:03:41	妥当性も確認しながら決めていくという流れでございますけども、仙台の方につきましては、先ほどこの14ページですかね、表で右側示してますけども、
03:03:52	そういうところについてはPS検層、炉心位置のPS検層に基づいてそれを伸ばしていくと、というようなところで、こちらについては微動アレイの観測に基づいて、深くなるにつれて、Vsが大きくなると。
03:04:09	いう根拠をもとに延ばしているものの、新たに入れられたデータという観点では、地震観測記録は、仙台の方が118.5。
03:04:20	新たなPS検層モデルというのは200メートルというところで、この区間での確認するというところは、玄海とも同じなんですけど、変えて、
03:04:32	今回見直しモデルで200メートルから480メートルまでの速度層も、元1600VSDと1600、それを2150人変えてるというところ。
03:04:43	ここのところの妥当性確認というところが、先ほど微動アレイに基づくもので、AVSが大きくなるという仮定、想定のもとやってるっていうところが、
03:04:56	若干その200メートル以深のところ、限界とはちょっと確認の方法がちょっと変わってくるかなというところ思ってるところでございます。
03:05:07	九州電力の赤瀬でございますちょっとだけ補足させていただくと、要は限界と真木許可の時からどんなデータ情報が加わってきてそれをもとにどんなメニューで、
03:05:19	料理というか整理をしていってという、枠組みは一緒なんですけども、もうとどのつまり先ほど私もちらっと申し上げましたけども、前はそういう新たなデータを積み上げても速度構造としては、
03:05:33	結果の既許可のモデルと変わらないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:05:37	ところがどっこい仙台の場合は、その積み上げたデータを基に観測記録と照らし合わせてみるとどうも菊川のモデルじゃ合わない、ということで、家仙台はそのモデルが変わるという方針でいます。
03:05:50	結局そこが大きく違いますのでおのずとじゃその根拠はということであったり論理展開も変わってくるころはあるというふうに考えております。
03:06:04	はい。規制庁佐口です。なので、多分限界とはちょっと変わってくるのかなと思っていて、それはなぜかっていうと結局 9 ページで少し
03:06:15	マヨ要因、要因っていう要因なのかな、要因でいいのかな。
03:06:20	ちょっと要因でいいのか、か当たんなる事実だと、いけだと思えますけども、
03:06:25	結局、浅いところが、あんまりよろしくなくて、それはなぜかっていうと、先ほど確認もありましたけれども、
03:06:37	等で浅香さんの方からもお答えがあったような
03:06:41	既許可のもので言って、結局、長周期側に重きを置いたモデルだよって、
03:06:47	言ってしまうえば微動アレイ、
03:06:50	2 コマ受重点を置くとか、微動アレイの結果を、
03:06:58	中心にっていうのかなんていうんすか。とにかく微動アレイの結果を重視したような設定のモデルになっていると。
03:07:07	で、やっぱり今回はももとの目的である。
03:07:12	うん長周期側だけじゃなくて短周期も含めて、設定できるような地下構造モデルっていうので、
03:07:20	やっていったときに、
03:07:22	14 ページで今、私これまでもいろいろ、
03:07:27	コメントもしながらですねいろいろ確認もさせていただいてるんですけど、
03:07:32	結局 14 ページにあるような、
03:07:35	微動アレイを、
03:07:37	中心に設定したモデルの。
03:07:40	層厚というものを、このまま何も変えずに、速度だけ今後ですね、変えればいいのかと。
03:07:48	いうのと、
03:07:50	当然ながら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:07:52	今 14 ページでハッチングかけていて先ほど本村さんからもご説明ありましたけど、
03:07:59	むしろ 200 メーターより深いところも、速度は変えるわけで、じゃあこれで何をもって
03:08:08	妥当性を確認するかっていうのは、何かそのまあ、微動アレイでは深くなるにつれて、そういうことが速くなっていくという、あくまでも傾向を、
03:08:18	言われているだけの様な気もするんですけど、そうすると、
03:08:24	今度ですね、
03:08:26	玄海で、
03:08:28	あれ、Q 値ってどうでしたっけ。
03:08:31	て見たときに、
03:08:32	同じ速度層だったら、
03:08:35	これ同じ。
03:08:38	反対でいいんだという、そういうロジック。
03:08:42	であったわけですね当然その、
03:08:44	PS 検層による測定結果。
03:08:48	なんかも当然それはもう元に設定をされていると。
03:08:52	いうところあるんですけど、
03:08:54	今ですね、
03:08:55	20、これ、これ見るとですね、14 ページの -28.5 から、
03:09:00	マイナス。
03:09:05	1000、1000、1000、1018 年度 1 キロまで、結局速度層としては同じになるわけなんですね。
03:09:11	でも上から 12、500200 とバラバラになってきて、
03:09:16	これって、
03:09:18	本当に、
03:09:19	いいんですかねっていう、これまでの、
03:09:22	考え方なり設定の方法からですね。
03:09:27	ちょっとそういうところもあるので、
03:09:29	うん。なかなか、
03:09:32	今後議論になりそうなポイントが多いかなというちょっと印象を、
03:09:37	受けました。なので、
03:09:40	できればやっぱリー。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:09:43	限界を、ちゃんとかう進めていただいて基本は、限界と変わらないような設定をします。当然根拠だって一緒です。
03:09:52	てすれば、
03:09:53	あくまでもこれはスケジュールっていうか時間だけの話になるかもしれないんですけど、そうすると効率的に、
03:10:00	審査もできるかなとは考えてますけど。
03:10:03	ちょっと今の感じだと、
03:10:05	うん。やっぱり限界とは違うところが幾つか回って、そうすると、なかなか、
03:10:10	議論のポイントもいろいろまた出てくるのかなという気がしますので、ちょっとそこは、どうされるかっていうのは、
03:10:17	もう少しですね、
03:10:19	整理をしていただいてももちろん、このままでいっていただいても、きちんとした根拠を示していただければ、我々はそれで判断しますが、
03:10:29	ちょっとその辺り含めて、
03:10:30	方針についてはやっぱり、
03:10:34	少なくとも近いうちに会合にはかけないと、これまた、やっぱり、
03:10:40	1年前ぐらいでしたっけおんなじような感じで、
03:10:44	1回冬、冬ぐらいに会合、
03:10:47	やって、1月にやって、またちょっと方針を、
03:10:52	持ってきてくださいっていうのが、結局5月か6月、6月か何かになってて、
03:10:58	ちょっとそういう時間の感覚的なものもありますんで、少し設定のこの方針については、やっぱり早めに、
03:11:06	持ってきていただきたいと思いますんで、よろしくお願いします。
03:11:12	はい九州電力の明石でございます。まずちょっと設定の方針を早く持っていきたいがために今日はちょっとかなり、むしろもう結論先走り過ぎたところもありますので、
03:11:22	今限界との違いとか差分とか何かそこも見えるようにして、できるだけ
03:11:32	ポイントを突いて効率的に効果的に見ていただけるような整え方をします。なお、今ご指摘していただいた減衰のところ、先ほど、私は見直し②モデルこれだと思っておりますと申し上げましたけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:11:46	Q 値のところは正直かなり悩んだところがございまして、悩みながら今この形に落ち着き落ち着いてるという言い方おかしいですけども、なってるところはありますちょっと Q 値の考え方、
03:11:57	ちょっと整理は必要だと思ってますので、玄海での整理も交えて整えてご説明を、ができるようにいたします。はい。以上でございます。
03:12:09	はい。よろしくお願いします。ちょっと私も 1ヶ所で終わるところをちょっと付け加えると、
03:12:15	旧玄海の方も、その限界でいうと 90 メートルより浅いか深いところでの差のつけ方ですよね。
03:12:23	あれって、90 メートル浅いところは地震観測記録ありただけけれどもその下はないのでみたいなの。
03:12:30	その話と、
03:12:32	何ていうか全く等価ではないんですけど、仙台のやつが割は離島でしょこれもし今のやり方で、90 メートル浅いところは地震観測記録に整合するようにチューニングができましたと。
03:12:44	行ったとして、それは結局限界でいうとこの 90 メートル浅いところの説明ができたっていうのと同じようやく土俵に乗るといっただけなので、
03:12:53	何かこの 90 メートルから 200、ここでいうと、
03:12:57	玄海で言うんだから自信があるところから、県仙台だと 118.5 かな。
03:13:04	から 200 ですよ。
03:13:06	そこのところには、差がつかないっていうのは、ここで川内と玄海で、仙台の方が何かいや、地震計があるところから 200 メートルまでの間で、
03:13:16	玄海と違って、何かそれより神経があるところと同じぐらい。
03:13:21	のを、
03:13:24	いわゆるデータというかさろっているからなのかというと、あれそうでしたっけとかですね。
03:13:28	ちょっとそこら辺もあったりしてですね、何かちょっと尾野両者もちろん同時並行ではなくて原課の方が先に進むんですけど、
03:13:37	とって何か、片やこっちで割ってるのに 1ヶ月も経たないに、同じような状況のものについて別の考え方を持ってくるとかっていうのは、
03:13:46	それは別に全く否定しませんが、ちょっとそこもですね今気になった部分ではあります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



03:13:59	はい。すいません、大分超過はしてますけれども、ちょっとまだ方針レベルのところなんで、どうですかね。谷村さんこの仙台の方も、ちょっとこの段階で、資料の段階で何か、
03:14:11	見えることっちゃうのはありますでしょうかね。
03:14:15	院長田嶋です。ありがとうございます。自分も同じような方針というところで、全体の説明、これから整える。
03:14:26	とは思うんですけど、この前の2回でやってきた私の記憶が正しければ12月2月だったと思うんですけど、その会合との整合みたいなのは、
03:14:38	説明上とるべきかなあと思ってるんですけども、まず自分の方で確認した限り、12月の会合のときは、今の1000、今日の玄海の
03:14:52	10、19ページと同じように、VsとVpの同定、地盤同定っていうのをやっていて、前は90メートルまでですけど、
03:15:05	マイナス90メートルまでですけど、仙台の方も同じように12月の時点ではEL-118.5メートルまでは地盤同定してあって、速度は既許可と同等ですよっていうのが確認できましたっていうふうに、
03:15:21	資料が出てるんですね。
03:15:23	でもそこを、その地盤同定解析をして、VsとかVpは既許可と同じつまり1600に近いよって言ったようなところを今回見直しますよって言うちゃってるのは、
03:15:35	整合がつかないんじゃないかってまずパツと思ったりしたところがありますちょっと誤解があったら、よろしいですけども、そう思ったり、あと2月の時には、
03:15:49	このいろいろな合わない部分のこの対象の0.1%0.2秒のピークは、PS検層という速度コントラストに関係するんですよというところに非常に着目した。
03:16:01	説明がされてたかと思います。その辺との関係とか繋がってるのが、今ちょっとこの方針ってなると、結構すごく、
03:16:12	を着眼点というか違う材料とかを、の説明になってるように思いまして若干こう、これまでとの議論を踏まえてのという、
03:16:22	速度っていうようなのがちょっとわかりにくかったので、そこはやはり説明上、
03:16:29	説明しないと、何かこう議論の繋がりがちょっとわからないというのが私の現時点での
03:16:36	コメントになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:16:38	以上です。
03:16:43	はい。九州電力の本村でございます。田嶋さんの言われるところ、12月の会合では速度の同定やって、1600よりちょっと大きいですけど1800ぐらいだったんですけど同等だと、既許可と同等だという主張をしていたところ、
03:17:00	それと2月の会合で、伝達関数だったと思いますけども、58.5のところ、何か58.5より下で何かあるというようなところも、
03:17:10	主張してたというところもありますのでちょっとそこら辺の整合性っていう観点です、ちょっと整理が要るかなというふうには思ってるところでございます。
03:17:20	以上でございます。
03:17:24	九州電力の明石でございます。ちょっと補足させていただきます。また今後説明しますだけだとちょっと思いまっかが出るので、実態申し上げておきますと、
03:17:36	結局 VsVp 同定しても、そんなに変わりませんと、言ってたのはこれ同定する範囲、より下はあくまで既許可モデルと、
03:17:46	同じような速度で、それ以上もかたいということは内容は、浅いところを同定した結果、例えば AVS が 2000 とかになっちゃうとその下にやわらかい層が挟まって何か逆転層が生じる。
03:17:58	そういうことになっちゃいけないよねということでちょっと縛りを設けて同定をしたので、結果的にそうはなって、ええ。
03:18:06	そんな変わらないということになってたんですけども今回我々が観測記録を見て気が付いたのは、この観測記録をも物語るためにはどうしてもやっぱりもうちょっと浅いところがかたくないと、そうはならない。
03:18:19	観測記録が物語っているのはそうなんだということで、我々がちょっと頭もう知らずに縛りを設けた、設けてた、このもともとのモデルの
03:18:32	例えば地震計よりもさらに深いところであつたりの硬さ、それで縛りを設けてしまったというところをとっばらって、やってみると、今回の方針にたどり着いたと。
03:18:43	いうところがございまして同じようにピークの数値コントラストこれも、追加ボーリングで見えてたのは、今回今日の資料でも申し上げた通り、ちょっとページつけております通り、
03:18:55	もともとの PS 検層でも見えてたところのコントラスト、
03:18:59	があらわれてるんですけども

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:19:03	乾燥記録で見てたコントラストについては、実はやっぱりもうちょっと浅いところのコントラストが見えてたと、いうのがやっぱり観測記録を見ると解釈をされまして、
03:19:15	なので、2月であったり申し上げたこと出たことからさらにちょっと我々みずからを縛ってたところをとっばらって改めて素直に眺めるとこういうことだと、いうご説明を、
03:19:26	いたします。すいません。今日のご説明は舌足らずで申し訳ございません。
03:19:30	以上でございます。
03:19:35	規制庁、田嶋です。ご説明ありがとうございましたそうですね。そのあたり、重要なのと特に浅い方の地盤同定ができ、
03:19:45	せっかくしているところが本当にそういう思い込みといいますか遅くなるってことはないっていうような条件をとっばらってやれば実際この今回、
03:19:55	見直す、Vsに近くなるとかそういうのは、非常に大事なことだと思いますので、はい。状況はわかっていた全全繋がりがなく、出てきたものではないということはわかりましたので、
03:20:10	はい。それが資料でわかるようにするのは重要かと思いました。はい、ありがとうございます。
03:20:18	はい。規制庁鈴木です田嶋さんありがとうございます。ちょっとそこら辺がないと、ずばり2150円均一セールですって、浅いところからズドンとやってるのが何なのかがわからなくなっちゃう。
03:20:29	はい。
03:20:30	ちょっとそこの辺かな。他は。
03:20:32	どうでしょうか。結構な時間なっちゃったので、
03:20:36	ディスクリート、
03:20:37	大丈夫そうですか。
03:20:39	はい。
03:20:40	なのでちょっと仙台ですねちょっとこのままでいうとなかなか難しいかなと思ってはいるので、少なくともその方針とはいえ議論できるレベル。
03:20:50	ていうところにはしてもらいたいかなと。
03:20:56	あとはちょっともう説明は結構なんですけどどう前回の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:21:02	会合の品証のやつです。部分ですねも多分時間もあれなんで、これ、資料の右肩に 13 ページかな。
03:21:12	13 ページ 2 会合からの修正ですと、
03:21:17	すいませんちょっとリモートさんはあともうスケジュールと品証だけなので、もしあれでしたら、大勢いただいても大丈夫です。
03:21:26	で、13 ページの方ですねこれ当日なんで紙で今いただいた資料ですけど、一部修正ということで、
03:21:34	是正措置の 1 と 2 のところに括弧書きで太字の白い丸のところの括弧書きで、女性業務全般に適用と 2 ヶ所書いてありますということと、
03:21:45	あとは是正措置 1 のところが委託先での等に作業方法及び、
03:21:50	それに応じたというところが入って、単に実行方法と書いてたのは、作業方法とそれに応じたチェック方法というのも含んでますというのを明確にしましたと。
03:22:01	あと是正措置の 2 のところも見てみると、これ二つ目のポツですかね、上を上の先ほどの部分を受けた形で、
03:22:08	チェック方法を明確にしというのが、これはどういうものによりけりですねチェック方法にしたかっていう、それを受けて、
03:22:19	チェック方法も社内での本社でのチェック方法も考えるし、そういうものは下の記録として残しますよと、いうことなんでこの部分は書かれているかな。
03:22:30	思います私は、その上で、ただ、この
03:22:34	女性業務全般に適用っていうのが、これ、9 電の是正措置 13 ページの 20102 だけに書いてあって、
03:22:42	当然その④とかなんで教育の話なんでそもそもここは図面に限った話じゃないから、もともといいんですけどね。
03:22:49	委託先のところを見ていくとそれがないんですよ。およその助成業務って大半がこの図面編集中心なのかもしれないんですけど、
03:23:00	ちょっとここは何か、委託先は、今回と同じような全編集に限りますっていうふうにも読めてしまうので、
03:23:08	ちょっと素行はどういう意図なのかなというところでいやここ認識づれがないんだったら、委託先の方も語弊がないようにしてもらっただけかという思ってるんですけど。
03:23:22	はい。九州電力の今林です。はい。今鈴木さんがご指摘されました点、記載のようにし、記載が足りなかったのかなと思っておりました。で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:23:33	当社のケットメンとしましては当社の是正措置の中で、先日の会合で受けましたご指摘を反映するというふうな認識ではおりましたが、
03:23:44	確かに委託先についても、その図面の編集だけではなくて女性業務全般提供するという事は、これまで委託先といろいろちょっとやりとりしてる中でも委託先も当然その認識を持ってると思っておりますし、
03:23:58	今後そうすべきだと思っておりますので、この12ページのところにも、女性業務全般に適用するという記載をちょっと追加させていただきたいと思います。
03:24:10	以上です。
03:24:14	はい。ちょっとそこは疑いとが同じ理解で明確になるようにしてもらえればなと思います。
03:24:22	これ以外の部分はあまり会合でも何か言ってるものではないので、
03:24:28	ちょっとそこら辺は適正化いただいて、
03:24:32	おんなじタイミング、さすがに今日この日付で、今日出てくるっちゃうものではないと思うので、これも別に何かの折でも結構ですし、
03:24:42	資料提出資料受領という形で受け取り面談、
03:24:46	受け取り方という形で処理もできますので、はい。
03:24:53	そういうことですね
03:25:01	そうですね面談なり、受け取り簿なりちょっとそういう形であります。場合によって何かあれば、本当に改めて次のヒアリングの時でも聞きますけど、一応今のところで、の意図は確認できました。
03:25:14	うん。
03:25:18	ええ。
03:25:19	そしたら、今日の資料、
03:25:23	修正した内容、本当にこれはここへ、
03:25:27	だから、それを入れてもらって、
03:25:29	公開した上で、
03:25:32	うん。
03:25:37	ないですねはい。
03:25:39	じゃあ、
03:25:44	そんなに時間かかんないっすね多分ここ今日水曜日だから、金曜日でもできると、ぐらいに受け取りという形でできると思ってるので、
03:25:56	違う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:26:03	一応これ、12ページのどこに書こうと思ってそれと上の白い丸の原因分析結果に委託先が立案の後にこれらを、その是正措置支援業務かな。
03:26:15	全般に、
03:26:17	女性業務全般に適用というふうが一番上に書くのか、何か是正措置ごとに、
03:26:23	どこに書こうとしてるのかをイメージしちゃいますよ。
03:26:27	そうです13ページの、今回修正させていただいた、いただいたのは是正措置①②の項目にそれぞれ入れておりますけども、
03:26:37	それと平仄を合わせるようなやり方をするのであれば、該当するところに入れるのかなとちょっと今思っておりますけども、
03:26:48	それはちょっと、
03:26:52	ただ、全体にかかる話ではありますのでそうですね、ちょっと①から④、ちょっとそれ個別に書くっていうよりはもう、この全体にかかりますっていうのを、
03:27:03	どっかちょっと運用がファイルネーミングルール。うん。
03:27:07	④はだからもともとファイルネーミングルールだから、何か是正措置に限らず、実はもっと根っこのところからそうですね。書いているんですよ委託先のところの部分には何か一覧表にガサッとかけてしまってもいいのかもしれないんですけど、
03:27:21	9電の場合は、多分是正措置の③はさておき、④は、
03:27:26	何ていうか、当然全体的なものなのか、ちょっとそこら辺は最後わかりました本来筋としては、
03:27:33	委託先の方もぜひ措置①、②あたりのところにつけたいんだけど、ちょっとどこにどこが包含関係になるのかはわかりますじゃ、そこはちょっと最後、
03:27:43	①②のところを書くか、全体に書くかっていうそのどちらかです。少なくとも①②はきちんとかかるといえることですかね。わかりました。
03:27:53	じゃあちょっとそこは最後、今伺った内容がきちんと反映されてるかっていうところで再確認しますんで、お願いします。はい。
03:28:01	はい。
03:28:03	さて、
03:28:05	はい、そうするとですねすみませんマースン玄海中心であったんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:28:11	ヒアリングとして一応一通り聞いたということで、まずですね、玄海については、一応御社のスケジュール上もあります我々も今2回目のヒアリングということで、
03:28:25	できるだけそのら、基本来週28日の
03:28:29	介護法にかける案件かなというふうに考えています。なので、
03:28:35	ソースルートですね。
03:28:37	少なくとも、
03:28:41	今日水曜日ですけど、
03:28:43	新しく多分何回便数を作ったりということではないと思うんですけど、
03:28:48	文章の書き方とかロジックの組み方、そこら辺は手を入れるんだと思うんですけど、これきちんと28日に間に合わせるのだとすると、
03:28:58	どうですかねえ。
03:29:00	紙の印刷物はもちろん月曜日で結構ですけど、金曜日には出てきますか。
03:29:07	そこら辺、28日にというかできるのかどうか。
03:29:26	九州電力の今林です。今回の原価の修正の中で大きな方針、モデルの設定から妥当性の確認のところを、ちょっと少し見直していただきたいというお話をさせていただきましたけども、
03:29:40	その大きな方針のところの見直しはそんな時間かかるものではないんですけどもそれに伴いましてその後段の、いわゆる海老戎といいますか、瀬下いろんなたの、資料のちょっと並び替えといいますか。
03:29:55	とあとその記載のしぶりと言ったところを、
03:29:59	ちょっと細かく確認していくのには少し時間かかるかなということを思っています。
03:30:04	ちょっとその金曜日の段階でその綺麗に、
03:30:09	構成が公正化といいますかもう文言まで綺麗に整った形で出せるかどうかというところはちょっと作業やってみながらというところあるかなと思いますけれども、大方の修正は、ちょっと金曜日中にデータでお出しできるように準備できればなと思っています。
03:30:27	我々、大体1週間もぐらいに開催案件っていう形では、当然ながら出しているのですが、一応御社としては、
03:30:37	28日の案件でかけれると。
03:30:40	ということで、準備ができるということでよろしいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:30:45	はい。もう当然、他の国会提出時間とかそんな話は、別に準備できたら というか、またいつも通りですね、開催なりのタイミングでお知らせし ます。
03:30:56	はい。
03:30:58	よろしいですか。じゃあちょっと超過してしまいましたけども、ヒアリ ングとしては、
03:31:03	以上でなんで原価優先なので、あえて仙台の時期については聞きません でしたけど、はい。
03:31:10	仙台の方はまた、準備できた段階でまた次のヒアリング資料提出でヒア リングを申し込んでくださいと。以上でヒアリングを終了します。お疲 れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



時間	自動文字起こし結果
00:00:04	はい、規制庁地震津波の鈴木です。2班になりましたので、玄海センターの標準とスペクトルを考慮した地震動評価の地下構造モデルの設定。
00:00:15	これのヒアリングを始めます。いう資料としては三つありまして17日付で玄海の地下構造モデルの設定。
00:00:25	これが2回目のヒアリングですかね、資料で、あとは仙台の方がこちらが2月10日の会合のコメント回答方針ということで、
00:00:35	これが1回目ということで資料もらってます。あと、前回の品証の会合のコメント回答。
00:00:44	この一部の修正ですね、これについてこれは今日付で、今日資料が先ほど紙でいただきましたんで、これということで、
00:00:55	今順番としてはですね、ちょっと時間の限り今申し上げた順で、説明確認という、受けて確認するという形で進めます。ではですね、まず、玄海伊井の地下構造モデルの設定についてということでPTC023ですかね。
00:01:10	この説明を九州電力からお願いします。
00:01:13	はい。九州電力の本村でございます。本日はよろしくお願いします。先ほどありました通り玄海仙台品証の神でご説明させていただきます。
00:01:24	まず玄海の標準応答スペクトルを考慮した評価における地下構造モデルの設定について、TPG023を用いてご説明いたします。
00:01:36	1ページ、2ページ目に、目次を示しておりますが、先週のヒアリングからの変更点についてご説明させていただきます。
00:01:44	主なところとしまして2ポツ、
00:01:49	地下構造モデルの設定の概要、それと3.1の設定方針、それと3.2、2(1) (2) ですね。
00:01:58	こちらの最深部地震検診の地盤減衰の検討設定。
00:02:02	それと、3.4の地下構造モデルの妥当性確認の(1) (2)の応答スペクトルによる確認と、PS検層モデルによる確認。
00:02:15	そして最後に、3.5になりますけども、標準応答スペクトル用モデルの設定のところをご説明させていただきます。
00:02:24	4ページ、5ページに、コメントリストを示しております。コメント自体は変更ございませんが、ナンバー13の対応状況のところですね。
00:02:36	鉛直方向の整合性については、71ページから85ページ、地盤減衰の設定については、95ページから96ページというところで、修正をさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:48	続いてですね、6 ページなりますけども、今後の審査スケジュールについてお示ししております。
00:02:57	地盤減衰のところにつきましては4月11日に、今回の資料を提出しますのでそれを追記させていただきます。
00:03:04	また、設定した地下構造モデルの妥当性地盤減衰のところ、その欄がありますけども、
00:03:13	後程ご説明しますけども、前回ヒアリングではブロックインバージョン結果による妥当性確認を記載しておりましたが、追加調査によるPS検層結果による伝達関数による妥当性確認に変更しましたので、
00:03:27	修正させていただきます。
00:03:30	続いて7ページ目からがですね、地下構造モデルの設定の概要ということで、新たに追加したものになります。
00:03:41	8ページですけども、まず、地下構造モデルの位置付けということで、今回の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における、
00:03:51	地下構造モデルは、解放基盤表面から地震基盤相当名を含む層まで設定し、短周期体から長周期体にあたる地震動評価に適用、
00:04:01	なお書きで、超過の地下構造モデルは、
00:04:06	解放基盤表面から地震基盤以深までの、
00:04:10	設定をして、長周期の地震動評価に適用というのを記載しております。
00:04:16	次に、その地下構造モデルの設定ということで、市岡震災以降、
00:04:23	の鉛直アレイ、EL-90メートルまでになりますが、地震観測記録、
00:04:28	それとEL-200メートルのボーリング孔内の減衰測定結果の観測事実に基づき、精度信頼性を向上させた評価を実施し、地下構造モデルを設定と。
00:04:40	いうふうに記載させていただきます。
00:04:43	速度構造につきましては、
00:04:45	解放基盤表面からEL-200メートルの範囲について、試掘坑内弾性は試験結果、それとPS検層結果をもとに設定。
00:04:55	結果的に評価モデルの設定値等々をちょっと、
00:04:59	L-200メートル以深については、地震調査委員会2007をもとに設定、基本モデルの設定値と同値としてさせていただきます。
00:05:10	地盤減衰、Q値につきましては、解放基盤表面からEL-200メートルの範囲について、木曽鍛冶震災以降に取得した鉛直アレイの地震観測記録を用いた伝達関数、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:23	地震は干渉法による検討や、ボーリング孔内減衰測定結果の観測事実を基に、 $Q=12.5$ と設定。
00:05:33	EL-200 メーター以深につきましては慣用値をもとに設定しております、記憶モデルと同時としております。
00:05:41	9 ページにつきましては、設定した地下構造モデルの値、それと設定方法について記載してございます。
00:05:50	次の 10 ページになりますけれども、こちら、地下構造モデルの妥当性確認と、
00:05:58	いうことで、
00:05:59	鉛直アレイの地震観測記録の応答スペクトルによる確認。
00:06:04	図のサンプルとしましては、2016 年熊本地震本震の確認結果を示しております。
00:06:12	それと、後程ご説明しますが、ボーリング孔内減衰測定結果を用いた伝達関数による確認結果について、下の方に図で示してございます。
00:06:24	これらを踏まえまして、
00:06:27	設定した地下構造モデルと観測事実を比較した結果、
00:06:32	設定した地下構造モデルが観測事実と同等もしくは上回るということで妥当性を確認しております。
00:06:40	11 ページ、概要の最後になりますけれども、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルということで、
00:06:50	標準応答スペクトルを考慮した地震動にさらに余裕を持たせることで、安全裕度の向上を図るため地下構造モデルの EL-90 メーターから、
00:07:00	EL-200 メーターまでの範囲の地盤減衰について、 $Q=12.5$ から 16.7 に設定してございます。地下構造モデルの
00:07:13	概要については以上になります。
00:07:17	12 ページ以降が、地下構造モデルの設定になります。
00:07:22	主な変更点としましては、15 ページからになります。
00:07:30	後程ご説明しますけれども、前回ヒアリングでは、ブロックインバージョンに関する記載をしてございましたが、それを削除しまして、
00:07:39	ボーリング孔内減衰測定のところ、の PS 検層モデルによる妥当性確認を追記してございます。
00:07:48	続いて 16 ページの左下の方になりますけれども、設定した地下構造モデルにつきまして地震観測記録や、ボーリング孔内減衰測定結果等により、妥当性を確認と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:02	いうものを追記してございます。
00:08:06	続いてですね、ちょっと飛びますけども、22ページになります。
00:08:15	上から二つ目のポツのブロックインバージョンに関するコメント、これを改めて検討しまして、妥当性確認の方針を見直し、
00:08:27	さらに全体の論理構成を再構築しているということでございます。
00:08:34	(1)の解放基盤表面からの
00:08:38	から、EL-90メーターについての内容変わりませんが、(2)解放基盤表面からEL-200メーターの範囲の地下構造モデルにつきまして、
00:08:50	PS検層モデルとの比較による確認により、設定した地下構造モデルの
00:08:55	理論伝達関数が、ボーリング孔内、
00:09:00	減衰測定結果等を踏まえたPS検層モデルによる理論伝達関数と同等もしくは上回ることを確認することとしてございます。
00:09:10	なお、一番下に記載しておりますけども、
00:09:14	Aブロックインバージョン結果を用いた地震版による確認については、より一層の説明性向上を目的として、深部を含む全体を見ても、全部で確認した地下構造モデルの妥当性に矛盾がないことを、
00:09:27	参考として確認することとし、
00:09:30	参考の⑤に記載することとしてございます。
00:09:35	次に、23ページになります。
00:09:39	こちら、地下構造モデルの検討設定、それと、妥当性確認の流れについてですが、変更点としましては、左の方になりますけど真ん中辺りですね。
00:09:52	最深部地震計の地盤減衰の検討設定のところ、
00:09:56	前は、土佐ほかの経験的地盤増幅率に関する検討を入れておりましたが、土佐他につきましては説明性向上の参考扱いと、
00:10:06	いうことにしましたので、その記載を削除しまして、速度層断面による確認に基づいて、
00:10:13	最深部地震計品と同じ92.5と設定したことだけをですね、記載しているところでございます。
00:10:23	それと、右下の地下構造モデルの
00:10:27	妥当性のところですね。
00:10:30	ええ。
00:10:31	22ページでご説明した通り、ブロックインバージョンによる確認を削除しまして、解放基盤表面からEL-200メーターの範囲についての

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:42	PS 検層モデルによる妥当性確認の内容について記載をしております。
00:10:49	次に、24 ページになりますけども、こちらの表のところ、地盤減衰のところ、
00:10:56	なりますけどこれも真ん中の欄ですが、最深部地震計新の地盤減衰の設定では、速度層断面による検討のみになりましたので、速度層断面による検討結果に基づき設定と、修正してございます。
00:11:12	続いてですけども、少し飛びます。56 ページになります。
00:11:24	先ほどの方針変更に伴いまして、最深部地震計自身の地盤減衰の設定については、経験的地盤増幅率による検討削除し、速度層断面による検討のみになりましたので、
00:11:40	その記載を修正してございます。
00:11:43	速度層断面によると、
00:11:47	解放基盤表面から EL-200 メーターまでの範囲は、概ね同じ速度層、57 ページから 50、59 ページに記載してありますけども、これによりますと、
00:11:59	②③速度層に分類されてますので、最深部地震計 1000 と以深の速度に、
00:12:06	大きな差異が見られないということを確認した旨、記載してございます。
00:12:11	これを踏まえまして、60 ページ、
00:12:15	地盤減衰の設定ということで、速度層断面による検討を踏まえ、最深部地震計自身の Q 値は、最深部地震計以前と同じ。
00:12:25	12.5 と。
00:12:27	設定しております。
00:12:30	それとですね最深部地震計自身の地盤減衰のまとめというところで、
00:12:42	こちらのですね一つ目の四角につきましても、速度層断面に基づく検討から、最深部地震計以浅と以深で速度に大きな差異が見られないと。
00:12:52	いうところで、92.5 と設定したものを規制し記載してございます。
00:13:01	続いて 71 ページ。
00:13:05	になります。
00:13:06	71 ページからが、地下構造モデルの妥当性確認についてになります。
00:13:12	方針見直しに伴いまして、表の一番下ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:17	前回ブロックインバージョン結果による確認と、記載してございましたが、PS 検層モデルによる確認ということで設定した地下構造モデルによる理論伝達関数が、
00:13:29	PS 検層モデルによる理論伝達関数と同等もしくは上回ることを確認すると。
00:13:35	してございます。
00:13:38	次にですね、またちょっと飛びまして、83 ページに、
00:13:45	なります。
00:13:47	象牙方向に関する観測事実と、
00:13:52	の整合性に係る検討というところですか。前回のヒアリング資料では、記載がですね遠回しでちょっとわかりにくいというところもありましたので、
00:14:04	収集、修正してございます。
00:14:07	前ページまでの応答スペクトルの比較では、⑬の地震等で上下方向で 0.2 から 0.4 秒付近に藤芳賀。
00:14:17	局所的に観測記録を下回るものがありますので、
00:14:22	下の図のように、図に示しておりますけども、
00:14:26	観測記録と、設定した地下構造モデルの伝達関数を比較した結果、この周期体、周波数でいうと、2.5Hz から 5Hz の、
00:14:36	青ハッチのところでは、両者は整合していること。
00:14:40	それと、84 ページ以降に示しておりますが、最深部地震計の応答スペクトルにも、
00:14:47	解放基盤表面相当で見られたスペクトル形状の凹凸が見られることを確認しまして、この要因につきましては、EL-90 メーター以深にあると 考え、
00:15:00	解放基盤表面から EL-90 メーターの地下構造モデルの妥当性に影響はないというふうに判断してございます。
00:15:11	86 ページからが、(2) として、PS 検層モデルとの比較による確認ということで、
00:15:20	このページ前回は補足に記載していたものを、こちらの方に記載してございます。
00:15:28	87 ページに PS 検層による速度、AVSVp が設定した地下構造モデルの速度と概ね整合していること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:39	それと Q 値につきましては、12.5 を下回ると、いうことを記載してございます。
00:15:48	次に 88 ページでは、先ほど言いました理論伝達関数の比較をして、PS 検層モデルによる理論伝達関数に対して同等もしくは上回ることを確認しております。
00:16:03	なお、一部の周期体の特徴的なピークの影響により、PS 検層モデルより下回っておりますけれども、これは計算の境界条件、
00:16:14	によるものと考えておりまして、89 ページから、
00:16:18	93 ページに、
00:16:21	その根拠を示しているところでございます。
00:16:25	これらを踏まえまして 94 ページに、地下構造モデルの妥当性確認のまとめを記載しておりますが、二つ目の四角になります。
00:16:36	先ほどご説明しました PS 検層モデルとの比較による確認結果について、記載してございます。
00:16:46	95 ページからが標準応答スペクトル用モデルの設定ということで、95 ページの
00:16:56	につきましては先ほどの経験的地盤増幅率の記載を削除してございます。
00:17:05	で 96 ページ、標準応答スペクトルをモデルの設定というところ。
00:17:10	なりますけれども、二つ目のポチで、
00:17:14	その小名ですね、ここで地盤減衰の見直しにより、地震動レベルは最大加速度で 10 から 20 ガル程度、増大すると想定と。
00:17:25	いう旨、記載をしております。
00:17:29	続いて 97 ページ 98 ページが、全体のまとめのページになりますけれども、97 ページの下から二つ目のマターになります。
00:17:40	こちらについては経験的地盤増幅率の記載の削除。それと、98 ページにつきましては、
00:17:50	ブロックインバージョン結果による確認を削除しまして、PS 検層モデル、
00:17:55	との比較による確認について記載してございます。
00:18:01	ここまですべて本編になりまして、あとは補足と参考になりますけれども、前回は先ほどご説明しました PS 検層モデルのところや、ブロックインバージョン結果による確認について補足資料という形で記載してございましたが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:17	先ほどのPS 検層モデルについては本件の方に入れまして、ブロックバージョンの一連の資料については、丸ごとですね、参考の方に移動してございます。
00:18:32	以上で、限界の説明を終わります。
00:18:40	はい。説明ありがとうございました。ともに回目のヒアリングということなんでちょっと前回のヒアリングからの差分部分中心で、
00:18:49	確認をしていきますけれども、まず、概要が出されたんで以降は、全体が繰り下げということで、
00:19:00	その概要が、
00:19:04	8 ページ目からですかね。
00:19:08	て、
00:19:09	一応位置付けこれは穴井から説明しているもので、
00:19:13	陸子にポツ一つ目の次の代案ですが四角かな、四角で、これが、
00:19:18	今回のところで追加されたデータは何ですかというものを
00:19:23	書かれていますと。
00:19:25	ちょっとこれ後々も出てくるんで、ちょっと済みなんですけど、80 地震計 16 地震観測記録、
00:19:34	と。
00:19:36	いうものと、何か結局データは取ってるんだけど、使ってるものって、すそ 15 限界の 19 かな。
00:19:46	中堅指針ですよね。ちょっとここの間の関係がよくわからないんですけど。
00:19:53	ここでは何かその 156 ありますと言ってても、何か説明の中身に入っていくと、もう 19 地震からになってくるんですけど、
00:20:02	ここどういう証明になるのかな頑張ってデータ取りましたっていうのは多分 16 ページとかその経緯を、14 ページかな、これは経緯は書いてあって、
00:20:13	これまで頑張って取った集めた例だと、結局使っているものは何なんですかっていうところで、
00:20:22	ちょっとそこが少し話が飛んでしまうんですよね。
00:20:28	これわあ、
00:20:29	うーん。
00:20:34	多分これ 80 地震のうち、何かしらのルールがあって、残るものがだから 20 なんですよね結句使うものが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:20:43	ちょっとそこら辺の関係で、
00:20:45	是々非々で今の時点ですぐではないんですけども、
00:20:50	どこかでその工具明確にならんですかねというのが、
00:20:55	ちょっと注文ですね。
00:20:56	その上で、ソクハウ構造とQ値ということで書いてあるんですけど、何か許可の時とかあって、三つのはあったと思うんですけど、高塚構造モデルって密度も書いてあると思うんですけど、
00:21:09	この辺って、
00:21:11	当然、他社の申請書とか、他のところを見てみると、
00:21:16	速度層及び密度はこういう根拠で設定するとか場合によっては少し違うのかもしれないんですけど、
00:21:23	ちょっと設定根拠の部分ですね密度に妥当性の説明もへったくれもないし速度構造も値がそうなんだから、そうだという以上のものでもないんですけど、
00:21:33	ちょっと後の、
00:21:34	設定する最後のものを見ていくと、
00:21:38	密度、
00:21:39	速度層、
00:21:40	木内って出てくるので、
00:21:43	当然許可のものから書いてないし、根拠データも変わってないから変わってないんだと思うんですけど、ちょっとそこもわかるように書いてもらえますかねと、多分そこが、
00:21:53	最後申請内容とかそういうところも含めて、
00:21:57	書かれるべきところに、何か密度の根拠が、どこにもありませんっていうか、表を言う申請内容になるとちょっと困るんで、
00:22:05	ちょっとそこら辺は、
00:22:09	書いてくださいと、多分これ参考1の方に書いてある内容と同じ(1)じゃないか三国休暇。
00:22:16	9かな。
00:22:17	よく地下構造モデルのところが多分書いてないとおんなじ。
00:22:20	それをかいつまんで書くことになるだけですよね。多分これ、
00:22:24	何だ岩石、試験結果は、多分そういうことなんだと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:32	ということでちょっとそこを8ページとか、或いはその9ページのところに、多分速度構造等を分ける必要はないのかもしれないんですけど、同じ枠に、
00:22:42	速度構造及び密度の設定とかって書いて、
00:22:46	これですかね設定方法のところが、
00:22:49	この辺に岩石試験とかなんか多分書くんですかね、ちょっとわかりません。
00:22:56	はい。
00:22:58	で、
00:23:02	次がですね10ページは後で説明する、その妥当性確認のところを、それぞれ90メートルまでと、200、
00:23:13	メートルまでかな、これを変えたと、ということで、あと11ページの、
00:23:19	これ前回の会合でもあったんですけどちょっとこう、
00:23:22	何か、さらに余裕を持たせて裕度向上を図るためと書いてあるんですけど、
00:23:28	確かいわゆる観測データ地震観測記録がとれてる取れてないの差だったり、これをこの後多分、中身を確認していくと、いろんな理由があるんだと思うんですけどね。
00:23:40	ちょっとそこら辺は、8クリアに多分書いておいてもらいたいんですよ。
00:23:45	ちょっとそこら辺具体的にどういう趣旨でこういう、なぜ、さらに余裕を持たせることにしたのかみたいな話は、ちょっと後ろの方確認していた中で、どういう考えなのかっていうのは、
00:23:58	おこうと思うんですけど。
00:24:03	ちょっとそこら辺、1個わからないと、何か、9ページのものなのか、11ページがその最後どっちが、
00:24:09	どういう論理で性の性となるんですね、標準を通すべき不良の地下構造モデルになるのかがちょっとわからなくなるので、
00:24:19	すいませんちょっと概要部分今回足されたんで、この辺で何か今の段階で気になるものがあれば、他の方、
00:24:28	なければ後ろの方の3ポツ以降に行きますけど、
00:24:31	大丈夫そうですかね進んで、
00:24:41	はい規制庁佐口ですけども。
00:24:44	ちょっとやっぱり概要を見て、全体を、資料全体を見ると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:49	うん、ちょっとどうなのかなと思うところがあってやっぱり確認をさせていただきたいんですけど。うん。
00:24:58	まず 8 ページですね。
00:25:00	8 ページで、
00:25:02	一番下の地盤減衰の Q 値のところは、こう書かれている通りで、
00:25:08	マイナス 200 メーターまでっていうのを、
00:25:12	継続的に取得している鉛直アレイの地震観測記録、これは伝達関数だったり地震が干渉法。
00:25:21	いろいろ検討されてるんですけど、こういったものですか、追加で、今回のその審査の中で、そういった中での、
00:25:33	追加でボーリング孔内で、
00:25:35	減衰測定だったりとか、そういうものをもとに、
00:25:40	設定と、
00:25:43	ということが書かれている一方で、9 ページにいくと、
00:25:47	実は、
00:25:49	これ -90 メーターから 200 メーターで、
00:25:54	設定方法としては、速度層断面、
00:25:58	そう設定をしていて、あくまでも今回の追加の、
00:26:03	PS 検層を、
00:26:06	とか、そういったハーカー PS 検層、
00:26:10	を用いた、
00:26:11	減衰なんかは、あくまでもこれは妥当性の確認のためのものであって、
00:26:18	いわゆる設定根拠ではないみたいな書き方がされてるんですけど、
00:26:23	実際に御社どう考えているのか、あくまでも、
00:26:30	設定の根拠となるものは、結局地震観測記録、
00:26:37	等、
00:26:38	速度断面だけ。
00:26:40	でよろしいのかどうかちょっと教えてください。
00:26:45	はい。九州電力の本村でございます。我々としましては、速度層断面によって設定してボーリング孔内の減衰とかで、
00:26:57	妥当性確認というふうに本編の資料とか、記載してございますけども、ちょっと 8 ページの記載。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:06	とですね比べてちょっと違うところがあるかもしれませんが、我々としてはこの8ページに書いてるところっていうところは、広義の設定といえますか、設定と、妥当性確認まで含めたところで、
00:27:19	キュウチョウ設定してるというところで考えておりました、大きく言うと、妥当性確認までをもって、9を12.5にしたというところがありますので8ページについてはちょっとこういうふうな、
00:27:35	記載をしているというところが、実際のところでございます。
00:27:41	はい規制庁佐口です。もうちょっと端的に言いますと、私の確認というのは、8ページから9ページか。どちらが御社の考えとして性なんですかという、
00:27:53	それをちょっと確認させていただきたかったですけど。
00:27:58	九州電力の明石でございます。当社としての考え方の整理としては9ページ。
00:28:05	のやり方でこれ後段の本編の方の資料でも、そういう流れで整理しております。何で8ページこういう書き方したかと。
00:28:16	いうことについては、今後ちょっとちょっと経営、この場でべらべらしゃべる話じゃないかもしれませんが、今後、申請書の補正をやっていくにあたって、
00:28:26	どういうまとめた書き方になるかなど。一つはもうこのもう設定をこうしました、だけを書くという考え方もあるんですけども設定してその妥当性をこういうもので確認をしてるそれをまとめて、
00:28:40	先ほど本村の講義と言いましたけども大きな設定の考え方としてこんなものとかんなものこんなものを見て、設定してるんですよと、並べて書くと。
00:28:52	いうやり方もあるんかなと思って、すいませんその辺は、正直言うとまだどういうふうに補正書の中で書くかというのを腹決めてきてるわけではありませんけども、
00:29:04	ネタを並べるという観点に立つと8ページのような書き方になるのかなど、いうふうに考えたというものでございます。
00:29:13	はい。規制庁佐口です一応考え方聞きましたけど、基本的に、
00:29:19	これ、
00:29:20	始まったぐらいですね審査始まったぐらいで、ちょっと経ってからいくつかコメン等、会合でも差し上げていますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:29	今の、例えば9ページみたいな書き方だと、確認として、されてるのは別にそれは構いませんけど、あくまでも設定の根拠ではないという判断であればですね、
00:29:41	それは当然ながら、新しいデータが何もなくて、当然ながら、使っているのは、もうこれは、速度層断面というのは、もう既許可における、
00:29:51	もうすでにあったものですので、
00:29:53	そうした場合に、じゃあ変える要素が全くありませんねという多分話にもなるかもしれないんですけど、そういうところも含めて、少なくとも私は、
00:30:04	今回追加でされた、こういったボーリングで測定されたQ値、これも設定の十分な根拠とは思ってるんですけど今のところ、
00:30:15	御社はそうではないと。
00:30:17	いうお答えだったかなと。
00:30:19	今認識したんですけど本当にそれでよろしいですか。
00:30:29	九州電力明石でございます今のご指摘、前段でお話のあった確かに、
00:30:35	PS 検層結果をもとに設計だけだとこれ新しいデータではなくて既許可の時にもあったものですよねってそれはもうその通りでございます。
00:30:45	下、結果のという言い方は適切ではありませんけども、もともとここに対しテーマ設定のものとして例のブロックインバージョンを基にした、
00:30:56	根拠づけもした上で、それが妥当なのっていうのを、このボーリングコアでさらに追加的に確認をしてたんですけどもそこからブロックインバージョンがいなくなったおかげですいません丸栄、
00:31:11	よく見るとという言い方は適切ではありませんけども、
00:31:14	既許可のときにあった話じゃないに確かになってしまってると思います。
00:31:22	香田本編の方の整理も先ほど私がお答えした整理にはなってございますけどもそこは、まさに室我々の方針立て通り、
00:31:32	構成の問題だと思いますので、
00:31:37	それでちょっとスパッと答えられてませんけども墓石の趣旨は理解しましたのでちょっと頭の整理をいたします。
00:31:44	はい。
00:31:46	私の今確認した趣旨っていうのはやはり明石さんお答えになっていた、全体通しての論理構成ですね。それから、当然ながら、この地下構造モデル設定に当たる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:59	根拠は何だと、いうところをですねやっぱり明確にさせていただきたいという主旨がありましたので、そういったある意味今回がどうなるかは別として、
00:32:11	一応今回この地下構造モデルの設定についての
00:32:16	総まとめ、最終結果という資料の多分位置付けだと思いますので、そういったこともですね少し考慮していただいて、資料全体を通しての論理構成だったり、
00:32:29	制定の根拠というのが明確になるようにはさせていただきたいと思えます。
00:32:37	はい九州電力なんかそういうございます承知いたしました。論理構成MAのメーカーか今一度ちょっと再整理、明確化いたします。
00:32:54	はい。
00:32:55	今長南が200メートルまでのところ話が出た、これ、前回のヒアリングでもいいような気がするんですけど、今だから速度構造のお話持ってきてるんですけど、
00:33:08	何か、既許可の時とかの説明だと、
00:33:13	はい。すみません、本編の方は何かありますか補足。
00:33:25	あれ、手を挙げておられる。
00:33:28	99. 本店の方は、
00:33:34	すみません聞こえ
00:33:36	はいはい。
00:33:53	超えております。
00:33:55	甲斐久賀。
00:33:58	いかがでしょうか。
00:34:02	ほとんど途切れて聞こえてないんですけど。
00:34:20	けれども、
00:34:21	ちょっと入り直し方よろしいでしょうか。
00:34:37	規制庁佐口です少しこちら側の機器を今設定をして、
00:34:45	ますので、少々お待ちください。
00:34:57	待ってくださいっていう。
00:35:01	日本語。
00:35:42	はい。はい。ちょっとネットの
00:35:45	9人は良くないので。原野。
00:35:50	百瀬ないので、一応、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:35:53	こちらから、
00:35:55	やっぱ入りなおして、
00:35:59	はい。ちょっと本店との接続がいや、ちょっとこの電波の都合上かもしれないんですけど、なのですいません一旦話としては、対面の方のお話進めさせてもらいます。
00:36:11	で、
00:36:14	本来のトラブルを学校によって、いわゆる地質的な面と速度の面と他の順で、かなり水平成層の説明の時も、
00:36:24	この話にもフラン絡んでの説明だと思うんですけど、許可のときの資料を見てみると、一応地質団はほとんど中身として一緒なんだと思うんですけど、何も新しいものはないんですけどね。
00:36:35	地質断面として多分この、
00:36:38	どこだ佐世保層群になるんですかね、東松浦玄武岩のところもっと浅いところなのかな。
00:36:45	やっぱり今日地質断面の説明があって、その中房ねいわゆる、
00:36:51	その褶曲構造もなくてーに多分もうー200メートルもうちょっと深いところまでは少なくとももう地質として、
00:36:59	佐世保層群がずっと続いているっていうのかがあった上でそのあとに、その速度構造の話があってっていうので、何か二つがそのセットになってたような気もするんですけど。
00:37:13	いや、別に何か強い根拠がですね、出されるものではなくて結局機構と一緒になんですけど、
00:37:19	そこら辺ってどう考えてるのかなというのは、
00:37:47	はちょっと、
00:37:54	はい、じゃ、ちょっと言ったん録音止めます。一応、ウェブ会議を一旦立ち上げ直すということで、
00:38:01	短5分ほど中断します。
00:39:09	えっと立派な所、正直な法的なお話をすると、
00:39:14	ぜひヒアリング終わってからの我々の中の議論で、そもそもここ、
00:39:18	浅いところ決定して妥当性確認して、この3年Q値についてですね、200メーターまでまた設定して、妥当性確認して、最後、
00:39:28	妥当性を確認して、この切りになったって、もうそもそも設定のところはこの追加ボーリングだったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:35	境界変更も含めて、それをもとに設定した設計でした。最後に妥当性を、まさに応答スペクトル、
00:39:43	地震観測記録で確認した、もうそういうことだ。
00:39:47	いうふうに我々だったんですが、すみません、それーで資料を再構築するところ、すごい作業なのか。
00:39:56	あるんで、ということで今の形に、
00:40:05	はい。
00:40:26	まさに、今回いろいろちょっと前回のご示唆もあって、概要版を、
00:40:32	整理しながら、我々はその細切れの設定妥当性設定をさせてやってるのか。
00:40:39	どうするって話になって、
00:40:41	もうシンプルにはもう設定して最後に、モデルとしての、
00:40:45	妥当性確認だよな。
00:40:48	ただ、これ、資料2のところちょっと大変なことになる。
00:40:53	というのがすいません、実態。
00:40:55	でした。はい。
00:41:54	後段の本体の資料の方も、 트레이ダーズ様はちょっともう、
00:41:59	力だったらおかしいですけど、
00:42:02	シンプルにっていう頭が我々あるって、あとはちょっと作業と、何も、そこでまた、絞ったっていう水があると。
00:42:09	元も子もなくなります。ちょっとそこの勝負かな。
00:43:13	作業。
00:43:35	作ってる。
00:44:05	ちょっと、極力、まさにちょっとシンプルに、
00:44:08	なるように、
00:44:12	頑張ります。
00:44:14	頑張りますよ、私は頑張ってくれという方ですけど。
00:44:44	今、立ち上げ直しました。今、ウェブ会議の方に、
00:44:50	入っていただきましたけど、聞こえますかね九州電力本店と規制庁の方の、かなり妹さんかの田嶋さんですかね。
00:45:00	それはいかがでしょうか。
00:45:14	しれないんですか。
00:45:17	何かもうちょっと話していただけてますか。
00:45:22	は、テストですと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:45:24	今テスト THAI 接続停止中ではいい。はい。
00:45:28	聞こえますかね。
00:45:29	はい、ありがとうございます。はい。岡嶋さんの方の発言も聞こえてますねはい。基本、
00:45:35	本店はいかがでしょうか。
00:45:40	九州電力本店の米良です。
00:45:45	先ほど sec 前よりは聞こえてる状況ではありますけどちょっと聞いた若干
00:45:51	あとキッツ、
00:45:56	はい、そうでちょっとさっきよりはぶつ切りではないかなと思うんですけど、じゃ、ちょっと一つ、一旦ではこれで再開しますかね先ほどの部分でって、本店の方から補足がありそうだったんですけど、
00:46:12	いかがですか。大丈夫ですかそれとも質問ですかね。
00:46:16	聞こえなかったってことだけですかね。
00:47:08	はい。すいません。中身再開するとして、
00:47:12	概要部分のところは先ほどのちょっとこの設定根拠の部分ですかね設定とかキッツ設定妥当性があったり、ちょっとその部分が、
00:47:23	わかりにくかったですねという話があって、
00:47:27	ねえ。
00:47:29	じゃあその話の、
00:47:31	先としてだから 14 ページからは少しマイナーチェンジが 15 ページかな 16 あたりが、
00:47:37	Φなチェンジということで、
00:47:40	15 ページは、清。
00:47:44	届いていないんですが、
00:47:47	赤じゃない、何か発言されても結果、
00:47:52	今もう 3 ポツの話に、
00:47:56	移って発言をしています。
00:48:00	はい。
00:48:12	メンバーで来てる。
00:48:18	今の田島さんの声はよく聞こえたんですけどもこちらも同じように会議室の声は聞こえないでした。
00:48:58	ちょっと再び中断してますけど、多分画面に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:02	黄色いバーが出ると駄目なのか、今今聞こえます。今、刀禰画面、今、ウェブ会議の画面上に変なエラーメッセージ出てないんで、
00:49:11	今私しゃべった駄目かな。今、また、
00:49:15	エラーが出ないエラーメッセージが出ましたね。
00:50:18	はいすいません再び中断します。
00:50:42	集団してるときに、
00:50:44	そうすると、ちょっとちらっと鈴木さんが言われてたんで、その佐世保から地質的な話も、
00:50:50	の展開からって言われてたのやっぱり申請書の流れ、
00:50:56	イメージされておっしゃってるという。
00:51:10	はい。
00:51:22	はい。
00:51:25	はい。
00:51:53	はい。
00:51:57	そこに対して今回、
00:52:01	新たなデータ、
00:52:04	これだけじゃないんで、
00:52:20	案。
00:52:21	あんまり良いと悪いですが全く考えてもちょっとシンプルに、
00:52:26	まとめてたつもりではあったんです。
00:53:05	はい。
00:53:30	規制庁ですけど聞こえてますか。
00:53:36	九州電力本店から野々村です。今の声は聞こえました。
00:53:40	田嶋です聞こえております。
00:53:47	はい。こちらもよく聞こえました。
00:53:52	ちょっと再開の合図するまでちょっと待ってくださいね。
00:54:13	おっしゃるおっしゃる通り、ここはもう、これとこれとこれと、
00:54:18	再処理したと。
00:54:53	はい。では、再び再開します。
00:54:56	では次3ポツですかね半歩地下構造モデルの設定と、
00:55:02	ということでちょっとまずはこの1516ページですかねこの辺りのところはさっき概要版の方でも話があったんですけど、結局何が新しいデータ年使って、
00:55:14	何を根拠に設定するのかというところですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:19	15 ページは、新たな知見と書いてありますけど、ベースになるのは地震観測記録の蓄積と、あとボーリング孔内の減衰測定。
00:55:31	で、それに紐づいてこの地震は干渉法だとか、Q 値の上限の話だとか、合わせてやってる岩石化の話だとか、
00:55:41	ここはそういう話なんだろうとは、
00:55:44	思いますけど。
00:55:46	16 ページわあ、ちょっとここも、
00:55:51	入口ですよ。菅当時のか、これ許可の話なんで、そのあと地震観測記録が増加されました。
00:55:59	それを踏まえて、
00:56:01	地下構造モデルを設定しました。速度は一緒です Q 値はとかってこの話 がですね、何かさっきの冒頭、概要のところの流れと、
00:56:13	こっちを見ると、あくまでその地震観測記録の増加。
00:56:18	これまあなんか何となく工事系列で話の物語を組んでいるからこうな ってるのかもしれないんですけど、
00:56:24	あまりこうし、当時申請許可以降、こういう努力をしてみましたみたいな 話よりは、ここはもう何をもとにっていう概要版と対応する形にならん のですかねという、
00:56:37	ことなんですけど。
00:56:45	ちょっとこの、少しこの 1516 ですかね、これの概要版のさっき言っ た、何を、何が獲られたんで何を使って、何を使って、
00:56:54	その新しいものと当然許可から変わらない根拠とあるはずなんで、ちょ っとそこ話の筋がですね、豊漁にしてもらいたい。
00:57:04	のですよなんかこう、冒頭の概要と、16 ページを見比べて、ってこうで すね、
00:57:11	眉間にしわが寄るような感じになっちゃってるので、そこら辺は何とか 工夫なんですかね。
00:57:17	はい。九州電力の明石でございます。ここももう正直別実態を申し上げ ると、12 ページ以降の本体の説明があって、
00:57:28	それを全体総ざらいして概要版を作る等で 8 ページからになってるんで すけどそこから改めて振り替えると、総ざらいしてまとめたやつと、ま さに 16 ページ時系列で説明してた流れ等がも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:43	整合しなくなってしまうと思いますので、ここはもう最終的にもう概要軸にしてシンプルに、全体の論理構成を綺麗に整理することだと。
00:57:54	思いますので、ちょっとそこ不整合は解消させながら、またあまり後手後手にならないようにちょっとシンプルに整理はいたします。
00:58:08	はい規制庁佐口です。きちんと整理をいただくということなんで、
00:58:15	言わずもがなというか、あくまでも、
00:58:19	16 ページって、これ、
00:58:22	最新知見ってこう随所に出てきて特にその標準応答スペクトルモデルっていうのは、観測記録と最新の知見って、
00:58:31	いう話であって、少なくともこれまでのご説明だと最新の知見ってじゃあなんだっていうと、地震は干渉法等クロックインバージョンなんですよ。
00:58:40	当然ながら、ブロックインバージョンというのはもう基本的にこれ根拠じゃなくて、参考程度の、最終的に、
00:58:51	確認をする。
00:58:54	ものであるので、そうすると今 16 ページっていうのは、
00:58:58	マイナス 90 メーターより下がすっぱり抜けちゃってるんですよ。
00:59:03	結局観測記録と、
00:59:06	観測記録と最新知見でも、干渉法だけなので、結局、地震観測局ある -90 メーターより上のことだけしかこのページでは言えなくてですね。
00:59:16	そうすると最後の標準応答スペクトルモデルっていうのは、マイナス 90 メーターより下の、
00:59:22	ことが実はここ今抜けてる状態なので、そうそういうことも含めてですね、もう 1 回整理をしていただければと思いますのでよろしく願います。
00:59:43	大丈夫すか。
00:59:44	わかりました。多分後から出された PS 検層の多少時系列で書いてあるから書いてないんだと思うんですよ。これ今の 16 ページの、
00:59:52	はい。はい。
00:59:53	本村です。今の議論を踏まえてちょっともう一度整理したいと思いますすいません。
01:00:05	はい。
01:00:06	じゃあ、よろしく願います。で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:09	17 ページはこれ 19 地震の話なんて、あとは、
01:00:16	18 ページは、
01:00:19	コラム特に川名 1089、この辺からは変わらなくて 22 ページが、
01:00:27	先ほど言ったように、金行整理論理構成を整理したんで、変わりましたと。
01:00:42	はい。
01:00:46	江藤九州電力中瀬ございますちょっと途中で口挟んで申し訳ございません。そもそもこの 212223、これは前回お話してたものを、こういうご指摘で我々頭の整理をして、
01:01:00	23 ページにしました。まさにちょっと時系列での整理になってるんですけども、先ほどの 16 ページからも同様、
01:01:12	要はもう時系列の説明これは何か、どこか一補足的にあってもいいのかもしれないけども結局まとめ資料として丹担当。
01:01:21	説明できるような形にしなきゃいけないのかなというふうに思ってますので、
01:01:27	例えばこの 23 ページのこの右左の縦の流れ、これも先ほど私が申し上げた、設定して妥当性確認してて細かいこう仕分けになってますので、この 1 括りで、
01:01:40	シンプルにしていく整理のし直しも必要ですし、
01:01:43	ちょっとここは、もう時系列の話はどっかちょっと補足してるところに置いといて、結果やってる流れはこうですということをちょっとシンプルにご説明できるように、
01:01:57	ちょっと整理をいたします。はい。
01:02:01	はい。ちょっとここら辺は少し構成シンプルに変えるということですよ。はい。
01:02:07	わかりました。その際にですね、ちょっと例えば 22 ページだと、ここなお書きですね、
01:02:16	ブロックインバージョンの扱いがもちろん出てきていて、
01:02:20	ちょっとどういう形で各館も工夫もあると思うんですけど、結構こういうふうに見ていくとブロックインバージョンの位置付けが今変わった結果もあってですね。
01:02:31	なんか参考資料までめくり始めると、
01:02:33	何か何か出てくるなど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:02:36	何かやってるなっていうのが初めてわかるようになっていて、もちろんその設定の根拠、になるもの等の違いとか差分がごちゃ混ぜになっちゃうとそれは困るんですけど、
01:02:48	何か説明性の向上でこれを使ってますってというのは、どっかにその理は
01:02:54	した方がいいのかなと。
01:02:56	でもあって、根拠として使ってるっていうふうに誤解される混同するような書き方は困るんですけど。
01:03:03	何か突然こう最後の最後にちなみとこかって、こう書いてですね、参考の方は確かにめくっていくと唐突に出てくるみたいな話になると、
01:03:12	これってこの資料って、何か必要なか必要じゃないんだかよくわからなくなってしまうので、
01:03:18	もう何かバーンと何か、さらなる説明性の向上だったら説明性の向上と
01:03:24	区切ってですね、その設定の設定いわゆる
01:03:28	設定妥当性確認の意味での設定ですけど、設定の根拠はこれですと、説明性の向上としてこんなこともやってますとこかって、
01:03:37	生み出しわけてしまえばいいんだと思うんですけど、
01:03:39	ちょっとそこら辺がないものです。いきなり参考資料も、
01:03:43	ブロックバージョンいっぱい出てくる。
01:03:45	何に使ってるんだらうなっていうところが最後まとめたとき、
01:03:48	いってしまうので、
01:03:50	そこら辺も工夫された方がいいかなと思います
01:03:54	必須のものとして使ってるわけじゃないので、
01:03:56	あんまりそこは細かく注文つけませんけど、何か後に、めくっていくと急に出てくるみたいなものがちらほらあるので、
01:04:11	例えば参考5かな。
01:04:14	であれば、一旦その本のPS検層とかまでやってみて-200メートルまで、
01:04:20	ですよ。速度構造をわかっていて200メートルまでPS検層をもう1回やり直して見てみましょうと言ったら、200メートルまで同じようなQ値があるっちゃうのは、事実確認できましたと言って、
01:04:32	そこで設定はOKなんだけれども、じゃあちょっと別の切り口で、確認確認をしてみて説明性向上できないかなと、やってみたらブロッキーバージョンだと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:43	-260 ぐらいまででしたっけ。
01:04:45	で、何とかどうもよさそうだと、いうことで、何か
01:04:52	不整合になるようなデータでもないし、出てないんで、補強の多分そう いう、
01:04:58	その順位づけというか、どの順番に使うとか、多分そういうことだと思 うんですけど。
01:05:03	何かこう、使い方がよくわからないまま後にちなみにこんなこともだけ 出てくるんで、ちょっとそこは気持ち悪いかなどというだけです。
01:05:12	で、そうしていくとですね。
01:05:16	3 の、
01:05:19	1 は、少しちょっとシンプルに構成を見直し、
01:05:24	いうことで3-2 からが本体になるんですけど、
01:05:28	24 ページはこれ、前と同じですねちょっと何を根拠にしていますかという 話なんで、
01:05:34	これは最後の、
01:05:36	前の表現を変えたらそれに合わせてくださいと。
01:05:40	その上で、
01:05:45	27 とか 28 とか結局 28 って、もうこれ以上のことはないわけですね特 に同定結果を示して、
01:05:56	同定結果がこうなので、これをもとに、
01:06:00	次の 29 ページの Q 値っていうのの検討というのは、使える同定結果が えられたんですよって何か言いたいのかなと思ったんですけど。
01:06:09	特にここはグラフ化して説明することがなければ、ここは、
01:06:14	鳥羽そうかなと思います。
01:06:17	あとはこの辺のさーん 21 シリーズでいくと。
01:06:23	あとはですね表現ぶりを少し加筆したぐらいかなと思ってまして、
01:06:32	41 ページも、応答、鉛直方向は何の結果をもとに行っているのかも
01:06:38	紐付けてもらったと。
01:06:43	で、あとは 43 ページで、
01:06:46	これが特異な地震だと言っているのがこれが 16 番の地震のことについ ての EW 方向ですってのは一旦ここで言った上で、
01:06:57	補足に、
01:06:58	飛ばしましたと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:00	ということなんですけど、ちょっとここ前回のヒアリングでも言ったんですけど、補足の②ですかね 120、12 とか 113 あたりのところで、
01:07:09	結局
01:07:12	なぜ、
01:07:13	この 16 番の丁寧層厚と EW 方向でこういう結果の違いが選ばれたんですかというのは、主にこんなことが考えられます。
01:07:22	ではあるんですけど、やはり最後その欲しいのは、聞きたいのはですね、いや、こういう原因でしたんで、じゃあそれが金じゃあ地下構造モデルが何か見直さなきゃいけない要因なのかそうではないのか。
01:07:37	いやこういう原因はあるんだけど、この地下構造モデル使う分にはですね標準応答スペクトルの地震動評価で使う分には、いやこの問題というのは東海林へないんですなのか、ちょっとそこら辺がないと、
01:07:49	ここ、これは NS 方向はこういう原因でしたっけ、EW 方向がこういう原因でした。
01:07:55	以上だけだと、全部このまま使い続けていいのか、何かチューニングをかけなきゃいけないのかわからないので、
01:08:01	ちょっとそこら辺は細部をはっきり書いてもらいたいかなと思うんですけど。
01:08:06	ここだから、
01:08:09	当然個別の観測記録なんで、その地震によってある方向だったり、そのある地震によって、その特定の周期が強かったりわかったりが、
01:08:20	これもっと個別の地震なんであるんだと思うんですけど、
01:08:23	それを地震動標準応答スペクトルの地震動評価に使うときにそれで問題になるのか問題にならないものなのかわちゅうのは、そこははっきり書いてもらいたいかなと。
01:08:34	前に書く必要なくてこの補足の中で書いてもらえばいいんですけど、
01:08:38	ちょっとその結論は変えてもらわないと。
01:08:41	これどうどうということになるのっていうのはわからないんで、その点はいかがですか。
01:08:47	はい。九州電力の本村でございます。この 16 番の地震についてはやっぱり特異なものと、3.5Hz で、
01:08:56	その入力 of 観測を見ると、やはりぽこっとうへこんでるところがある。
01:09:02	と、そういう理由で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:09:05	こういう現象になってるんですけど標準応答スペクトルにつきましてはすべての周期体でパワーを持ったものになりますので、さっきおっしゃられたような標準応答スペクトルを評価するにあたっては問題ないとかです。地下構造モデルの妥当性に影響ないと。
01:09:19	というようなところを記載したいと思います。
01:09:24	はい。確か前回のヒアリング時もそんなような話だったと思うので、はい。
01:09:29	それで、すみませんちょっとまた戻ると、
01:09:38	なんか今 43 ページまでですね。はい。
01:09:43	で、この先は、1 監督に新しい話はなくて、
01:09:49	56 ページからが、これ、最深部地震計以深のところ、ちょっとこの 56 ページのところは、先ほど冒頭の部分で、
01:10:00	その設定根拠、妥当性根拠広い意味での設定根拠なのかみたいな、ちょっとそこら辺を基にですね、
01:10:07	反省をさせて、整合させた記載にされるんだと思うんですけど。
01:10:13	その上でですねえ。
01:10:17	ここも特に、
01:10:19	細かい、
01:10:20	ところは、
01:10:22	前回あったような表記載ですかね。あと、全体のページがずれるんで、文献番号とかの注釈のずれみたいな話だけなので、
01:10:33	まとめのところが 69 ページですか。
01:10:39	ここもあれですかね、結局最後さっきのところと繋がる話なので、
01:10:45	ここも同じですかね。変えられましたけど、はい。
01:10:49	て、
01:10:50	いよいよですね 3.3 で地下構造モデルの設定は、
01:10:56	速度法は当然評価から、もともとのベースの値が変わらないから変わらないって。
01:11:03	Q 値については、
01:11:06	200 メートルまで、
01:11:07	範囲でこうこうこうこういうデータに基づいて設定したのでこうなりますと。
01:11:14	じゃあその妥当性確認ですということで、次に行くわけなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:19	ここからは判例を少し見直ただけで、じゃあちょっと問題になるのが 83 ページですかねやっぱり、
01:11:28	この上下の部分なんですけど、
01:11:30	前回のヒアリングでも説明があってそれをもとに、少し記載を、今 83 ページみたいに直しましたと。
01:11:41	ということで、
01:11:42	やっぱりこの記載を見るとですね、もともと、90 メートルに入力する時点で、その当該 0.2 から 0.4 秒の
01:11:53	は系ってというか同等スペクトルのこのピークですかねピークの形というように形に作られているので、
01:11:59	従ってそれは、
01:12:03	90 メートル浅い部分地震観測がとれてる範囲内では、今の地下構造モデルでいいんですという説明なんですけども、
01:12:12	ちょっと例えば、85 ページの 16 番の熊本地震ですかね。
01:12:17	これはどちらかというとも 90、形はそうですかね。形はそんな変わってないんですけど割と、
01:12:25	その隣の右側ですかね
01:12:29	ペイ点。
01:12:30	靴だ、0 点。
01:12:33	七、八秒ぐらいの多分ピークとの山との大小関係に比べると、斉藤浅井ところに行って跳ねているようにも、
01:12:40	見えなくもないんですけどこれはちょっとこの 1 個だけの話なんで、
01:12:43	とはいえですねこれ。
01:12:45	ちょっと確認したいのは、これもともと
01:12:51	地下構造モデルを開始したのも、この地震観測記録もですね、結局 EL -90 の観測記録があって、
01:13:01	それを片や地下構造モデルに入れて、
01:13:03	上まで、
01:13:04	観測記録は当然上の、-17 の観測記録ってということで、何か入ってるものは、もともとと同じ。
01:13:13	なんですよねこれ。
01:13:16	削る等、何か片やですよ。そこで、
01:13:22	入れて、地下構造モデルを介して-17 までいったもの。
01:13:26	で、観測記録として-7 でとれたものっていうと、いやもともと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:31	いやそういうですねピークがあったんです。だから、それより浅いところのモデルの影響はないんですっていうと、
01:13:39	マイナス 17 メートルのところの結果って、同じというか、どっちが上回る上回らないにならないような気がするんですけど。
01:13:47	それってやっぱり、そんなに大きな違いではないかもしれないんですけど、83 ページのところで、伝達関数の比較って出てるんですけど
01:13:57	だからその大きな違いがあるわけじゃないんですけど、
01:14:00	全体的に見ると例えば 0.
01:14:04	0 ちゃん、123 は 2.5Hz から 3Hz ぐらいのところとか、
01:14:10	あとは 4 号、
01:14:12	6Hz ですかね。
01:14:13	平均的に見ると少し
01:14:16	観測記録の方が上回ってますよね。
01:14:20	そんなに大きく上回ってるとは言いませんよ。
01:14:24	やっぱりもともとこの
01:14:26	スペクトルの、この形ですね、形は -90 のところがあるのかもしれないんですけど、それが -90 から -17 に行くときに、
01:14:36	この実際の観測記録の方がそのままいわゆる伝わって負の増幅してくると、地下構造モデルを介した場合とで、
01:14:47	やっぱりこの辺の少し差分があってですねその差分で細部はスポットスペクトル -17 の応答スペクトルで比較すると、幾つかの地震でこういう最後、
01:14:59	スペクトルで差分が出てきているというか、
01:15:02	何かこう、おんなじものを入れてるはずなんで、
01:15:06	何か全くここに何もですね影響はないんですと。
01:15:11	地下構造モデルの影響で全くないんですという話なのか、ちょっとそこがですね、よくわからなかったんで、
01:15:18	ちょっともう一度この辺のところを教えてもらっていいすかからくりというか説明。
01:15:22	どういう原因というかですね。
01:15:27	九州電力の本村でございます。おっしゃることは理解してますけども伝達関数でも、この緑線にぴったり合ってるかっていうとそうではなくて若干ですけども、上回るところがあると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:40	応答スペクトルを見たときも、おっしゃる通りですね EL-17 と -90 で すか。比較して、形状はまあまあ合っていると。
01:15:51	いうところでありますけども、ただ 19 地震の比較をしていますけども、 それすべてでこのような現象が起きてるかというところでもないところ がありまして、
01:16:02	多少、
01:16:04	ここに並べてます。七つぐらいですかね、というところはありませんけど も、-90 メーターを見ると、やはりスペクトル形状とかの凹凸は、もう 似てますので、-17 と。
01:16:18	そういうところもあって、デコミもわずかというような認識を持ってま すので、-90 から解放基盤までの間のモデルの妥当性に何か影響がある かというところ、我々としては、
01:16:32	ないのかなというふうに判断しているというところがございます。
01:16:40	はい。わずかながらちょっと伝達関数には違いがあるんですけども、そ れほど大きな、
01:16:48	営業この 90 メートル浅いところで、何か増幅とかで大きな増幅或いは 減水側で、その大きな地下構造モデルと観測記録の間に大きな乖離があ るものでは、
01:16:59	ないので一応ここ -90 までということを書いてあるんですけど、
01:17:04	等で地下構造モデルってそれよりも深いところもあるわけなんで、
01:17:08	5-90 の範囲では、何か大きな問題がありませんでしたっていうと、そ れより逆に古い深いところですよ。甲斐用地使ってる、かなり深い部 分は、
01:17:19	あんまりこういう微妙な違いっていうのは
01:17:22	考慮しなくていいのかもしれないんですけど、
01:17:25	同じ。
01:17:26	Q 値を使ってですね検討しているのはマイナス 200 メートルまでなん で、
01:17:31	うまくそういう話を聞いてみるとさっき不破りとその何となく余裕を見 込みますとかっていう形で冒頭、理解てあったんですけど、少しこうい うようなところって、
01:17:42	今後、
01:17:43	原因となるものが何なのかっていうところは厳密にはここ特定できては ないんですよ。なんで少しく不確かな部分が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:51	ここ残っていて、ただ少なくともこの 90 メートル浅いところでは、
01:17:55	いいんだけど、ただ、それよりじゃ他どころが、
01:17:59	どこに原因があるのかっていうところもまだ不確かな部分があったりする話のあたりですね、或いはあともともと前回会合であったような地震観測が直接取れて、
01:18:10	いるか。
01:18:11	取れてないからこそ、地下構造モデルの妥当性っていうか 80、
01:18:19	8 ページとか八十七、八十 8 っていうところは、結局伝達関数による比較をするしかないわけですよ、応答スペクトルとか、観測記録とダイレクトに取れてないから、
01:18:30	そういう比較ができないから、伝達関数によるこういう比較しかできなくて、
01:18:35	そういう差分の話とかですね 8 あったかと思うんですけど、ちょっとそういうところにも、最後陸があって、少しその余裕を持たせた方が、
01:18:47	何でも何か理由はないんだけど何となく気になって余裕を持たせたっていうことでもないような気がするんですけど、その辺りはどうなんですかね。
01:18:56	はい九州電力の明石でございます。今ご指摘をいただいている、この上下脳波話について、
01:19:07	おっしゃる通り、永久じゃ 90 メートルより下は、ということについては当然、なかなか核的定期に物語ってあるのは難しくてであるからこそ、
01:19:20	最終的に我々が減衰をちょっとちょっと上乘せしているというか、そこで調整最終的に調整してるところにも結びついてるんじゃないかと。
01:19:31	ということかと思えますけども、直接的にこれがダイレクトに結びついてるかっていうとそうではないんですけども、これも一つでしょうし、やっぱり 90 メーターより上、地震観測記録等オートスペクトルベースで直接対比できてるところと、
01:19:46	やっぱりそうじゃないところの違いがあると、いうところをひっくり返してやっぱり差をつけているというのが最終的な判断になります。ちなみに、
01:19:56	この上下動については、90 メーターより下に何がしかこの PEEK 山ができて原因があるであろうとは間違いはないと思うんですけどもじゃ 90 メーターから 200 メーターの範囲なのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:20:07	もっと深いところところなのか、そうするとこれ震源の問題。
01:20:12	である可能性もありますので、それをもって、その 90 メーターから 200 メーターまでがこうなんですよ。これ下水がこうなんですよと、やっぱりダイレクトに結びつける。
01:20:22	のは、ちょっとなかなか、
01:20:24	難しいかなとは思いますが。
01:20:27	ただ、やっぱりその直接的な観測記録と対比できない部分があるということで最終的に、モデルとしては減衰を決めたりした差をつけてるというものです。
01:20:41	規制庁の名倉です。
01:20:44	私たちが求めているのは、応答は局所的に観測記録を下回る
01:20:52	原因って何ですか聞いてるので、
01:20:55	ピークが発生する原因を特定しろって言うてんじゃないなくて、超える原因は何ですかと言ってるんで。
01:21:03	その場合は、
01:21:05	マイナス 90 メーターよりも低いところで何頭の要因があって、ピークが発生しているということと、
01:21:15	あとそれより上で増幅しているから超えてるんですね。
01:21:20	だから、すみません、私たちの見方でいくと痛み分けしなくちゃいけないくて、
01:21:25	上の方でも増幅してるからだから超えちゃうんですね。
01:21:29	だからその分については上の方で保守的に設定してるわけですね。
01:21:35	あと下の方でもう何らかのご姿勢が必要だから、
01:21:39	それが十分かどうかってのはあるかもしれないけど減衰。
01:21:44	は少し保守的な設定してます。
01:21:48	何かそういう意味で、
01:21:51	原因は特定できないにしても、何か、上と下両方、
01:21:55	でカバーしてるんだらうっていう、何かそこら辺の説明が、
01:22:00	何かなくて、
01:22:01	下で、
01:22:03	実は下が原因なんです。
01:22:06	わかりません。でも、上の方で設定してる考え方。
01:22:11	に対してメリット影響しませんって、理由も何も言わないで、
01:22:16	布施ちゃってるように見えるんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:18	だからもう少し何かこう、
01:22:20	実際、
01:22:23	速度構造とか減衰を設定する上でこういうことも一応考慮した上で、
01:22:29	配慮してるんですっていう説明が、
01:22:32	何かあってもいいんじゃないかそうしないと。
01:22:35	これって、私たちが質問したこと全く答えてないですよって、ゼロ回答ですよっていうふうに、見る人もいるかもしれないですねこれ。
01:22:46	うんちょっとここら辺は、
01:22:47	言い方の問題かもしれないけれども、
01:22:50	注意が必要かなと思います。
01:22:54	はい九州電力の赤瀬でございます承知いたしました。確かに見ようによつてはちょっとすかした回答になってる感もあるかなと思います。
01:23:05	これ先ほど鈴木さんからあった通りこの伝達関数を見るとやっぱり観測記録と出込み引っ込みありますので、当然オートスペクトルとして見た場合、どっかの出っ張りに引っ張られれば、
01:23:18	その出っ張りがあるところの方が大きくなっちゃうというのは当然あり得るべきことだとは思いますが。
01:23:25	ただ、何かちょっとモデルルートの、その辺の位相との兼ね合いでそうなるものであってモデルとしての何がしかの書きによってそういうことになっているものではないと。
01:23:37	いうふうに判断はいたしますが、
01:23:43	いえ、この超えてる部分について何がしか、どうその担保をされているのという配慮考慮についてもちょっと述べることによってしっかりちょっと、
01:23:53	答えた形にはしたいと思います。はい、承知いたしました。
01:24:01	はい。
01:24:03	ですしちょっとそこと似たような話になるんですけど、結局、
01:24:09	-90 から 200 メートルのところ、
01:24:13	ここはだから伝達関数の比較というふうになってるのは観測記録が取れてないんで、じゃ何どういう比較のし妥当性の説明の仕方があるかっていうところ伝達関数で比較するしかありません。
01:24:25	だから伝達関数でやるんです。
01:24:28	それによって、元の知見として差分が出ますよね。その上でさっきみたいなこれ前回の、前回 12 月の会合とか前回の会合の議論とは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:38	逆になるんですねこれ話の筋に沿って説明していくんで、前回の会合のときには、先に議論になったのは、当然 12 月の会合で示されたこの PS 検層モデルとの比較の、
01:24:50	ところでの変なピークこれなんだろうなど。
01:24:53	その議論をした上で、
01:24:55	前回の会合で、初めて出てきた上下動の
01:25:01	記録、これについてこの上下動のこの収益の頃なんですかっていう議論だったんで、
01:25:07	ですけど、今回はこう話の筋でいくと。
01:25:10	この順番に従って資料を見ていくわけなんですけど、そうすると、この 88 ページとか 89 ページとかこん 91 ページとかっていうふうに、ここ順々に見ていくと、
01:25:21	これ PS 検層モデル、これで、あくまで伝達関数であって応答スペクトルの比較ではないですけど、この PA 等伝達関数の比較で、こうこうこう見ていくとさっき言った 90 メートル、
01:25:34	より浅いところでぜひ多様な、
01:25:36	ああいうような、
01:25:38	傾向というのは、この PS 検層モデルでいくとこの -200 から解放基盤までの議論ができるわけで、その中で見ると、ここもどんな
01:25:49	さっきあった上下動のですねようなああいう問題というのは、
01:25:54	これは特にあるんですかないんですかと言われるとこれはどっちなんですかないんですかね。
01:26:03	あんまり広告そこまで厳密な議論をできるほどの、
01:26:09	データというか、ではないのかもしれないんですけども、
01:26:13	この PS 検層モデルで三本だけ出したまで伝達関数レベルの比較なんで、
01:26:20	先ほど 90 メートル浅いところではこういうものがあったんだけど、200 メートルから解放基盤っていう範囲内で見てみると、
01:26:28	そういうものはあるんですかないんですかっていうと、それはどっちでお考えなんだ。
01:26:39	はい。九州電力の本村でございます。一応伝達関数の比較について 88 ページに載せていただい載せさせてもらってますけども、0.22 秒から 0.4 秒の話だと思えますけど上下動については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:26:54	若干ですけども PS 検層モデル、3 本だけって言われるとそういう、その通りなんですけど、若干超えてるところはあります。ただ、こちら、
01:27:07	この 89 ページ以降で速度コントラストの話というのがありまして、やはりこの-9、200 メーター以深の設定というところが、ちょっと、
01:27:17	気になってくるかなと思ひまして、我々持ってるデータとして 200 メーター以深のデータがないというところで、これによっては、ここのデコミというところも、
01:27:28	コントラストがなければ、なくなりますし、そういうところがあつてなかなか難しいですけども、モデルとしてっていいですか、
01:27:38	ここら辺の 0.2 から 0.4 秒のピークっていうところは、
01:27:43	ちょっと伝達関数では本当にあるのかっていうのは、はわからないといひますか、応答スペクトルと似たような状況かっていうと、そうじゃないんじゃないかっていうふうな考えてるところでございます。
01:27:59	九州電力なんかそういうことでちょっとわかりにくかったかもしれませんが、まず、80、8 ページ下の右側でご覧いただくと、
01:28:10	コンマ 2 秒から 4 秒ぐらいの上下動のところなんかやっぱりこれボーリングで見るとピークがあるねと。
01:28:17	やっぱりこれボーリングの見られてんじゃないのと、いうふうに見えるんですが、80 じゃない。
01:28:27	91 ページ。
01:28:28	ご覧いただくと、この 200 メートルところん 200 メートルのところの速度のコントラスト。
01:28:35	これをなくすと、そのピークがなくなってしまうと。
01:28:39	ということでやっぱりこれ、200 メーターから上の範囲の、なにがしカーによって生じてるわけではなくてやっぱりこれ、教科書問題として、
01:28:50	起きてますので、結論としては、88 ページとしては先ほど上下でちょっと引っかけたようなピークがあるんだけどこれもあくまで境界値問題。
01:29:01	だったので、200 メーターまでの範囲にやっぱり何かあるというものではないと、いうふうに判断をしております。
01:29:13	はい。なんでちょっと知見というかデータの量とか、直接応答で見れるかどうかというの違いはあると思うんですけど、今のお話だと、
01:29:24	PS 検層モデル、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:26	感じた検討結果では先ほどの浅いところの応答スペクトルの方で出てきたようなもの。
01:29:32	それに相当するような、何か大きな違いというんですかね、観測記録と、この地下構造モデルの方での記録っていうのは、
01:29:41	あそこは安宅なさそうだという、
01:29:44	御説明かなと思うんですけどね。
01:29:53	はい。
01:29:57	ちょっと後はそうすると、細かい表現 94 ページとかも少し変えてはありますけどこれは最後までめの表現ぶりなんで、
01:30:07	数で 9596 とか行くところが最後地下構造モデル。
01:30:14	そして最終的にどうしますかという話になってきて、
01:30:19	ちょっとこのあたりがですね、いや 12.5 から 16.7。
01:30:27	ぜひその簡単な説明ではなくてですね、結局最後何をどういう点を踏まえて、そこの部分については一定のその誘導、この範囲を持たせましょうというふうにしたのかっていうのは、
01:30:39	ここも前回の会合でもですねそこをクリアにしてくれと言ってある話なので、
01:30:44	ちょっとそこをですね、この
01:30:47	応答もそうですし、この 95 から 96 のところ、このあたりできちんと説明をしてもらいたいのですけれども、
01:30:55	を改めていかがですか。
01:30:58	理由と、こういうことからとかですね。
01:31:06	はい。九州電力の本村でございます。95 ページのところを、
01:31:12	だと思んですけど、会合のときにもちょっと内野赤瀬の方から話をさせてもらって、標準応答スペクトルの地震動にさらに余裕を持たせるということで安全裕度を向上させるために、
01:31:26	見直すと、見直しの根拠としましては、こちらに書いてますけども、観測記録が 0 で直接確認できてるか、できてないかっていうところが、一番大きなところでして、
01:31:37	それが -90 メーターを境に上と下であるというところで、ちょっと下の方は、12.5 から 16.7 に、
01:31:48	という話なんですけども、ちょっと記載が足りないかなとも思いますので、ちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:54	一応あの会合で申したことをですね書いたつもりではあるんですけども、という状況なんですけども、
01:32:05	確かに聞き方が悪かったかもしれないんですけど
01:32:08	ここ、ここで-90から200のところですねこれ地震観測記録ではなく、ボーリング孔内に地震観測ありませんのこのたかって、
01:32:19	さっき言ったような
01:32:21	いわゆるわずかな、上下動のですね、ああいう検討を、もうできなかなかしづらいわけですよ。同じような等価地での検討というか同じ制度での検討っていうのは、
01:32:33	そういうものも含めての地震観測記録でなくていい意味なのか、これはあくまでその設定段階というのですかね。
01:32:41	冬だけの話なのか、ちょっとそこら辺は、どこまで含んでいるのかなというのを、
01:32:47	九州電力の明石でございます。もうお答えとしてはもうすべてをひっくるめてというふうに考えておりますので、
01:32:58	すべてをひっくるめてということで今はもうぱくっとした言い方にしておりますけども、まさに90メートル下は伝達関数でしか比較しようがなくて、
01:33:09	であるからこそ前のページまでに論じてはきているけども、こうこうこういう引っかけ引っかけというとおかしいですねこういう部分もあって、あったのでそういったことを踏まえて、
01:33:22	やっぱり差をつけましたということをもうちょっと具体的に列挙というか、並べたいと思います。結局は、冒頭おっしゃった通り、何か心意気で嫌とこうしますっていうふうにも今受け取られかねない。
01:33:35	形になってるかと思しますのでそこは、我々が検討する中でやっぱりこういう部分があったよね、だからこうするんだと、いうふうに、論理展開ができるようにちょっと記述を充実いたします。
01:33:47	以上でござい
01:33:51	はい。よろしく申し上げます。
01:33:54	あとはですね補足とか参考の、
01:34:00	ところ、これは場所を移したりブロックインバージョンの位置付けの書きぶりですかね、冒頭にその一層の説明性の向上をという形で、
01:34:09	書かれているんだと思いますけど、さっき、
01:34:13	あれ私あれかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:15	3小5って言ってしまったのかなもしかして参考4のことを言おうとしたのかもしれないとは違うか。
01:34:21	ちょっと参考4か参考か、ちょっとこのブロックバージョンの方のお話 もさっき言ったように、本編のどこと非どれどれの説明性を向上したい のかっていうのは、
01:34:31	ちょっと本編側とひもづけるような形で、工夫、どうでしょうかとい う、
01:34:36	話でありそこは繰り返しになっちゃいますけど、
01:34:40	あとちょっとですね、評価の時の資料をもう少し、けがしながら、
01:34:47	改めてちょっと見てみたんですけど、
01:34:49	これ、これ別に今すぐ資料に反映してくれって意味じゃないですけど、
01:34:54	参考の9かな許可の地下構造モデルのところ、これ、地震調査委員会 の2007を引いてるじゃないですか。
01:35:04	これって、2000なんて中間報告でしたっけ、確か。
01:35:09	多分このしばらく後に2008年になって4月ぐらいだったら多分最終報 告というか、
01:35:16	2回、確かこの地震で出てるんですよ。
01:35:22	多分この報告書上だと、いわゆる、
01:35:27	解放基盤からもうちょっと深いところの近辺のものって、
01:35:33	都市深部構造になるのかな、確か浅部がもう解放基盤上のいわゆる表層 部の話で、地震調査委員会2007ですけど、
01:35:42	地震調査委員会2070だと多分深部構造みたいな多分部分の話だと思 うんですけど。
01:35:48	なんか、ホンチャンの2008の方で、多分部分的に、多分、地域なのか 観測地点なのか、多分場所ごとで見直しをかけてる。
01:35:58	濃い記載があるんですよ。
01:36:00	とはいえ、ちょうどたまたま玄海の発電所があるエリアって、2007と 2008、中間報告と最終報告で、
01:36:10	多分深部の構造をんのなんか差分を色でグラデーションつけてたと思 うんですけど、多分プラマイゼロというか、多分見直しが必要なかった範 囲のような、
01:36:21	ちょっとそこって、
01:36:24	何か再中間報告を持ってきて、最終報告では変わってないから中間報告 持ってきているのか、なんかそこら辺って結構古い話なんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:34	ちょっと今すぐはわからないかもしれないんですけど、わかったら教えてください。
01:36:40	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃる通りですねこれ福岡県西方沖地震の分析の話で、中間報告と最終報告って出てると思うんですけど、
01:36:51	ちょっとすいません確認しますが、
01:36:54	結局変わらなかったんだと思ってます。変わるところとしたら、K-NETとかKICネットの観測点があるところの地震記録を使って、震源の情報とかも多分リバイスカかかってたりとか、いろいろ
01:37:07	するのかもしれないんでそこら辺のチューニングで多分変わったんだろうなと思ってます。玄海の周辺、これ182ページになりますけど、この4地点の平均ということで、設定してますけど、このところについてはK-NET聞くネットの観測点もないので、
01:37:23	あまり影響してないんじゃないかな。それとあと離れたところでもありますので、もう変わらないんじゃないかってないと思いますけどちょっと確認させていただきたいと思います。
01:37:37	はい。お願いしますだから、これかな。対本で言うと多分深い地盤構造って多分呼び方の範囲だとは思うんですけどね。一応なんか中間報告だと、
01:37:48	結構、
01:37:49	ボーリング調査とか、物理探査を元に何か0次モデルを作って、
01:37:53	それをもとにしてただけど今回、そのリスクエリアによって見直しましたみたいな記載があったんで、
01:38:00	あれこれどっち
01:38:01	そこって、影響してくる話だったのか、そうじゃなかったのかなというのを、ちょっと古い話だったんで、
01:38:09	別に今この場でとか或いはここで資料に大きく反映してっていうものではないんですけど、
01:38:15	ちょっとその最終報告の方見てみると、どうも何か玄海のあの辺のエリアは、多分中間報告と最終報告のモデル。
01:38:24	その市深井一番構造については、結局多分同じだったというかほとんど変わらなかったというか、多分そういう、
01:38:31	結論なんじゃないかなというですね、ちょっとそんなふうになんか見てとれたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:38:37	ちょっとまた分かった時で結構なんで、教えてください。
01:38:41	はい。
01:38:42	すいませんちょっと脱線しましたけれども、
01:38:45	ちょっとそうすると少しやっぱりですね入口の概要というか、その設定根拠だっただけのところとか妥当性の
01:38:55	ところ、
01:38:56	或いは、その後上下のあの辺の話近辺の話とかですね。
01:39:00	少し見の資料の方は見直してもらう必要があるかなと思うんですけど、その他、すいません一通り担当の方で、後まで
01:39:13	聞きたいところは聞きましたけれども、ほかある方いれば、ページは戻っていただいて全然結構ですので、お願いします。
01:39:25	はい。規制庁佐口です。
01:39:27	やはり最終まとめのところですね。
01:39:32	98 ページで、もう 1 回確認なんですけど、先ほど少し確認がありましたけど、
01:39:42	この
01:39:44	2 ポツ目、丸々のポツですね、1 ポツ目の PS 検層モデルとの比較による確認の結果、
01:39:52	設定した地下構造モデルの理論伝達関数は PS 検層も理論データカード同等もしくは上回ることが妥当性を確認して、これって、
01:40:02	どれのことをおっしゃってます。先ほどの、
01:40:06	80、
01:40:08	8 ページでしたっけ。
01:40:11	これのことをおっしゃっているんです。
01:40:19	はい。九州電力の本村です。まとめのところに書いてある二つ目のポチですけど、これの根拠としては、おっしゃる通り 88 ページの伝達関数の図をもって、同等もしくは上回ると、
01:40:32	いうこと。
01:40:33	判断してます。
01:40:36	はい。規制庁瀬口です。で、ただしですよ。ただし、これは先ほどもご説明あった通り、境界値問題を含んでいるので、
01:40:49	一部、
01:40:50	上回っているところはあるんですけど、
01:40:55	ここは見ないでくださいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:40:58	そういう話なのか。
01:41:01	そもそもですね私以前の確認をしましたけど、当然境界値問題はあって、実際には、いや、本当にあるのかもしれないわけなんですよねこれは PS 検層のところまでとらえられてないだけで、
01:41:17	じゃあ、どうして、
01:41:20	確認をしたら一番、今あるデータでですね、確認すればいいのかっていうと、
01:41:25	結局、
01:41:27	90 ページ 91 ページの、結局そのコントラストなくして、要は 200 メーターよりマイナス 200 メーターより上でどうかという、
01:41:36	ことを確認をして、
01:41:38	見ればよくて、そうすると、いや、実はですね、91 ページとか 93 ページって、これ、いわゆるそのモデルとの比較がなくなってますね
01:41:50	旧人 123 っていうので、あくまでもピークが解消されましたっていうだけの話で、
01:41:56	ちょっとそこは確認ができないので、一番私は、確認等をして、
01:42:02	妥当なのは 91 ページ、ここに、
01:42:07	実際の標準応答スペクトルモデルの
01:42:11	200 メーターより上ですね、200 メーターのコントラスト入れずに、
01:42:16	というものを比較していただいて、これがほぼ同等か上回るという確認ができれば、この最後の 98 ページの
01:42:26	2 ポツ目に書かれていることはいいかなと思うんですけど、今ちょっとやっぱり確認ができないかなと私は思ってるんですけど、それってすぐできそうですという方もできると思うんですけど。
01:42:39	え。
01:42:40	九州電力の本村です。91 ページに標準応答スペクトル用モデルの 200 メーターより上のところの伝達特性というところだと思うんですけど、計算としてはすぐできるようなもん。
01:42:52	ですので、ちょっと記載の方を検討したいと思います。
01:43:14	ちなみに、ごめんなさいもっとこれ、
01:43:17	規制庁佐口ですけども、とを前段階で確認を、
01:43:21	しておけばよかったかもしれないんですけど結局その観測記録と応答版の比較があるんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:29	これちょっと教えていただきたいのはその応答は 어떻게 やって算出されているかっていうのを、
01:43:37	教えていただきたいんですけど具体的に言うと、観測記録のどの部分を使って、もう全部を使ってやっているのか。
01:43:45	そうじゃないのか 1 部分のそのフェースとか P だけを使ってやってるのか。
01:43:49	ちょっとそこを教えてください。はい。九州電力の本村でございます。入力はその範囲使ってるかっていうところだと思いますけど、こちらについては取れた記録、全部だと。
01:44:02	と、全部で入力してるというところでございます。
01:44:08	はい。規制庁佐口ですわかりました状況わかりましたそうすると。
01:44:12	例えばですね、
01:44:15	同定とか、
01:44:17	ていうのは、
01:44:18	例えば 40 秒間とかそういう何かある程度条件があったと思うんですけど、
01:44:26	大体、地下構造モデルとしたらこれぐらいですと言って、1 次元の計算をするときに、
01:44:33	そこは、例えば S 波部分だけとか P 波部分だけとかある程度絞ってやらないと、要はですね。
01:44:41	変な余計なものが結局入っていて、
01:44:45	何かそういうので、
01:44:47	ちょっと実際は、本当は計算して例えば SR の増幅だけを見たいんですけど、合うんですけど、いやぴったりと言うかどうかわからないんですけど、合うんですけど、
01:45:00	そうじゃなくて、とにかく全部、全部をこう計算として、1 次元で上げているので、
01:45:06	だから結局観測記録と合わないんですみたいな、そんな影響みたいなことってあったりしないんですかね。
01:45:16	はい九州電力の本村でございます。今、現時点では全継続時間でやるところで今ご指摘あった SR に絞ったらとか P 社に絞ったらっていう検討結果がちょっと今手元にない状況の、
01:45:30	なんですけど、おっしゃる通り全継続時間でやっちゃいますと、後続の波とかですね、いろんなものが入ると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:45:38	いう認識は持ってますので、とは言いながらちょっと今、結果がございませんので何とも言えないんですけど、そういう厳密な検討というのが、
01:45:48	必要だったのかもしれないというところは、我々も認識してございます。
01:45:55	はい。規制庁佐口ですので何ていうんすかね地下構造モデルの善し悪しというよりも何かそういった、
01:46:03	ひょっとしたらか開析度。
01:46:06	条件というのか、解析的なものが、
01:46:10	あって、実は合っていない部分もあるかもという、可能性としてですね。そういう、今一応理解はしました。なので
01:46:21	これだけ合っていないで、結局地下構造モデルが悪いということも言えないという理解なんですけどそういう理解でよろしいですか。
01:46:31	はい。九州電力の本村でございます。そういうご理解で、言うと思っておりますはい。
01:46:52	すいません。谷津。また、ちょっと細かいところなんですけど 96 ページのところで、一応米印で、最終的な
01:47:00	仮設定したと言っているのか地下構造モデル、すべて 12.5 ですということ -200 まで 16.7 にしたもので、米印で一応見通しとして
01:47:12	理由が 20 ガルですかね。
01:47:16	増大すると想定ということを書いておれば、当然今までの段階ではそれしか示しようがないものなんですけど、
01:47:23	これは中継も自身は作って地震動評価をして、
01:47:27	当然何が成果というところで 16.7 の方の結果が当然性なわけですよね地震動評価としては。
01:47:33	五つ参考でこの 12.5 のままだもやってみて、あくまで参考ですけど、
01:47:39	一応そうやって誘導を見込んで設定したものっていうところで、
01:47:44	効果というか、
01:47:46	というのはこれはだから実技の地震動評価の断面で、参考で確認させてもらえると。
01:47:53	そういう意味での※でとらえて大丈夫ですかね。
01:47:56	はい。九州電力の本村でございます。次回の模擬地震は、次回というか模擬地震審査の中でですね我々も参考として示すことを考えてますちょっと明記はしてませんが、そういうことを考えてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:13	はい、わかりました。次への約束を書く資料でも何でもないので。はい。宗石井であるということはわかりました。はい。
01:48:23	他、いかがでしょうか。
01:48:27	こちらは大丈夫ですか。大丈夫ですか。
01:48:35	すみません、途中で所々やりとりとか通信途絶えてしまいますけど、リモートで参加してる田島さん、特にちょっと今回新しく何かそのエビデンスというか解析結果出てきたわけでも、
01:48:48	はないんでほぼ説明ぶりとかロジック話のやりとりになっちゃいましたけど、
01:48:53	何かありますでしょうか。
01:49:00	規制庁田嶋です。特にございません。
01:49:06	はい、ありがとうございます。そうです。
01:49:11	はい。規制庁作成ちょっと細かいところ、何点か、3点ぐらいかなと言っても結構
01:49:18	重要な部分ですので、
01:49:22	あくまでもこれは資料の構成町だけの話かもしれないんですけど 3.1、照明の 18 ページ、19 ページ 20 ページなんですけど、
01:49:32	これ、結果は 19 ページ、20 ページで出されているんですけど、肝心のですね、同定した。
01:49:39	結果自体がなくてですね。
01:49:42	土地加工。
01:49:43	推定した地下構造とあとそういう推定した Q 値は載ってますけど、そもそもその同定結果である。
01:49:51	ものがないんですけど、これって、多分今まではあったと思うんですけどこれ、
01:49:57	ちょっと確認できないんで、確認をさせてください。
01:50:02	はい。九州電力の本村です。おっしゃる通りですね、Q 値と加速度の結果はありますけど同定結果っていうのはございませんので、確か以前は出してたと思うのでそこら辺ちょっと追加するような形で考えたいと思います。
01:50:17	はい。規制庁佐口です。よろしくお願いしますあとすごく細かいことで恐縮なんですけど今、開いていると、20 ページで、
01:50:25	これ文言だけの話です。
01:50:28	上の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:29	ところの一番最後に書かれている規格の地下構造モデルの元地盤減衰を大きく下回ることを確認。
01:50:37	ってあるんですけど、これって、Q 値は下回るんですけど地盤減衰って上回るんじゃないでしょうか。
01:50:46	はい。九州電力の本村でございますおっしゃる通りですね Q 値は大きく下回るんで一方減衰は上回るだと思うので、ちょっと記載は考えたいと思いますはい。
01:51:00	はい、規制庁昨日です。
01:51:03	あとちょっと細かいところで書くんですけど、これもやっぱりちょっと重要なので、65 ページなんですけど、
01:51:15	結構これも今回の根拠になりますので確認なんですけど、
01:51:19	今ここに出されている。
01:51:22	Q 値なんですけど、65 ページですね。
01:51:27	65 ページですね。
01:51:30	これは、まずこの木内自体がどういうものか。
01:51:35	ていう、例えばこの卓越周波数って書かれてますけど、この卓越周波数における Q 値なのか、それとも、
01:51:44	あるともあるその刺繍期待。
01:51:48	窓、どっからかどっかはわからんですけどその平均的な Q 値、
01:51:53	7 日であと当然その、
01:51:56	深さ方向って、
01:52:00	一定のような一定じゃないような、ちょっと掘り曲がったり何か、
01:52:06	して、求人さんなんていうのは、2 ヶ所に分かれてるんですけど、深さ方向については例えばどういう分布をしているとか、何かそういう
01:52:17	何て言うんですかね、深さ方向だったりあと周波数。
01:52:22	どういう分布をしてるかみたいなものっていうのはあるんでしょうか。
01:52:30	はい。九州電力の本村でございます。まずこの Q 値が、どの周波数なのか、この卓越周波数なのか、周波数体なのかというところなんですけど、この 90 についてはこの卓越周波数。
01:52:43	に対する Q 値を求めているということでございます。あと深さ方向については、90 万休日については 1 層になってますけど 9G3 は正断層がついてると。
01:52:54	いうところですけども、これ、この Q 値の求め方としては、速度層に応じて求めているっていうところがありますので、速度の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:04	段差とかある場合は 9G3 というようなところで、似たような区間で、Q 値を求めるっていうやり方をしているところでございます。
01:53:14	はい、規制庁さん右折を変えましたんで、ちなみになんですけど、多分、
01:53:19	手法じゃないんですけど、何か方法として例えばこの文献とかに示されているようなものだと。
01:53:26	最大振幅法とか、
01:53:28	振幅スペクトル法みたいなのがあってこれどちらを使われているか。
01:53:33	ちょっと、
01:53:34	わかる、わかれば教えてください。
01:53:43	ちょっとすみません 2 種類しかないんですけど、
01:53:47	最在振幅法だったと、ちょっと理解してるんですけど、ちょっと確認させていただきたいと思います本店側で何かありませんかね。わかんないですかね。聞こえてますか。
01:54:03	九州電力の野村です。ちょっと確認して、後程タイミングがあった時に回答させていただきます。
01:54:11	はい。規制庁佐口ですねよろしくお願いします。
01:54:26	はい。
01:54:29	ページは、
01:54:32	九州電力の野村です。それは先ほどの件ですけど最大振幅法で間違いありません。
01:54:41	はい。規制庁佐口ですわかりましたありがとうございます。
01:54:46	はい。
01:54:52	はい規制庁佐口です。ごめんなさい。やっぱり私もちょっと根拠になるので、少し確認を、細かいんですけどさしていただきたいんですけど。
01:55:02	31 ページだと、
01:55:05	これ、いわゆるバイリニア型、
01:55:08	の同定なんですけど、この場合は、同定方法の中にパラメータじゃないんですけどこの入射角って入ってるんですけども、
01:55:16	他の
01:55:19	周波数依存型だったり、
01:55:22	あと、
01:55:25	地震干渉法ですねこれ入射角と違ってどうされてます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:31	はい。九州電力の本村でございます。バイリニア型については入射角を考慮しては、鉛直下方の入力ということで、入射角は考慮してない。
01:55:44	ということでございます。
01:55:48	はい。規制庁佐口です。そうすると、ひょっとするとこれ、場合によっては三つ並べて、
01:55:55	何ページでしたっけ 40、40、
01:56:01	41 ページ、42 ページ。
01:56:04	辺りに進んでいますけれども、
01:56:07	結局その入射角とかを考えると、
01:56:11	どれが 41 ページか。
01:56:14	います。数字だけで、
01:56:18	書かれていますけど、そういう入射角なんかを考えると、ひょっとしたら若干こう、なんていうんすかね。
01:56:26	全くこの数字だけをニュートラルに本当に比較していいものかどうかという。
01:56:33	若干
01:56:35	いや、こちらの方が保守的に出ていますとかそういうのもあるかもしれないんですけどそのあたりで等お考えでしょうか。
01:56:43	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃることは理解してル—しましたけども、バイリニア型の分、
01:56:53	法廷ではですね 3 地震をピックアップして、それぞれ入射角を振ったりとか、減衰振ったりとかして、一つのモデルを持ち、求めていると。
01:57:03	いうところになりまして、そういうタイプの同定をやっていると。一方伝達関数の周波数依存については、20 地震の平均の
01:57:14	伝達関数を用いて、それに対して鉛直下方で合わせにいつてるところで、個別個別の地震で、3 地震のバイリニアって言いましたけども、ああいうものでやると。
01:57:26	今日はですね、入射角とかっていうパラメータが何か有効率、
01:57:31	検討できるかなとは思いますがなかなか 20、20 人じゃないですね、19 地震を平均してるってところで、なかなかこういうやり方だと、なかなか入射角っていうのは、
01:57:43	考慮するのが難しいかなっていうちょっとふうには思っています。入射角を考慮したら、どっちが保守的だとか保守的がないとか、ちょっとそこ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ら辺のところ、はっきりと答えがあるかというところちょっとないんですけども。
01:57:58	状況としてはちょっとそういう解析の手法がちょっと違ったりとかで、というところでございます。
01:58:11	はい。規制庁佐口です。一応考え方はわかりましたけど多分入射角を考えると、
01:58:17	今の鉛直入射に比べれば、理論の伝達関数っていうのは小さくなるので、
01:58:24	なるはずでは、はずなので、そうするとフィッティングを考えると、ひょっとすると、今のこのQ値っていうのは、本当はもうちょっと高く出てくるかもしれないんですけどそこが、
01:58:35	入射角も多分正確じゃないって、何とも言えないんですけど、いずれにしても考え方は理解をしました。
01:58:54	はい。規制庁鈴木です。
01:58:57	笠間。
01:58:58	申し訳ないす 43 ページ。
01:59:00	これ、
01:59:02	小項目としては地盤減衰の設定妥当性確認の項目なんですけど、この秘密 N ポツのなお書きの最後がですね。
01:59:10	ここだけ地下構造モデルの妥当性、
01:59:14	ていう書き方になっていて、
01:59:16	ここはまだ Q 値の設定。
01:59:18	という、多分厳密な章立てでいくとですよ。
01:59:21	どういう御説明なんじゃないかなと思ったんで、こういうようなところもですね、
01:59:26	どの断面に良いのかっていうのは、単なる語尾の話で、中身としては理解、もちろん理解するんですけども、
01:59:33	ここは直した方がいいかなと思います。
01:59:35	九州電力の本村でございますおっしゃる通りここは、最深部地震計以浅の地盤減衰の話なので、地下構造モデルではなくて、減衰の話だと、なのでちょっと記載が、
01:59:48	まずかったと思いますんで、適正化したいと思います。
01:59:52	はい。広い意味では地下構造なんですけど、ちょっと上行表現というか章立てで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:59:57	御社分けられてるんで、ちょっとそれに合うようにしたらどうかと。
02:00:01	です。
02:00:02	さてどうですかね。
02:00:06	少し途中で中断が入ったんか中断が通常を中心の都合で中断入っちゃったんで、
02:00:12	一応もし一旦これだからよろしければですね、もし追加で何かあればこの後でも結構なんですけど、ちょっと仙台の方もですね、一応 17 日で資料をいただいていますので、
02:00:25	そんなに分厚いものではないんですけども、ちょっとこちらの方も説明を聞きます。
02:00:32	資料お願いします。
02:01:16	はい。仙台の方につきまして TTS024 を用いまして地下構造モデルの設定に関するコメント回答方針ということで、ご説明させていただきます。1、1 ページ目に目次を
02:01:29	記載しておりますけども、この流れですってねちょっと説明させていただきたいと思います。
02:01:35	2 ページ目からは、
02:01:37	が、コメントリスト及び今後の審査スケジュールになります。
02:01:41	3 ページ目、4 ページ目がコメントリストになりますけども、4 ページ目の一番下に、2 月 10 日の第 1113 回の審査会合のコメントを記載しております。
02:01:54	川内の地下構造モデルの設定について、抜本的な改善を含めて現実的な方法で見直しを検討し、地下構造モデルの設定方針を速やかに説明することと。
02:02:05	ということで、今回、方針の説明、
02:02:10	今回説明というところで、設定及び妥当性の確認については次回以降説明するということを記載しております。
02:02:19	5 ページが今後のスケジュールになります。
02:02:22	地盤減衰のところ、4 月 11 日に設定方針に関する資料を提出させていただきました本日ご説明、5 月、ゴールデンウィーク明けに方針に関する審査会合、
02:02:35	それと設定及び妥当性確認の資料については、5 月末に資料提出、6 月上旬に審査会合、その後もう 1 回審査会合を想定しているところでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:02:48	その後、模擬地震は基準地震動についての資料提出を7月中旬、審査会合7月末という流れを考えております。
02:02:58	Ssが確定した後、地盤の安定性解析に入りまして、特重及び特重以外をまとめて10月頭に資料提出、10月末に審査会合、
02:03:10	その後、11月に入って補正というスケジュールを考えているところでございます。
02:03:17	続いて、6ページ以降が、地下構造モデルの見直し方針というところで、7ページにいきまして、7ページの冒頭、第1113回審査会合のご指摘というところで、
02:03:33	観測事実との整合性が確認できないことから、最深部地震計線の地下構造モデルの妥当性が確認できない。
02:03:41	仙台の地下構造モデルについて抜本的な改善を含めて現実的な方法で見直しを検討し、地下構造モデルの設定方針を速やかに説明すること。
02:03:52	で、例えばと記載してありますが、既許可申請の、地下構造モデルをそのまま用いた場合に、観測記録との整合性を確認でき、確保できるかどうかを確認した上で、
02:04:05	地震計が設置されている浅部の物性値減衰特性、必要に応じて速度構造を合わせ込むといったことも考えられると、というようなご指摘をいただいております。おります。
02:04:15	これを踏まえまして、まず、観測記録との不整合の要因分析について点線部分で、ステップ1からステップ3まで、
02:04:25	検討をしているところでございます。
02:04:27	まず、ステップ1につきましては、既許可申請の地下構造モデルと、観測記録は整合するのかというところで、具体的には8ページになります。
02:04:38	8ページに、鹿児島県北西部地震、③の地震ですけれども、1997年3月の本震の応答スペクトルを示してございます。
02:04:49	上段がですね現申請のモデルで下の方が評価のモデルになります。こちら、対比して見ていただくと、まずは現申請モデルについては一部の周期体、水平で0.1秒から0.2秒で観測記録と整合しないと。
02:05:05	で、中間モデルにおきましても、同じ周期体、青8つけてありますが、0.1秒から0.2秒観測記録との整合性が確保できないと。
02:05:16	というような状況になってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:05:19	続いてステップになりますけども、現申請モデル、幾何モデルと観測記録はなぜ整合しないのかという観点で、9 ページに具体的に示しております。
02:05:32	先ほどと同じ鹿児島県北西部地震の本震ですね、を対象に、現申請モデルと基礎評価モデルを上と下に並べていると。こちらを見ますと、現申請モデル、既評価モデルともにですね、
02:05:46	ピークは 0.3 秒から 0.4 秒付近にあると。
02:05:50	いうところで赤線を見ていただくとわかりますけど、0.3 から 0.4 ところに存在していると。これに対して黒線の観測記録は、ピークが 0.1 から 0.2 秒付近にあると。
02:06:02	いうところで、モデルのピークと観測記録のピークがずれていると。
02:06:07	いうようなところになります。で、このモデルのピーク、赤線で、ピーク、河川のピークを、左側、要は短周期側にシフトさせることによって観測記録と、
02:06:19	の整合が改善するんじゃないかというようなことを考えてると。
02:06:25	いうところでございます。で、ステップ3につきましては、観測記録と整合させるために、短周期側に寄せるっていうモデルには、どういう、どういうふうに見直すのかと。
02:06:36	いうところになります、これにつきましては、10 ページになります。
02:06:42	先ほど申しました通り、ステップ2を踏まえてピークを短周期側にシフトさせるためには、地震計設置範囲の速度を、地盤の速度を速くすることが必要だと。
02:06:53	いうところで、まず、2号の炉心位置周辺におけるPS検層結果、これ建設時の地質調査結果になりますけども、これを見ますと、左の枠で囲んでますけど五つのボーリングありますけど、
02:07:08	その平均速度としてせん断波速度は、2150 というのが、獲られております。
02:07:16	で、次のページ、今度はですねPS検層結果に基づく速度層断面になりますけども、こちらの断面図を、11 ページから 13 ページ、載せてございますけども、この炉心位置周辺のせん断波速度は、
02:07:33	どのくらいかと。
02:07:35	いうところにつきましては、表も、赤枠で囲んでますけども、ちょうど⑤速度層にありますので、2050 というようなせん断波速度が示されていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:07:46	で、これを踏まえまして、
02:07:50	14 ページになります。
02:07:55	観測記録に整合させる観点からと書いてますけど赤線のピークを短周期に寄せるというところで、ここでは、炉心位置周辺における PS 検層結果、建設時の地質調査結果を踏まえ、EL-28.5 からマイナス 200 メートルにつきまして、
02:08:14	AVS2150 と設定しております。
02:08:18	で、敷地で実質実施した微動アレイ探査申請書や、甲斐以前の再稼働の時の会合でも示してますけども、
02:08:28	それ、微動アレイ探査により推定された Vs については、地表から深くなるにつれて大きくなる傾向が見られると、いうことから、EL-200 メーター以深については、
02:08:43	EL-200 メーターから-480 メーターを、先ほどの Vs2150 という値を設定すると。
02:08:51	括弧内で書いてますけども、EL-200 メーターから-480 メーターを現申請モデルと同じ速度、左の方の表に書いてますけど、これが 1600 とした場合に比べて、
02:09:06	短周期側で保守的になることを確認もしてまして、こちらについては次回以降ご説明しますけども、そういうところもありまして、EL-200 メーターから EL-480 メーターを Vs2150 と。
02:09:20	設定すると。
02:09:22	いうことにしています。
02:09:24	一方、Vp につきましては、先ほどの炉心位置周辺の PS 検層結果、それとあと、速度層断面では、それぞれ Vp が 4250 と。
02:09:35	4330 という値があるんですけども、同じ Vs2150 の範囲は同じ Vp の値とするために、
02:09:46	上下動、上下層の速度を参照しながら、EL-28.5 から EL-480 までの範囲の Vp は、
02:09:57	4400 と設定することとしています。
02:10:01	で、Q 値につきましては、地下構造モデルを用いない方、地震は干渉法を用いた同定結果、それとあと追加ボーリングでの、
02:10:11	確認結果を踏まえまして、現申請モデルと同等の 12.5 と設定すると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:10:18	ということでございます。このモデルですね、右側に見直しモデルと書いてますけど、こちらのモデルで、応答スペクトルを見たらどうかというところが、次のページの 15 ページになります。
02:10:31	同じように鹿児島県北西部地震の観測記録を用いてやってますけども、上が現申請モデル、それと、
02:10:39	先ほど表で示した見直しモデルというのを下に示しているところです。
02:10:45	こちらを見ますと、赤線の短周期が見直しモデルでは、
02:10:50	ピークが短周期側にシフトしまして、観測記録との整合性が改善されると。
02:10:56	いう状況になってます。
02:11:00	ここについては応答スペクトルでしたけども、伝達関数で見るとどうかというところが、次の 16 ページになります。
02:11:08	で、上の方が現申請モデル、下の方から見直しモデルになりますけども、それぞれ N-S 選ぶ上下並べてます。ここでは、EL-58.5 と A-118.5 の伝達関数を示してます。
02:11:23	で、先ほどの 0.1 秒から 0.2 秒、すなわち、周波数でいうと 5Hz から GIF 率のところ、
02:11:33	上の現申請モデルについては、青センター河川の差が大きかったのに対して、見直しモデルでは、赤線と青線が大分近づいて、
02:11:44	改善されてるというところがわかるかと思います。
02:11:51	17 ページ以降が、今後の検討事項というところを示してございます。
02:11:58	18 ページ。
02:11:59	お願いします。
02:12:01	こちらについては地下構造モデルの検討設定及び妥当性確認の流れというところで、ちょっと先ほどの限界の議論もありましたのでちょっと整理は必要かもしれませんけども、
02:12:13	一応我々としては、今回見直した地下構造モデル、速度構造を見直します、それで改めて Q 値を同定すると。
02:12:25	というようなところで再度地下構造モデルとしての妥当性を確認していくということを考えてます。
02:12:31	あと基本モデルの速度構造との差異等ですね、中間モデルは微動アレイに基づいてやってますのでその速度構造とどうかとか、
02:12:42	あと、ボーリング孔内減衰測定結果を踏まえた PS 検層モデルの
02:12:47	等に関する考察を実施することを考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:52	メニューとしては、
02:12:56	妥当性確認メニューとしては、ボーリング孔内の減衰測定結果だとか、あと岩石項の減衰測定結果、上と下を見るというところもありますし、右下も地下構造モデルのところ、
02:13:12	は応答スペクトルによる確認それとあと PS 検層モデルの
02:13:17	伝達関数での比較から妥当性を確認するというところなんですけども、ちょっとこの
02:13:25	ボーリング孔内の減衰測定それと岩石コアのところの話、それと一番最後の PS 敬三モデルのところに米印を振ってございます。
02:13:36	米印、下の方書いてますけども妥当性確認の区間については、次ページの通りと。
02:13:42	記載しておりますけども、
02:13:46	ちょっとそこら辺、地震観測記録がとれてる地震計のところの設置速度の状況と、あとボーリング孔内の Q 値を測ったボーリング法の
02:13:58	速度の状況、それとあと、
02:14:04	コアを抜いたところの速度の状況とか、そういうのもありますので全区間で比較するというよりは、もうちょっと、後程ちょっとご説明しますけども、区間を決めて、比較することが必要じゃないかと考えているところなんです。
02:14:19	具体的に申しますと、19 ページになりますけども、妥当性確認の区間についてと、
02:14:28	いうところで、まず追加ボーリング A の PS 検層結果、下の方に図を再掲してありますが、旧エスワンから計算。
02:14:38	については、
02:14:41	下の Vs と Vp を見ていただくとわかりますけども、EL-60 メーター付近で、速度構造のコンプライアンスとが見られると。
02:14:51	で、この PS 検層における速度構造のコントラストについては、20 ページ 21 ページを見ていただくとわかるんですけども、速度層断面に、
02:15:01	旧エスワンから計算の図になりますけども、それを記載しておりますけども、
02:15:07	この 9 エスワンから計算のこの速度コントラストのところについては、速度層断面における、⑤速度層と、
02:15:17	③④速度層との境界によるものと考えられます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:15:23	一方ですね、解放基盤表面以深の地震計設置位置については、20 ページで示しておりますけども、丸印、こちらも東映になりますけど、丸印で4点、示しておりますけども、
02:15:37	これを見ますと、地震計位置については、概ね⑤速度層に分類されると。
02:15:43	ということが、
02:15:45	わかります。以上を踏まえまして、あの地震計、地震観測記録で、Q 値を設定して、そのあと妥当性確認と、
02:15:56	ということになりますけども、その妥当性を確認する区間については、地震計が設置されている⑤速度層、
02:16:04	を対象に、先ほど言いました、最新の地震計新の地盤減衰、それと、地下構造モデルの妥当性確認を実施することとさせていただきます。
02:16:17	本編は以上でございまして、参考①として、既許可モデルによる確認ということで、先ほどサンプルとして③の鹿児島県北西部地震について、
02:16:31	お示ししましたけども、こちら 20 地震を対象に、現申請モデルと既評価モデルの応答スペクトルの比較を上と下でやってる。
02:16:43	ものになります。これが
02:16:48	かなり 20 地震分ありまして、41 ページまで続くと。
02:16:53	で、42 ページに、参考②と、見直しモデルによる確認ということで、これも先ほどは③の地震をサンプルとして示しておりましたけども 20 地震分。
02:17:08	現申請モデルと見直しモデル並べたものになります。
02:17:13	川内についてのご説明は以上でございます。
02:17:19	はい。
02:17:20	説明ありがとうございます。
02:17:25	どこから行きましょうかね。
02:17:30	阿保大木仮な方針段階なんで、
02:17:35	ちょっと先に提示がページなんでスケジュール見ましょうか。
02:17:43	これ、
02:17:45	前回のやつ何時かな。
02:17:46	ただ、前回の会合でその結果を踏まえて、今後と川内をどうするかっていうのは、少し考えますと言って、アップアップのメディアの時に持ち帰ってたかと思うんですけど、
02:17:58	現時点が今あれですね 4 月の。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:18:02	基準のところの白抜三角で、
02:18:06	資料提出予定ってのが、一応 4 月 17 で出てきていて、
02:18:10	今説明を聞いているわけですけども、
02:18:13	この方針の後、2、
02:18:16	何か 2 回ものすごい短いスパンで、資料会合資料会合ってこれ 2 回出てきてるんですけど、
02:18:24	これ
02:18:26	5 月の終わりに資料を出して 6 月の頭に会合があって 6 月の終わりに資料ございまして 7 月の泊会合ってこっちが構造モデルの、
02:18:34	更新後に 2 回この短いタイムスパンで、
02:18:38	2 回に分けて会合をやるっていうふうになってんですけど、これはどういう説明を想定してんですかそれ。
02:18:51	九州電力の明石でございます。
02:18:55	こちらの内容としては、2 回に分けて説明をしますというものではなくって、今回方針の資料をお渡しさせていただいてますけども、
02:19:06	この方針に従った全体を、資料を作成して 5 月の末に提出をさせていただく。それが一発でわかりましたって。
02:19:17	メインな言い方ですけどなるもんじゃないだろうと、やっぱり 5 議案会合での議論、少なくとも 2 回ぐらいいるんじゃないかと。これぐらいの短いスパンでやれるのかでは当然、
02:19:28	あると思いますけども、できるだけ足早くやっていきたいけどもやっぱり 2 回ぐらいは議論、会合での議論は必要ではないかということで、この 2 回を置いているというものでございます。
02:19:41	当然ちょっとこれ短すぎるだろうっていうのはあるとは思いますが、
02:19:45	以上でございます。
02:19:48	うん。何かまでのその対応ということも踏まえると、
02:19:54	この短いスパンでってな方針から、
02:19:56	次の、
02:19:58	全体もですけど、前回は 2 月 10 日にある程度方針がと言っても、もちろん品証の話はあったんですけど、
02:20:06	2 月 10 日に方針方向性はいいよね。これで全体をとって、
02:20:13	品証があったといえば割と時間かかっているわけですよ。
02:20:17	ちょっと今この資料で、更新の議論ができるかはさておき、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:20:22	その方針を議論して方向性はわかりましたねと。
02:20:26	じゃあといった時にこのものすごい短期間ですぐ、
02:20:31	何か資料がばっと出てきて、議論をして、もしそこで議論して、1回では、
02:20:37	じゃあ、直しても、1週間ぐらいですぐ次の資料が出てきてって、
02:20:41	本短期間でコロコロ出てくるものかというか、須永生煮えなものが出てきそうな気がしてならんのですけど。
02:20:50	現在こういうやり方やってないですよねこんなに会も短期間でっていう、ちょっとここはんでないなと思ったんですけどわかりましたじゃあ、これ何か分けて説明したいわけじゃなくて、
02:21:00	2回ぐらいになろうと思います。
02:21:04	やはり言ってしまえば、御社としては1回ですねしっかりとしたものが出て、それで説明ができるんなら、この地震動に行くパスは、6月の中旬の
02:21:16	星印から、
02:21:17	地震動の方に行く。
02:21:20	全体として1ヶ月分、
02:21:22	前になる可能性もあるというそういう前提のスケジュール組みってことですかね。
02:21:30	だって2回、2回になろうと思っているだけで、もしかしたらコメントが出て2回になるかもしれないということだとすると、当然出す側としては、しっかりとものを1回目に出してくつもりなわけですよ。
02:21:42	だとすると、こっちが構造が、5月の終わりに資料出して、6月の中旬に、
02:21:48	地下構造モデルの妥当性の説明が、
02:21:51	できるとして出してくるわけですね一旦だけでもう1回になるかもしれないから、保険でもう1ヶ月の
02:21:57	もう1回分書いてますっていうだとすると、
02:22:00	いや、当然ながら、5月の末に出してくる資料は、当然、
02:22:06	十分な検討したものが出てくる。
02:22:08	出すわけですよ。とりあえず的にかけてみて、要するに会合をかけますじゃないわけですから、そうすると、地震動も1ヶ月早くなるとかっていう、
02:22:18	そういう見込みでこれは作られて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:22:23	まだ2回かかるかもしれない。だけど1回でできればこれより当然1ヶ月早く工程構えをしできるっていうそういうつもりでこれ組んでます。
02:22:33	九州電力の明石でございます。当然、我々は我々は5月の戦力出しできるものこれはもうきっちりご説明できるものをお出しするつもりでございますので、
02:22:47	希望的観測といいますかそれでいい。いや1回の会合でわかったという話になる可能性も当然あるだろうと思います。その場合は、後の工程がずっと前にずれる。
02:22:57	ことにはなるとは思いますが、何で2回とってるかという我々としてはきちっとした資料が作るものやっぱり、
02:23:04	今日方針立てとしてざっとご説明いたしましたけど結局地下構造モデルを抜本的に速度も踏まえて見直す。で、今後の検討事項というところでさらっとは言ってますけども結局評価のモデルとやっぱり違うわけで、
02:23:19	そこが何で違うのどうでどうして違うのそれでいいのって、当然、ご議論があるところだとは思ってます。それも含めてきっちりご説明はいたします。しかし、それを1回でいけるとは思ってますというのは余りにもちょっと、
02:23:33	すごく良すぎかなというやっぱり2回ぐらいの議論が必要ではないかということで2回置いたというものでございます。
02:23:43	規制庁の名倉です。
02:23:46	こういうて出されると、
02:23:49	ひどいことになりますよ、会合で。
02:23:53	正直言ってしまうと、
02:23:56	2回になったら、多分再計算が必要になる。
02:23:59	こんな甘いスケジュールでも対応できない。1回で終わらせるつもりで、
02:24:05	出すんで1回の予定出さないと。
02:24:08	こういう何か祈って出すんだったら、それはもう、
02:24:11	おそらく、解析的な検討とかが追加で必要になるから、
02:24:18	これ倍かかりますよ。
02:24:20	改正期間も含めると、だから1回でクリアするつもりで出してこないんだったら、それはもう絵にかいたもちですよ。
02:24:29	そこら辺がまだ甘いですねっていうふうなことでなるんだろうと思います。介護情報。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:24:36	そういう言い方になると思います。
02:24:41	はい。九州電力の明石でございます承知いたしました。
02:24:44	何かそういう甘いイメージつもりで2回置いてるわけじゃありませんけども我々もちろん1回でご説明し切る、
02:24:55	貼る腹つもりというか、もう準備を整えて、提出いたしますのでちょっとこのスケジュールの中妙にこう引いた感じの書き方であったり我々の考えは、ちょっと
02:25:07	訂正いたします。
02:25:10	ちょっと今、今回、許容できなかったのはなぜかっていうと、
02:25:17	これ、説明の時に説明してました。
02:25:21	今日、
02:25:22	この2回あることに対して、説明をこちらから質問されてこれ室、説明してません。
02:25:46	はい。
02:25:48	はい。九州の米村明石でございますおっしゃる通りこれちょっと先ほどのご説明の中で、何でそういうふうにしたのかというのはご説明しておりませんでした。申し訳ございません。
02:25:59	はい。
02:26:01	はい。
02:26:03	なんでちょっとここの短いスパンで、会合で議論して、この、この短時間で作り直せるレベルの議論をするんだったら、
02:26:12	コメントするレベルの会話だったら多分それやる意味がないから5になるので、
02:26:16	あと、清岡地震動への影響のところも細かいんですけど、これ限界とか前のやつだと、多分地震動評価のところと紐づけて、
02:26:27	個別に地下構造を、
02:26:29	決めるというところが最優先のときに、その作業に集中しなきゃいけないときに何か許可地震動への影響って、
02:26:37	このこのタイミングで動かさずにですね。
02:26:40	何か準備ってそんなて余ってましたっけっていうのもあったんで、
02:26:45	何か直し忘れですかねわかんないです。
02:26:50	いやここは御社の中で、どういう体制でどういう作業をするかなんで、別に影響がないなら別にこのタイミングで説明していただいても結構ですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:28:56	があったかなと今ちょっと反省しておりますここはもう我々としてきちり1回でご説明をし尽くすんですということがわかるように、
02:29:06	資料資料というかスケジュールを整え直してそのスケジュールの考え方をきちりご説明するようにいたします。
02:29:15	なお一番上の既許可の地震動評価への影響についての検討のところここは、おっしゃる通りその点があるのかというところもありますけどもここ実は、
02:29:25	玄海伊井の方も含めて、一緒に作業ができるところもあって、こういうすぎるりになってるところはありますが、そこもちょっとちゃんとそれができるのか、
02:29:37	ということをもう一度確認した上で、当社としてこれできちりできますということが御説明できる形にして、改めて提示をいたします。
02:29:47	以上でございます。
02:29:50	はい。あとですね、
02:29:53	これ前回かな、前回のラップアップ時点のものとも含めて見てるんですけど、
02:29:59	これ最後結局案2番で解析のところがどんだんどんだん工期が短くなってですね吸収されていっていて、
02:30:07	この解析、
02:30:11	一応CEOの場でも、一応委託先、請負先からも含めて体制を確保して、
02:30:18	と言いつつ、当然栗崎で作業をして請負先でチェックしたものを、もう出てきましたはいすぐ会合で規制庁見てくださいっていうわけじゃないですよ。答弁社内での、
02:30:29	品質チェックもあるでしょうけど、
02:30:31	そういうのを考えてこれ今2ヶ月解析をする解析資料作成にヶ月で、そこから説明して会合まで、これは標準ちょっと短いけど、
02:30:43	1ヶ月と。
02:30:45	さらにそこから何かもうすぐ補正申請が来静は全部ひっくるめてですよ。ね。
02:30:51	補正申請がっていうと、何か全体をまとめるような時期もないし、補正はいつ一応11月、10月だったものがちょっと11月にずれてとっていて、
02:31:02	結構後に細部の設定、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:31:04	ぎゅっと圧縮してるんですけど、
02:31:07	この辺のところって特に、
02:31:09	その補正申請同時に前もって準備しておくんですということかもしれないんですけど、この安定解析とか品質チェックとかですね、結構の方、工数があるんですってずっと説明してたものが、
02:31:22	いやいや、3分の1でも全然できるんですって。
02:31:26	本当にそんなもんなのかなと思うんですけど、ここはちゃんと考えられた工程なんですかね。
02:31:39	はい。九州電力の今林です。この地盤の安定性、安定性評価の解析のスケジュールですけども、ここは委託先の体制を強化するということ
02:31:52	を、ちょっと以前から、
02:31:52	お話をさせていただいておりましたけども、そこの体制を強化する、もう、それと言いますと増員するっていうことで、
02:32:04	班構成を、当初考えたものから倍増させるっていうところことで実施するようにいたしました。
02:32:11	で、委託先は、社内委託先の社内、協力者さん含めまして、
02:32:21	甲斐関井ができる方というのを、昆、この分、解析評価の方にも集めまして、総力を挙げてやるということで体制を組みました結果、
02:32:34	実質的に、2ヶ月の間でやること、その解析のチェックでありまして当社のチェックも含めてですけども、やる内容は変わらないんですけども人を増加することによってこの期間でできるという見通しを立てたものになります。
02:32:49	以上です。
02:32:51	九州電力の明石でございますさらにちょっと補足いたしますと、解析をやっていただくチームが倍増した、それが倍増もできた。
02:33:02	ことともう一つ、前期以前までは玄海と川内が並行して走る。
02:33:09	工程になってるか、関係で、その甲斐関井をさ、作業するチームが結局限界線でふたてに分かれてたんですけども、今回玄海川内まず玄海、
02:33:19	の計算をやって、それからそのチームが仙台をやるということで工程がずれましたので結果、これ限界も含めてさらに工程が縮まると。
02:33:30	いう形が実現をできております。
02:33:34	以上でございます。
02:33:40	規制庁の名倉です。
02:33:43	これもあまりよろしくないんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:33:46	今議論なったからそう説明してるんですよ。これが実現しますと、実現何とかさせます。その実現見通しはこうですって今説明をしたんですよ。
02:33:57	いえ、9種類のが明石でございます。そうしますというのを私ここで宣言して、さあそれをつじつまを合わせようなんていう気は毛頭ございません。我々としては、
02:34:08	これができる体制を整えてきて、そのめどというか体制が整えられましたので、できるなということを確認して、この工程を提示させていただいて、私が言いたかったのは、
02:34:23	これ、さっきスケジュール説明する時にそういう説明しましたか。
02:34:28	聞かれたら、
02:34:30	実現性今説明しましたよね。
02:34:32	だから、これって、
02:34:35	何か、
02:34:37	おかしいんですよ。
02:34:38	意識が違うんです。
02:34:40	なんでこういうことになってるかっていうと、
02:34:44	今まで示した最新の公開してるスケジュールって2月に公開したスケジュールですよ。
02:34:49	もしくは面談で出したスケジュールかもしれない。
02:34:53	それに対してこれってかなり下はドラスティックに変わってますよね。
02:34:57	その原因として千田については、地下構造モデルの抜本的な見直し、
02:35:03	だけれどもそれも一応踏まえた上で、
02:35:05	2月に1回スケジュールをベンダーに出してますよね。それに対してこれ大分遅れているのは、
02:35:11	それは、
02:35:14	動きの材料、
02:35:15	限界。
02:35:17	そちらの影響も含めて、大分動いてる。
02:35:22	ですよ。
02:35:23	その差分からすると、かなり安定性解析って、非常に期間が短くなってるわけですよ。
02:35:32	とすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:35:34	どういうプロセスで説明しないといけないのかっていうと、今までのスケジュールはこうでした。それに対して見開きで、こういうふうな、今回、改定を行いました。
02:35:45	差分はこうです。でもそれでも実現するのはどうしてか。
02:35:50	それは心づもりだけではなくて体制の整備とか環境整備も含めて対策を打ってるから、
02:35:57	だからこれ実現するスケジュール、
02:36:00	何ですって説明しないといけないんですが、それを今やってないから、難題に書いた餅だな。
02:36:06	確かこの資料は行ってないわけですね。
02:36:09	だからどういう説明の仕方をしてみずからどう説明するのか。
02:36:14	それをちゃんと示してもらいたい。
02:36:17	そうしないと、
02:36:19	何だ言われたから、そういうふうに答えてるんだけど、
02:36:23	それって、
02:36:24	本当に、
02:36:26	やる気あるんですか。
02:36:28	てなっちゃう。
02:36:30	だからちょっと説明の仕方をよく考えていただきたいなあというのが、
02:36:35	で、4月下旬にやるときに、
02:36:39	玄海はこれ資料の中に埋め込まれてるんだけどどうしようかなと思っていて、少なくとも川内は方針をまだ書けないんだけどスケジュールだけは、
02:36:49	これ出さなくちゃいけないんで1000台だけスケジュール出すのか、原価の中に埋め込むのかもしくは、スケジュールは両方とも、抜き出しちゃうのか。
02:36:58	いずれにしても、
02:37:02	今までの最新で公開している。
02:37:04	情報がこうだったこれに対してこういうふうになりましたこれの実現性はこうですという説明を、
02:37:10	ちゃんとして欲しい。
02:37:13	はい。九州電力の赤瀬ございます先ほどすみませんちょっと短絡的に勘違いして、微妙な言い返しをして申し訳ございませんでしたおっしゃられるところをよく理解しましたもう結果の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:37:23	まさに絵にかいたもちですという説明にしかなくてないと思いますのでそこは、差分であったりだから、何でそうなったのかで何でこれが実現できるのかというのをきっちりご説明をいたします。
02:37:35	このスケジュールについては、次回会合でのご説明必須だと考えておりますので、ここについては玄海とスケジュールまとめるのか仙台は仙台という、
02:37:47	いう、ペラペラになるかもしれませんが資料になるのかちょっとそこ体裁はちょっと考えて、整えさせていただきます。以上でございます。
02:37:57	やっぱり成長するケース玄海川内、
02:38:01	まとめて、スケジュールっていう資料で、別に出して前のラップアップとかもそうですよね。
02:38:08	今、あくまで公開ベース、多分ラップアップのときのスケジュールって仙台のスケジュールは今中で確認中ですみたいな内容なので、
02:38:18	結局、公開されてる、公開されてるとか我々がこう平場でちゃんと聞いているものって 1113 回の会合のときのスケジュールと、その時は多分川内玄海がオーバーラップしてるスケジュールですよ。
02:38:30	それと、今考えているスケジュール、
02:38:33	ていうのが多分見開きになる。
02:38:37	で、
02:38:38	その考え方みたいなやつがその前なのか後なのかですけど多分つくと、ちょうどその表紙から数えて、
02:38:45	ちょうど見開きに、
02:38:47	1113 回、今後というので多分見開きになる形になると思いますんで、
02:38:53	ちょっとスケジュールはスケジュール上、C を組んでいただいた方がいかなと。
02:38:57	なんで、前回の地下構造は地下構造の資料。
02:39:01	あそこにスケジュールもちろん同じものを書いて結構ですけどね。
02:39:05	スケジュールは見開き使用前使用後使用前紙を送って形で、
02:39:09	玄海の使用前玄海の仕様を
02:39:13	川内の塩谷センターの首藤。
02:39:16	その前なのか後なのかどういふうに実現させるという意味でこの
02:39:21	仕様にしようかっていうのを書くだけだと思いますけど、ちょっとスケジュールの資料分けましようかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:39:27	はい。
02:39:28	すみませんちょっとそういう話ですいませんスケジュールの方ばかり聞いているわけにもいかないんで、その見直しの方針ということで一応方針なんですけど、
02:39:39	一応ステップを分けて、
02:39:42	もともとステップワンは、
02:39:45	もともと会合で言ってるし教科モデルにおいてもという話は、RELAPの時点で、
02:39:51	もうすでに話は聞いているわけで、
02:39:55	ステップ2から今回、やったわけ。
02:39:59	前回会合から2ヶ月以上も経っているので、
02:40:02	かなり時間かかったなという印象があるんですけど、
02:40:06	へえ。
02:40:09	現許可許可 PEEK
02:40:12	はピークがずれてるんでもうこのピークを少し、
02:40:15	菅のモデルのピークと観測記録のピークがずれてるんで、頃シフトさせましょうと。
02:40:23	で、
02:40:24	今これシフトさせるには速度層をいじる。
02:40:28	で速度層を入れるところはこうこうこうっていう書いてあるんですけど、
02:40:33	ちょっと駒野島沖のところで言うとそういう作業をしたんだなっていうのはもちろんわかるわけですよ。
02:40:40	どこにピークがあってというんですけど、
02:40:43	とは言いつつもう既許可のときに、PS 検層にあれだったり、
02:40:49	いろいろ測定をして、最後決めてるわけですよ。
02:40:53	それを親今回、いやもう主んし、
02:40:59	観測記録のピークに合わせるようにシフトするんです、もうしょうがないんですと言って、これ出してるんですけど、そこの間の説明が、
02:41:08	全くなくてですね。
02:41:10	もともといろんな今回何か新しい実はデータをとったわけじゃないじゃないですかこの間に、
02:41:16	今まである PS 検層許可のときの PS 検層と追加でとった三本もちろんありますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:41:22	あとは許可のときに立って、ここって大きなデータの拡充ってないわけですよね。
02:41:28	だけど許可のときの判断と、今のこの判断が違うでそれなんですかっていうと、何か次回以降ご説明っていうふうになっていて、
02:41:36	これって、さっきそういったようなスケジュールでいうと、
02:41:42	これ今方針の段階ではまだ全くなくなって、
02:41:46	いやあ、
02:41:47	それって次回説明するんですそれは確かに、次回初めて、この辺の考え方とか、説明されるんだと、次回っていうか、ここで言って短いですよ。
02:41:58	今の時点では、
02:42:01	その段階にならないと説明できますように、準備できてませんってなると、それは確かにその次で貸して終わるかっていう。
02:42:09	それは都合3回掛かるつもりですかねっていう、2回目が実質限界でいうとこの2月10日の会合。
02:42:16	日書く形になってしまうので、
02:42:18	もっとこれは全く、ちょっとまだ準備できてないのかなっていう。
02:42:24	だから言ってみるとVS2150ですと下上から下までほぼ通しますと、28.5メートル下回ってる。
02:42:33	もっとこれわーん、この段階でまだ、いや今後復興部分を説明するんです。
02:42:40	ていうのはちょっと自治権準備ができてないんで何とも言いようがないかなという。
02:42:46	後はすいませんこの見直し方針の方からですかね14ページ。
02:42:51	その上で、一応その、
02:42:53	Q値は今いじってないわけなんですけど、
02:42:58	それとピークとしてはシフトしますと言っても後に全結果出てるんですけど、
02:43:03	これー、我々、別に、
02:43:08	Q値を入れるか側道構造をいじるか。
02:43:11	どっちかしかいじってはいけませんなどとは一言も言っていないので、
02:43:16	統一御社はこの
02:43:18	速度構造をいじる。
02:43:22	なので参考の2ですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:43:24	参考の 2、参考の 1 じゃなくて参考の 21 よりも参考の 2 の方がよくなって、かつ参考の 2 でいい。
02:43:33	ということなのか、今ここはまだ、その途中段階で、最後どうするかまだ決まってないのかそれはどっちなんですかね。
02:43:44	九州電力の明石でございます前我々とし、我々、当社といたしましては、モデルとしてはもうこの参考 2 で示してる見直しモデルこれでいいと。
02:43:55	いうふうに判断をしております。
02:43:59	そこに至るところを、仮定についておっしゃることに非常に舌足らずな御説明になってると思います。減衰についても 72.5 になってますけどそれいじらなくていいんだってということで、
02:44:13	そうしてるわけではなくて、やっぱりそこに至る整理があっただけではありませんけども、もうこれそれをひっくるめて何ページだこれ 10、
02:44:24	14 ページ下にもう杉尾の書きぶりで表現してますので、ここはやはりちょっと市はしっかりご説明しなきゃいけないと。
02:44:33	思ってますすみません
02:44:36	どちらかという最後の結果が、我々は結果を持っていきたいと思っますという結果の方が先走ってしまってるところは、
02:44:44	あります。ありまして途中の過程しっかり説明しなきゃいけないところはありますけども鈴木さんの取り出すお答えとしては、最後参考に、の見直しモデルはまだ途中経過ですがなくて、
02:44:58	我々はこれだと考えておりますというものでございます。
02:45:05	それからちょっとついでに申し上げるとまさに舌足らずなところで、例えば浅いところについて、こういう固いんですよというのは既許可のデータを持ってきてる、けどもうということについては、
02:45:18	既許可のときにも当然この辺を見ながらモデルの設定はしてるんですけども、最終的に微動アレイの結果をもとに、この微動アレイの結果というのがこの
02:45:29	PS 検層のから見てとれるかたさなんかとちょっと大きく異なっていたんですけども、
02:45:35	この微動アレイの結果これが換算スウェイ敷地としての平均的な特性を表している。何よりも、既許可のモデルは長周期の地震動評価に使ってまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:45:47	その長周期に対しては保守的な結果を与えるということで、この微動アレイの結果を採用してたんですけれども、今回、やっぱり観測記録が物語っていること。
02:45:57	ピークが短周期になるってことはやっぱりもうちょっと硬いんだよねっていうことを、観測記録が物語っているということと、改めて既許可のデータではありますけども PS 検層等見てもやっぱりそうだよねと。
02:46:10	ということで、こういうモデルを設定するんだというふうに我々は考えた、いうものでございます。なお、微動アレイを使った既許可のモデルとの関係というか違いはこうこうこうなんだという、
02:46:24	説明きっちりしなきゃいけないと思ってますのでそこがちょっと今後の御説明予定になってて申し訳ございませんけども、
02:46:33	そこはちょっと前順次説明を加えていきながら、きっちりご説明できるようにいたします。
02:46:39	以上でございます。
02:46:44	はい。
02:46:45	ちょっとそこがまず全く抜けてしまっているんで、何かこの方向方針とって何かこの方針で、
02:46:52	いや一定次じゃあその方針に沿ったものを聞きましょうかというふうにならんのじゃないかというのが、
02:47:01	うん。
02:47:04	わかりました。
02:47:06	というのとですね、あとは結局参考 2 と参考、参考 1 参考 2 でいや 0 とにかく使用前使用后、県申請モデルと見直しのもの。
02:47:16	県申請モデルと期間のものっていうふうにあって、当然既許可 IQ 以降 100 の清川モデルでやったとしても、この青いエリア、この 0.1 から 0.2 秒のエリアのものが、
02:47:28	もちろん解消される結果その全体が持ち上がるより短周期側が持ち上がるんですけど、それによってカバーできるものとできないものがありますと。
02:47:38	例えばですねどれもいいんですけど、
02:47:42	11、3、33 ページから参考 1 の方の評価モデル内閣の 11、これは持ち上がることによって、短周期がよりでかくなるんですけど、
02:47:54	全体が持ち上がることによって、切りがのカバーでいきますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:48:01	他方で、12 みたいなものは、全体が持ち上がると、かなり 0.0 何秒のところは、ほぼほぼ同じだったものが、
02:48:13	評価モデルの方だと上回りますただし問題となっている。
02:48:17	ところは、カバーしきれません。
02:48:20	他方でですねこれは参考 2 の方で同じようなものを見ると、カバーされることに、
02:48:28	なるということなのでしょうかと。
02:48:30	言ってみると、
02:48:32	流一番に関して言うと、これは
02:48:36	むしろ、
02:48:39	引き続きこの周期で少しは良くなったと。
02:48:43	けど別にカバーしてるわけではない。
02:48:45	十人についても、これ、
02:48:48	なぜかなんていうか、この
02:48:51	今 2 択 0、見直しモデルと速度構造を見直してくるパターン。
02:48:57	で、いろいろ評価でどう完全に 9-100 って、今より短周期がいいでほんと持ち上がるだけなんですけども、それによってカバーできるかどうかって、ちょっとこの 2 社 D、
02:49:07	何かこれだけそれぞれの見せられて、いやもう参考 2 の方が良いんです、参考 1 だと、カバーできないんだけど参考 2 でカバーできるんですよというふうには、にわかに見えてこない。
02:49:19	ですけど、
02:49:23	一応これ参考 2 はだと。
02:49:26	問題は解消されて 3 工事だと問題解消されてないっていうの繰り返しですけど、一応そういう説明なんですよね。
02:49:33	多分何かこう 1 個 1 個、これはとって、参考 1 のある地震、参考 2 の方の同じ地震って形で見えた時に、全くそういう何か説明に聞こえてこないんですけど。
02:49:46	並べてみた方がいいのか。
02:49:49	それともここではなくて全体として何か、トータルですね、いや何地震、超えたものが何地震に減りましたとか、何かいえるのかなんですけど。
02:50:01	ちょっともらってまだその全体パツとした方針と結果だけなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:50:07	何か
02:50:09	例示で挙げて確かに何か解消された僕見えてたんですけど後ろの参考1参考2を見ていくと、
02:50:16	参考2の方が良いというのが、いまいちよくわからない。
02:50:21	もちろんより根本問題となっているこの0.1秒0.2秒よりもさらに短周期側の方が、
02:50:28	結局、評価モデルを使うと何だかわからないけど持ち上がってるっていう、見栄えの悪さありますけど、
02:50:34	別に我々そこをさ何か問題視してるというよりは、観測記録と成功してなかったところが、
02:50:41	どう解消されるのかという部分で見ると、より短周期がどうなろうがあまり関係ないですよ。
02:50:48	その上で見ると、
02:50:50	何か3こいつ参考2で、参考2の方がいいんですっていうのは、ちょっとこの単に後見ておいてくださいだけだと。
02:50:57	もっと説明として入ってこない。
02:51:02	九州電力の明石でございます。参考1と参考2を見比べた場合まさに鈴木さんのおっしゃるようなところところだと思ってますって言い方おかしいですけども、
02:51:15	結局、
02:51:17	参考1局モデルでは結局全体がもうぐっと短周期が持ち上がることによって、カバーできてるものもあればできてないものもあるんで、参考②の方は我々がねこれだと言ってるモデルについては、
02:51:29	持ち上がるというよりはその周期、ピークの周期が短周期側にシフトすることによってカバーできてると、ものもあればまだカバー完全にカバーできてないものもあると。
02:51:40	でカバーできてるかできない、できてないかの状況については実は、参考0102 そんなに変わらないと変わらないのかなと思ってます。ただ我々が判断してるのは、
02:51:51	参考までにまさにカバーの仕方、結局、玄海現状のモデルなんだ、なんでカバーできてないかって言ったら結局、地盤の硬さであったりそういうかたさがあるからこそそういうピークが出ると。
02:52:04	いうことについて追いかけてないんじゃないのと、そういう見つけで言うと、丹企画モデルはちょっとその方云々置いといてグーッと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:52:14	減衰で持ち上げてるだけですのでやっぱりそうじゃなくてカバーの仕方としては、考え方としては、見直しモデルと言ってる参考②今カバーの仕方としてはこっちであると。
02:52:26	いうふうに我々は考えていると判断したというものでございます。
02:52:33	はい。いずれにしても前回の会合でも言いましたけど、やっぱり解放基盤までの伝播特性を考慮して、その結局過小評価にならないように、モデル組んでいてくれればいいわけで、
02:52:46	そこをちゃんと開始解消しておいてもらわないと。
02:52:51	別に過剰幾らでも過剰評価にしろなんていうつもりはもちろんないですけど、その部分っていうのは、
02:52:57	地震動評価が最後過小評価になるようなモデルにならないようにというその視点で、ちょっとちゃんとその問題となっている周期の部分ですね。
02:53:05	きちんと説明を組んでいただきたいですと。
02:53:09	うん。なんか多分それがないと、さっき言ったようなその月岡のときの速度層との違いみたいなところもそうなんですけど、それなしで、それを今後説明しますだけだと。
02:53:19	何ていうか、経過報告みたいな作業状況報告。
02:53:23	2ヶ月たり経ちましたが、一応作業が進んでやってるんですしにしかならないので、
02:53:29	あとですね 16 かな。
02:53:35	ここは一応ハッチングがかかっている周波数。
02:53:42	みたいですね。ここが許可のときよりも、差分が小さくなりますよということで、
02:53:49	ここで一応標準音スペクトル用のモデルはまず長周期側も含めて残るので、
02:53:54	一応これは、いわゆるこのハッチングかけたところの周波数が短いところですね 1234Hz、123Hz とか、
02:54:04	この辺のところは、一応、もともとの、
02:54:09	現申請モデルだと。
02:54:11	伝達関数のところ、もう周波数 122Hz で 3Hz、2Hz から 3 列ぐらいで神山が、
02:54:20	観測記録、青と青と赤の隔たりができますけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:54:24	見直しもわずかながらちょっと公差は出るというか当然でするので、地震観測記録が青の方が、この 1Hz2Hz、
02:54:35	3Hz ぐらいまでかな。
02:54:37	男は上回るんですけど、ここは無視できるほどの影響でしょう。
02:54:42	全体としてIとして、より高周波数タイム、10Hz とかまでのはい領域も含めて、場合が良くなる。
02:54:51	で、
02:54:52	構成号線も減るから次フェーズの整合性は改善されると言っていて、そこさえよければいいわけでもないの、他の部分に悪影響がないのかって点ではこれはどうなんですかね悪影響がない。
02:55:03	という方はんなのかどうなのか。
02:55:09	はい九州電力の本村でございます。確かに淡路の方のところにつきましては 5Hz から 10 フレーズ青線に近づいてるかなと思います。
02:55:19	一方低振動数が低周波数側ですね 2Hz3Hz、もともと赤線が大きかったんですけども、今回ずらしたとしてもですねこの程度の青線のこれぐらいだと整合してると言ってもいいかなというふうに我々判断してると。
02:55:36	ということでございます。
02:55:40	はい。今までやってた部分のIは損なわれてはいない、改善されると、改善したかったところは改善したと、そういうことは言いたいわけですね。はい。
02:55:52	ねあちらが例えばこちらが立たずではない、なければうちに、そういう御説明であれば出したいということでは、わかりました。
02:55:59	はい。
02:56:00	あとちょっと、全体のだと設定妥当性の説明はちょっとまた、
02:56:06	いや限界直も含めてだとは思うので、
02:56:10	ちょっとですねなので、
02:56:13	この資料で何か方針の説明ですと出ると、本当に状況報告にしかならないかなと思っているので、
02:56:22	なのでちょっとさっきのスケジュールのところで見ましたが、これでちょっと方針、
02:56:26	玄海で言うところの例えば 2 月 10 日未定のイメージ方針をかけてですね、方向性はそうですね、じゃあこれで次、地下構造の全体の全体とかもう仕上がりの
02:56:38	議論しましょうよという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:56:40	資料にはちょっとになってないかなと。
02:56:44	ちょっと今の段階で申し上げるのはそのぐらいかなと。ちょっとこれ議論というのは、
02:56:49	肝心な部分が、中身がすっぽり抜けちゃってるかなっていう
02:56:54	ステップワンみたいなのところはもうすでに来状況としては、我々把握してたわけで、
02:57:00	ステップ2、
02:57:01	ああなるほどこういうことをした、
02:57:04	多分これ以外にもいろいろとああでもないこうでもないところを、いろんな検討をしてみて、おっしゃった検討というか全然駄目だったみたいな検討もちろんあるのかもしれないです。それはそれなりに時間かかったんでしょけど、
02:57:16	ちょっとこうステップ2でステップ3。いやこの部分はちょっと次説明するんですでは、ちょっとね議論ならないかな。なかなかちょっと
02:57:26	議論なりコメントしづらい。
02:57:28	ていうかこの中身では、
02:57:30	はい。
02:57:32	すいません全体の話は少ししたんですけども、他ば、そんなに枚数も多いわけじゃないので、
02:57:39	個別、どこでも結構ですけど、ほかある方いればお願いします。
02:57:52	ちょっと私細かいところなんですけど、14 ページで、
02:57:59	見直す範囲は、20 - 28.5 から、
02:58:03	マイナス 480 メーターなんだと。
02:58:06	VSVP ですね。
02:58:08	この説明がね何か、断面図と並べられると。
02:58:13	何でこれでいいのかなっていう例えばですよ。
02:58:19	-18.5 から -28.5 っていうのを試掘坑を根拠にしていますって言うんですけど、祝津方向ってもうちょっと、
02:58:27	浅いところに、
02:58:29	あるんですよ。
02:58:30	で、なのでこういったことをこう判断するときにはただ単に地質調査だけでこうしますっていうんじゃなくて、何か工学的なジャッジだとかここに側道。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:58:40	そう付けたほうが増幅するんだなのか、何かこう判断があってから、こういったコーン-28.5に線を引くんだっていう話なのかなっていうふうにも思うんですけど。
02:58:54	今この資料見る限りその辺がちょっと理解できなくて、
02:58:59	前まではですね、現申請モデルというのはそんなにコントラストなくて、違和感なかったんですけど、
02:59:07	今回こうぐっとこう28.5まで速度が上がるで断面図でこうなってますって言われると、
02:59:15	うんこれ、ここの線でいいのかなっていうのがちょっと気になったというところですよ。
02:59:25	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃることはちょっと理解したんですけども、試掘坑内弾性橋形が、おっしゃる通り、L-18.5より上のところの試掘坑っていうところはあるんですけど、
02:59:38	そのデータをもとにですね、解放基盤の
02:59:42	設定をしてると。
02:59:43	いうところもあって、そこのところ10メートルですけども、そういうところは設定してたと。
02:59:49	で、確かにおっしゃる通り、そこで10メートルでっていうところは、28.5で、くくりつけてというところがちょっとあるかと思います。
02:59:59	ちょっとすいません。今ちょっと回答は、なかなかちょっと難しいところではあるんですけども、そういうところはあるかなと思って、ちょっとすいません。
03:00:09	九州電力の明石でございます。ここのところちょっと気を食うのはIEEEですのできちりちよと整理して、またご説明しますけど今谷さんおっしゃったやっぱりジャッジが入ってて、
03:00:23	この中、18.5メートルの1500という数字はこの解放基盤の設定としてまさに試掘坑の調査をもとに設定をしているものでそれから下の、
03:00:33	層をどう設定するという点について、その試掘坑で確認してるところが、15、10メートル程度はという言い方はあれですけども、確かそういうジャッジがあったというふうに記憶してますそこちょっと、
03:00:46	整理してまたご説明できるようにいたします。で、これ古くさかのぼると既許可さらにその前の耐震バックチェックの時代に、こういう考え方を整理してたところがありまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:00:58	とりあえずはその 28.5 です境を作ってその下もちょっと硬くしてという、いう形にしておりましたので、そこはちょっとまた整理、確認を整理いたします。
03:01:18	はい。規制庁佐口ですけど。
03:01:21	何ていうかこれスケジュール管理も絡んでくるので、
03:01:25	確認させていただきたいんですけど。
03:01:28	多分今は、限界を進めてて 1000 台を後追いで、
03:01:34	やっていくんですけど、
03:01:37	基本的に、この見直しの方針、
03:01:41	なりですね。
03:01:42	例えば 14 ページに書かれてますけど、
03:01:46	これって、
03:01:50	限界等、同じって考えていいですかね。設定の方針ですね。
03:01:55	そうすれば我々も当然ながら、玄海と同じような確認をすれば済むんですけど、
03:02:01	これが、
03:02:02	何かちょっとこう設定で違うようなところが出てくる等、
03:02:07	またそれは別途限界と別に、
03:02:10	あそこは多分議論をしながら、
03:02:14	確認をしていくと思うので、
03:02:17	そうすると、
03:02:18	委員会と同じように、
03:02:22	設定を、
03:02:23	していれば、
03:02:25	根拠もおんなじですね、ずっと、
03:02:29	期間も短く終わるものが、
03:02:32	ちょっと変えていると。
03:02:35	期間が多分伸びるんじゃないかなと思うので、そうすると、やっぱり最初に少し確認ありましたけど、5、5 ページの、
03:02:44	この
03:02:46	スケジュールで本当にいくのかどうか。
03:02:49	いうところもあるので、ちょっとそこは、
03:02:52	確認をさしてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:03:03	はい、九州電力の本村でございます限界と同じような設定小設定の流れになるかっていうところが、ありますけども、速度構造を今回見直して、同じような流れで
03:03:16	限界と、
03:03:18	同じような流れで妥当性確認まで行くことになると思いますけども、限界の方で、先ほど議論させていただきましたけど限界の方は-90メートルまで観測記録あって、
03:03:28	-200メートルまでPS検層モデルがあると、その範囲の減衰について変えるというようなところ、新たに入れられた値、観測記録、観測事実に基づいて、
03:03:41	妥当性も確認しながら決めていくという流れでございますけども、仙台の方につきましては、先ほどこの14ページですかね、表で右側示してますけども、
03:03:52	そういうところについてはPS検層、炉心位置のPS検層に基づいてそれを伸ばしていくと、というようなところで、こちらについては微動アレイの観測に基づいて、深くなるにつれて、Vsが大きくなると。
03:04:09	いう根拠をもとに延ばしているものの、新たに入れられたデータという観点では、地震観測記録は、仙台の方が118.5。
03:04:20	新たなPS検層モデルというのは200メートルというところで、この区間での確認するというところは、玄海とも同じなんですけど、変えて、
03:04:32	今回見直しモデルで200メートルから480メートルまでの速度層も、元1600VSDと1600、それを2150人変えてるというところ。
03:04:43	ここのところの妥当性確認というところが、先ほど微動アレイに基づくもので、AVSが大きくなるという仮定、想定のもとやってるっていうところが、
03:04:56	若干その200メートル以深のところ、限界とはちょっと確認の方法がちょっと変わってくるかなというところ思ってるところでございます。
03:05:07	九州電力の赤瀬でございますちょっとだけ補足させていただくと、要は限界と真木許可の時からどんなデータ情報が加わってきてそれをもとにどんなメニューで、
03:05:19	料理というか整理をしていってという、枠組みは一緒なんですけども、もうとどのつまり先ほど私もちらっと申し上げましたけども、前はそういう新たなデータを積み上げても速度構造としては、
03:05:33	結果の既許可のモデルと変わらないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:05:37	ところがどっこい仙台の場合は、その積み上げたデータを基に観測記録と照らし合わせてみるとどうも菊川のモデルじゃ合わない、ということで、家仙台はそのモデルが変わるという方針でいます。
03:05:50	結局そこが大きく違いますのでおのずとじゃその根拠はということであったり論理展開も変わってくるころはあるというふうに考えております。
03:06:04	はい。規制庁佐口です。なので、多分限界とはちょっと変わってくるのかなと思っていて、それはなぜかっていうと結局 9 ページで少し
03:06:15	マヨ要因、要因っていう要因なのかな、要因でいいのかな。
03:06:20	ちょっと要因でいいのか、か当たんなる事実だと、いけだと思えますけども、
03:06:25	結局、浅いところが、あんまりよろしくなくて、それはなぜかっていうと、先ほど確認もありましたけれども、
03:06:37	等で浅香さんの方からもお答えがあったような
03:06:41	既許可のもので言って、結局、長周期側に重きを置いたモデルだよって、
03:06:47	言ってしまうえば微動アレイ、
03:06:50	2 コマ受重点を置くとか、微動アレイの結果を、
03:06:58	中心にっていうのかなんていうんすか。とにかく微動アレイの結果を重視したような設定のモデルになっていると。
03:07:07	で、やっぱり今回はももとの目的である。
03:07:12	うん長周期側だけじゃなくて短周期も含めて、設定できるような地下構造モデルっていうので、
03:07:20	やっていったときに、
03:07:22	14 ページで今、私これまでもいろいろ、
03:07:27	コメントもしながらですねいろいろ確認もさせていただいてるんですけど、
03:07:32	結局 14 ページにあるような、
03:07:35	微動アレイを、
03:07:37	中心に設定したモデルの。
03:07:40	層厚というものを、このまま何も変えずに、速度だけ今後ですね、変えればいいのかと。
03:07:48	いうのと、
03:07:50	当然ながら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:07:52	今 14 ページでハッチングかけていて先ほど本村さんからもご説明ありましたけど、
03:07:59	むしろ 200 メーターより深いところも、速度は変えるわけで、じゃあこれで何をもって
03:08:08	妥当性を確認するかっていうのは、何かそのまあ、微動アレイでは深くなるにつれて、そういうことが速くなっていくという、あくまでも傾向を、
03:08:18	言われているだけのような気もするんですけど、そうすると、
03:08:24	今度ですね、
03:08:26	玄海で、
03:08:28	あれ、Q 値ってどうでしたっけ。
03:08:31	て見たときに、
03:08:32	同じ速度層だったら、
03:08:35	これ同じ。
03:08:38	反対でいいんだという、そういうロジック。
03:08:42	であったわけですね当然その、
03:08:44	PS 検層による測定結果。
03:08:48	なんかも当然それはもう元に設定をされていると。
03:08:52	いうところあるんですけど、
03:08:54	今ですね、
03:08:55	20、これ、これ見るとですね、14 ページの -28.5 から、
03:09:00	マイナス。
03:09:05	1000、1000、1000、1018 年度 1 キロまで、結局速度層としては同じになるわけなんですね。
03:09:11	でも上から 12、500200 とバラバラになってきて、
03:09:16	これって、
03:09:18	本当に、
03:09:19	いいんですかねっていう、これまでの、
03:09:22	考え方なり設定の方法からですね。
03:09:27	ちょっとそういうところもあるので、
03:09:29	うん。なかなか、
03:09:32	今後議論になりそうなポイントが多いかなというちょっと印象を、
03:09:37	受けました。なので、
03:09:40	できればやっぱリー。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:09:43	限界を、ちゃんとかう進めていただいて基本は、限界と変わらないような設定をします。当然根拠だって一緒です。
03:09:52	てすれば、
03:09:53	あくまでもこれはスケジュールっていうか時間だけの話になるかもしれないんですけど、そうすると効率的に、
03:10:00	審査もできるかなとは考えてますけど。
03:10:03	ちょっと今の感じだと、
03:10:05	うん。やっぱり限界とは違うところが幾つか回って、そうすると、なかなか、
03:10:10	議論のポイントもいろいろまた出てくるのかなという気がしますので、ちょっとそこは、どうされるかっていうのは、
03:10:17	もう少しですね、
03:10:19	整理をしていただいてももちろん、このままでいっていただいても、きちんとした根拠を示していただければ、我々はそれで判断しますが、
03:10:29	ちょっとその辺り含めて、
03:10:30	方針についてはやっぱり、
03:10:34	少なくとも近いうちに会合にはかけないと、これまた、やっぱり、
03:10:40	1年前ぐらいでしたっけおんなじような感じで、
03:10:44	1回冬、冬ぐらいに会合、
03:10:47	やって、1月にやって、またちょっと方針を、
03:10:52	持ってきてくださいっていうのが、結局5月か6月、6月か何かになってて、
03:10:58	ちょっとそういう時間の感覚的なものもありますんで、少し設定のこの方針については、やっぱり早めに、
03:11:06	持ってきていただきたいと思いますんで、よろしくお願いします。
03:11:12	はい九州電力の明石でございます。まずちょっと設定の方針を早く持っていきたいがために今日はちょっとかなり、むしろもう結論先走り過ぎたところもありますので、
03:11:22	今限界との違いとか差分とか何かそこも見えるようにして、できるだけ
03:11:32	ポイントを突いて効率的に効果的に見ていただけるような整え方をします。なお、今ご指摘していただいた減衰のところ、先ほど、私は見直し②モデルこれだと思っておりますと申し上げましたけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:11:46	Q 値のところは正直かなり悩んだところがございます、悩みながら今この形に落ち着き落ち着いてるという言い方おかしいですけども、なってるところはありますちょっと Q 値の考え方、
03:11:57	ちょっと整理は必要だと思ってますので、玄海での整理も交えて整えてご説明を、ができるようにいたします。はい。以上でございます。
03:12:09	はい。よろしく申し上げます。ちょっと私も 1ヶ所で終わるところをちょっと付け加えると、
03:12:15	旧玄海の方も、その限界でいうと 90メートルより浅いか深いところでの差のつけ方ですね。
03:12:23	あれって、90メートル浅いところは地震観測記録ありただけけれどもその下はないのでみたいなの。
03:12:30	その話と、
03:12:32	何ていうか全く等価ではないんですけど、仙台のやつが割は離島でしょこれもし今のやり方で、90メートル浅いところは地震観測記録に整合するようにチューニングができましたと。
03:12:44	行ったとして、それは結局限界でいうとこの 90メートル浅いところの説明ができたっていうのと同じようやく土俵に乗るといっただけなので、
03:12:53	何かこの 90メートルから 200、ここでいうと、
03:12:57	玄海で言うんだから自信があるところから、県仙台だと 118.5 かな。
03:13:04	から 200 ですね。
03:13:06	そこのところには、差がつかないっていうのは、ここで川内と玄海で、仙台の方が何かいや、地震計があるところから 200メートルまでの間で、
03:13:16	玄海と違って、何かそれより神経があるところと同じぐらい。
03:13:21	のを、
03:13:24	いわゆるデータというかそろっているからなのかというと、あれそうでしたっけとかですね。
03:13:28	ちょっとそこら辺もあったりしてですね、何かちょっと尾野両者もちろん同時並行ではなくて原課の方が先に進むんですけど、
03:13:37	とって何か、片やこっちで割ってるのに 1ヶ月も経たないに、同じような状況のものについて別の考え方を持ってくるとかっていうのは、
03:13:46	それは別に全く否定しませんが、ちょっとそこもですね今気になった部分ではあります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:13:59	はい。すいません、大分超過はしてますけれども、ちょっとまだ方針レベルのところなんで、どうですかね。谷村さんこの仙台の方も、ちょっとこの段階で、資料の段階で何か、
03:14:11	見えることっちゃうのはありますでしょうかね。
03:14:15	院長田嶋です。ありがとうございます。自分も同じような方針というところで、全体の説明、これから整える。
03:14:26	とは思うんですけど、この前の2回でやってきた私の記憶が正しければ12月2月だったと思うんですけど、その会合との整合みたいなのは、
03:14:38	説明上とるべきかなあと思ってるんですけども、まず自分の方で確認した限り、12月の会合のときは、今の1000、今日の玄海の
03:14:52	10、19ページと同じように、VsとVpの同定、地盤同定っていうのをやっていて、前は90メートルまでですけど、
03:15:05	マイナス90メートルまでですけど、仙台の方も同じように12月の時点ではEL-118.5メートルまでは地盤同定してあって、速度は既許可と同等ですよっていうのが確認できましたっていうふうに、
03:15:21	資料が出てるんですね。
03:15:23	でもそこを、その地盤同定解析をして、VsとかVpは既許可と同じつまり1600に近いよって言ったようなところを今回見直しますよって言うちゃってるのは、
03:15:35	整合がつかないんじゃないかってまずパツと思ったりしたところがありますちょっと誤解があったら、よろしいですけども、そう思ったり、あと2月の時には、
03:15:49	このいろいろな合わない部分のこの対象の0.1%0.2秒のピークは、PS検層という速度コントラストに関係するんですよというところに非常に着目した。
03:16:01	説明がされてたかと思います。その辺との関係とか繋がってるのが、今ちょっとこの方針ってなると、結構すごく、
03:16:12	を着眼点というか違う材料とかを、の説明になってるように思いまして若干こう、これまでとの議論を踏まえてのという、
03:16:22	速度っていうようなのがちょっとわかりにくかったので、そこはやはり説明上、
03:16:29	説明しないと、何かこう議論の繋がりがちょっとわからないというのが私の現時点での
03:16:36	コメントになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



03:16:38	以上です。
03:16:43	はい。九州電力の本村でございます。田嶋さんの言われるところ、12月の会合では速度の同定やって、1600よりちょっと大きいですけど1800ぐらいだったんですけど同等だと、既許可と同等だという主張をしていたところ、
03:17:00	それと2月の会合で、伝達関数だったと思いますけども、58.5のところ、何か58.5より下で何かあるというようなところも、
03:17:10	主張してたというところもありますのでちょっとそこら辺の整合性っていう観点です、ちょっと整理が要るかなというふうには思ってるところでございます。
03:17:20	以上でございます。
03:17:24	九州電力の明石でございます。ちょっと補足させていただきます。また今後説明しますだけだとちょっと思いまっかが出るので、実態申し上げておきますと、
03:17:36	結局 VsVp 同定しても、そんなに変わりませんと、言ってたのはこれ同定する範囲、より下はあくまで既許可モデルと、
03:17:46	同じような速度で、それ以上もかたいということは内容は、浅いところを同定した結果、例えば AVS が 2000 とかになっちゃうとその下にやわらかい層が挟まって何か逆転層が生じる。
03:17:58	そういうことになっちゃいけないよねということでちょっと縛りを設けて同定してたので、結果的にそうはなって、ええ。
03:18:06	そんな変わらないということになってたんですけども今回我々が観測記録を見て気が付いたのは、この観測記録をも物語るためにはどうしてもやっぱりもうちょっと浅いところがかたくないと、そうはならない。
03:18:19	観測記録が物語っているのはそうなんだということで、我々がちょっと頭もう知らずに縛りを設けた、設けてた、このもともとのモデルの
03:18:32	例えば地震計よりもさらに深いところであつたりの硬さ、それで縛りを設けてしまったというところをとっばらって、やってみると、今回の方針にたどり着いたと。
03:18:43	いうところがございまして同じようにピークの数値コントラストこれも、追加ボーリングで見えてたのは、今回今日の資料でも申し上げた通り、ちょっとページつけております通り、
03:18:55	もともとの PS 検層でも見えてたところのコントラスト、
03:18:59	があらわれてるんですけども

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:19:03	乾燥記録で見えてたコントラストについては、実はやっぱりもうちょっと浅いところのコントラストが見えてたと、いうのがやっぱり観測記録を見ると解釈をされまして、
03:19:15	なので、2月であったり申し上げたこと出たことからさらにちょっと我々みずからを縛ってたところをとっぴらって改めて素直に眺めるとこういうことだと、いうご説明を、
03:19:26	いたします。すいません。今日のご説明は舌足らずで申し訳ございません。
03:19:30	以上でございます。
03:19:35	規制庁、田嶋です。ご説明ありがとうございましたそうですね。そのあたり、重要なのと特に浅い方の地盤同定ができ、
03:19:45	せっかくしているところが本当にそういう思い込みといいますか遅くなるってことはないっていうような条件をとっぴらってやれば実際この今回、
03:19:55	見直す、Vsに近くなるとかそういうのは、非常に大事なことだと思いますので、はい。状況はわかっていた全全繋がりがなく、出てきたものではないということはわかりましたので、
03:20:10	はい。それが資料でわかるようにするのは重要かと思いました。はい、ありがとうございます。
03:20:18	はい。規制庁鈴木です田嶋さんありがとうございます。ちょっとそこら辺がないと、ずばり2150円均一セールですって、浅いところからズドンとやってるのが何なのかがわからなくなっちゃう。
03:20:29	はい。
03:20:30	ちょっとそこの辺かな。他は。
03:20:32	どうでしょうか。結構な時間なっちゃったので、
03:20:36	ディスクリート、
03:20:37	大丈夫そうですか。
03:20:39	はい。
03:20:40	なのでちょっと仙台ですねちょっとこのままでいうとなかなか難しいかなと思ってはいるので、少なくともその方針とはいえ議論できるレベル。
03:20:50	ていうところにはしてもらいたいかなと。
03:20:56	あとはちょっともう説明は結構なんですけどどう前回の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:21:02	会合の品証のやつです。部分ですねも多分時間もあれなんで、これ、資料の右肩に 13 ページかな。
03:21:12	13 ページ 2 会合からの修正ですと、
03:21:17	すいませんちょっとリモートさんはあともうスケジュールと品証だけなので、もしあれでしたら、大勢いただいても大丈夫です。
03:21:26	で、13 ページの方ですねこれ当日なんで紙で今いただいた資料ですけど、一部修正ということで、
03:21:34	是正措置の 1 と 2 のところに括弧書きで太字の白い丸のところの括弧書きで、女性業務全般に適用と 2 ヶ所書いてありますということと、
03:21:45	あとは是正措置 1 のところが委託先での等に作業方法及び、
03:21:50	それに応じたというところが入って、単に実行方法と書いてたのは、作業方法とそれに応じたチェック方法というのも含んでますというのを明確にしましたと。
03:22:01	あと是正措置の 2 のところも見てみると、これ二つ目のポツですかね、上を上の先ほどの部分を受けた形で、
03:22:08	チェック方法を明確にしというのが、これはどういうものによりけりですねチェック方法にしたかっていう、それを受けて、
03:22:19	チェック方法も社内での本社でのチェック方法も考えるし、そういうものは下の記録として残しますよと、いうことなんでこの部分は書かれているかな。
03:22:30	思います私は、その上で、ただ、この
03:22:34	女性業務全般に適用ってというのが、これ、9 電の是正措置 13 ページの 20102 だけに書いてあって、
03:22:42	当然その④とかなんで教育の話なんでそもそもここは図面に限った話じゃないから、もともといいんですけどね。
03:22:49	委託先のところを見ていくとそれがないんですよ。およその助成業務って大半がこの図面編集中心なのかもしれないんですけど、
03:23:00	ちょっとここは何か、委託先は、今回と同じような全編集に限りますっていうふうにも読めてしまうので、
03:23:08	ちょっと素行はどういう意図なのかなというところでいやここ認識づれがないんだったら、委託先の方も語弊がないようにしてもらっただけかという思ってるんですけど。
03:23:22	はい。九州電力の今林です。はい。今鈴木さんがご指摘されました点、記載のようにし、記載が足りなかったのかなと思っておりました。で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:23:33	当社のケットメンとしましては当社の是正措置の中で、先日の会合で受けましたご指摘を反映するというふうな認識ではおりましたけども、
03:23:44	確かに委託先についても、その図面の編集だけではなくて女性業務全般提供するという事は、これまで委託先といろいろちょっとやりとりしてる中でも委託先も当然その認識を持ってると思っておりますし、
03:23:58	今後そうすべきだと思っておりますので、この12ページのところにも、女性業務全般に適用するという記載をちょっと追加させていただきたいと思います。
03:24:10	以上です。
03:24:14	はい。ちょっとそこは疑いとが同じ理解で明確になるようにしてもらえればなと思います。
03:24:22	これ以外の部分はあまり会合でも何か言ってるものではないので、
03:24:28	ちょっとそこら辺は適正化いただいて、
03:24:32	おんなじタイミング、さすがに今日この日付で、今日出てくるっちゃうものではないと思うので、これも別に何かの折でも結構ですし、
03:24:42	資料提出資料受領という形で受け取り面談、
03:24:46	受け取り方という形で処理もできますので、はい。
03:24:53	そういうことですね
03:25:01	そうですね面談なり、受け取り簿なりちょっとそういう形であります。場合によって何かあれば、本当に改めて次のヒアリングの時でも聞きますけど、一応今のところで、の意図は確認できました。
03:25:14	うん。
03:25:18	ええ。
03:25:19	そしたら、今日の資料、
03:25:23	修正した内容、本当にこれはここへ、
03:25:27	だから、それを入れてもらって、
03:25:29	公開した上で、
03:25:32	うん。
03:25:37	ないですねはい。
03:25:39	じゃあ、
03:25:44	そんなに時間かかんないっすね多分ここ今日水曜日だから、金曜日でもできると、ぐらいに受け取りという形でできると思ってるので、
03:25:56	違う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:26:03	一応これ、12ページのどこに書こうと思ってそれと上の白い丸の原因分析結果に委託先が立案の後にこれらを、その是正措置支援業務かな。
03:26:15	全般に、
03:26:17	女性業務全般に適用というふうが一番上に書くのか、何か是正措置ごとに、
03:26:23	どこに書こうとしてるのかをイメージしちゃいますよ。
03:26:27	そうです13ページの、今回修正させていただいた、いただいたのは是正措置①②の項目にそれぞれ入れておりますけども、
03:26:37	それと平仄を合わせるようなやり方をするのであれば、該当するところに入れるのかなとちょっと今思っておりますけども、
03:26:48	それはちょっと、
03:26:52	ただ、全体にかかる話ではありますのでそうですね、ちょっと①から④、ちょっとそれ個別に書くっていうよりはもう、この全体にかかりますっていうのを、
03:27:03	どっかちょっと運用がファイルネーミングルール。うん。
03:27:07	④はだからもともとファイルネーミングルールだから、何か是正措置に限らず、実はもっと根っこのところからそうですね。書いているんですよ委託先のところの部分には何か一覧表にガサッとかけてしまってもいいのかもしれないんですけど、
03:27:21	9電の場合は、多分是正措置の③はさておき、④は、
03:27:26	何ていうか、当然全体的なものなのか、ちょっとそこら辺は最後わかりました本来筋としては、
03:27:33	委託先の方もぜひ措置①、②あたりのところにつけたいんだけど、ちょっとどこにどこが包含関係になるのかはわかりますじゃ、そこはちょっと最後、
03:27:43	①②のところを書くか、全体に書くかっていうそのどちらかです。少なくとも①②はきちんとかかるといえることですかね。わかりました。
03:27:53	じゃあちょっとそこは最後、今伺った内容がきちんと反映されてるかっていうところで再確認しますんで、お願いします。はい。
03:28:01	はい。
03:28:03	さて、
03:28:05	はい、そうするとですねすみませんマースン玄海中心であったんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:28:11	ヒアリングとして一応一通り聞いたということで、まずですね、玄海については、一応御社のスケジュール上もあります我々も今2回目のヒアリングということで、
03:28:25	できるだけそのら、基本来週28日の
03:28:29	介護法にかける案件かなというふうに考えています。なので、
03:28:35	ソースルートですね。
03:28:37	少なくとも、
03:28:41	今日水曜日ですけど、
03:28:43	新しく多分何回便数を作ったりということではないと思うんですけど、
03:28:48	文章の書き方とかロジックの組み方、そこら辺は手を入れるんだと思うんですけど、これきちんと28日に間に合わせるのだとすると、
03:28:58	どうですかねえ。
03:29:00	紙の印刷物はもちろん月曜日で結構ですけど、金曜日には出てきますか。
03:29:07	そこら辺、28日にというかできるのかどうか。
03:29:26	九州電力の今林です。今回の原価の修正の中で大きな方針、モデルの設定から妥当性の確認のところを、ちょっと少し見直していただきたいというお話をさせていただきましたけども、
03:29:40	その大きな方針のところの見直しはそんな時間かかるものではないんですけどもそれに伴いましてその後段の、いわゆる海老戎といいますか、瀬下いろんなたの、資料のちょっと並び替えといいますか。
03:29:55	とあとその記載のしぶりと言ったところを、
03:29:59	ちょっと細かく確認していくのには少し時間かかるかなということを思っています。
03:30:04	ちょっとその金曜日の段階でその綺麗に、
03:30:09	構成が公正化といいますかもう文言まで綺麗に整った形で出せるかどうかというところはちょっと作業やってみながらというところあるかなと思いますけれども、大方の修正は、ちょっと金曜日中にデータでお出しできるように準備できればなと思っています。
03:30:27	我々、大体1週間もぐらいに開催案件っていう形では、当然ながら出しているのですが、一応御社としては、
03:30:37	28日の案件でかけれると。
03:30:40	ということで、準備ができるということでよろしいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:30:45	はい。もう当然、他の国会提出時間とかそんな話は、別に準備できたら というか、またいつも通りですね、開催なりのタイミングでお知らせし ます。
03:30:56	はい。
03:30:58	よろしいですか。じゃあちょっと超過してしまいましたけども、ヒアリ ングとしては、
03:31:03	以上でなんで原価優先なので、あえて仙台の時期については聞きません でしたけど、はい。
03:31:10	仙台の方はまた、準備できた段階でまた次のヒアリング資料提出でヒア リングを申し込んでくださいと。以上でヒアリングを終了します。お疲 れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。